

平成11年度春野中学校

大規模改造事業及び耐震補強工事

(屋内運動場)

三建設計有限会社

図面名称 特記仕様書(1)			NC A — 1
種別 基本図	製図 日 月 年	製図 氏名	

鉄骨工事	③	コンクリート中の塩化物量	0.3kg/・以下	(6.5.4)	防水工事	⑨	1	アスファルト防水	(表9.2.5)(表9.2.6)(表9.2.9)	タイル工事	○	1	陶磁器質タイル張り	タイルの種類	(11.1.1)(11.1.2)						
	④	塩化物量の試験	※ 6.5.4 による													施工箇所	形状寸法(mm)	き	じ	うわぐすり	その他
	①	施工管理技術者	※ 適用する(鉄骨製作管理技術者) ・ 適用しない	(7.1.4)																	
	②	鋼材の種類別	(7.2.1)(表7.2.1)																		
			記号	規格		使用箇所															
			◎ SS400	※ JIS規格品 ・ JIS規格品以外		集塵機排鉄骨															
			・ SSC400	※ JIS規格品 ・ JIS規格品以外																	
			・ STK400	※ JIS規格品 ・ JIS規格品以外																	
			・	※ JIS規格品 ・ JIS規格品以外																	
			JIS規格品以外の場合	※ 試験を行う ・ 試験を行わない		(7.2.2)															
	3	高力ボルト	・ JISの高力ボルト(セットの種類 ※ 2種(F10T) ・) ◎ トリノ形高力ボルト(セットの種類 ※ 2種(F10T) ・) ・ 溶融亜鉛メッキ高力ボルト(セットの種類 1種A(F8T相当))				②	合成高分子系ルーフィングシート防水	(9.3.2)(9.3.3)(表9.3.1)		2	陶磁器質タイル型枠先付工法	タイルの見本焼 ※ 行わない ・ 行う(製造所 ※ 監督員の承諾する製造所 保水剤 製造所 評価名簿による)	(11.1.1)(表11.4.1)							
	④	ターンバックル	鋼の種類 ◎ 割棒式 ・ パイプ式 (7.2.6) ボルトの種類 ◎ 羽子板ボルト ・ 面ネジボルト ・ アイボルト (7.6.11)																		
	5	溶接完了後の試験	試験の種類別	試験箇所	試験数	備考															
		・ 超音波探傷試験																			
		・																			
		・																			
	6	錆止め塗装	塗料 鉄面 ※ 表17.3.1のA種(亜鉛メッキ面 ※ 表17.3.2による) (7.8.3)																		
	7	耐火被覆	種別 ・ ラス張モルタル塗 ・ 耐火材吹付 (7.9.2~6) 所要性能 (耐火板張り ・ 時間)																		
	8	アンカーボルトの保持及び埋込み工法	種別 ・ A種 ◎ B種 ・ C種 ・ ベースパック (表7.10.1)																		
	9	柱底均しモルタル	工法 ・ A種(製造所は下記による) (7.10.3)(表7.10.2) ◎ B種 無収縮モルタル製造所 性能評価名簿による。																		
	10	軽量形鋼構造	(7.11)																		
	11	亜鉛メッキ	種別 ◎ A種 ・ (7.12.3)(表14.2.2)(表14.2.3) 適用箇所																		
	①	鉄骨の製造所	◎ 昭和56年建設省告示第11103号の規定に基づく認定工場(・S・M・◎・H) ・ 監督員の承諾する製作所																		
	③	床書き原寸図	◎ 作製する ・ 作製しない (7.1.5)																		
	④	鉄骨の製作精度及び建方精度	◎ (社)日本建築学会「鉄骨精度検査基準」による (7.3.2)																		
Sブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事	1	建築用コンクリートブロックの種類	種類 ※ C種(空洞アーク16) ・ (8.2.2) 厚さ ※ 図示 (8.3.2)																		
	2	ブロックの鉄筋の種類	異形鉄筋 SD295A (8.2.2)																		
	3	煉瓦の種類	普通煉瓦 ※ 2種 耐火煉瓦 ※ 8種または9種 耐火煉瓦積み用目地材は耐火煉瓦の製造所の製品ならびに仕様とする。																		
	4	ALCパネルの種類	厚さ ・ 種別 ・ A種 ※ B種 ・ C種 ・ D種 (8.4.3)(表8.4.2)																		
	5	外壁パネルの取付工法	出隅入隅部の目地幅 ・ (8.4.3) パネル相互の接合部 ※ 表9.5.1による。 (8.4.3)																		
	6																				
石工事	10	1	石張り	石の種類 ・ 花コウ岩 ・ 大理石 (10.2.1) 石の品質 ※ 1等品 ・ 2等品 ・ 3等品 (表10.2.1)(表10.2.2) 石仕上げの種類など																	
				施工箇所	種類	産地	名称	仕上の種類													
	2	テラゾブロック張り	種石の種類 ※ 大理石 (10.2.1)																		
	3	製造所	※ 監督員の承諾する製造所 ・ 製造所																		
	4	人造石研ぎ出し	※ 工作室手洗い部分人造石研ぎ出し(2ヶ所)水切り台(1ヶ所)																		

特記仕様書(2)		平成9年版	高知県土木部建築課
平成 年 月			担当
平成11年度春野中学校大規模改造事業 及び耐震補強(屋内運動場)			

③ 屋根及び樋工事	1	長尺金属板葺	形式種類 ・ 瓦葺葺 ・ 平葺 ・ 塗装溶融亜鉛めっき銅板及び銅帯(屋根用) ・ 溶融アルミニウムめっき銅板及び銅帯 ・ ポリ塩化ビニル被覆金属板(SG A種) ※ 塗装溶融亜鉛ー5%アルミニウム合金めっき銅板及び銅帯(屋根用) ・ 冷間圧延ステンレス銅板及び銅帯 ・ 塗装ステンレス銅板 銅板の厚さ(mm) 一般部 〃 0.3 〃 0.35 ※ 0.4 谷部 ※ 0.4 〃 0.5 屋根葺工法を定める専門業者 材種 ・ 塗装溶融亜鉛めっき銅板及び銅帯(屋根用) ⑧ 塗装溶融亜鉛ー5%アルミニウム合金めっき銅板及び銅帯 ・ ポリ塩化ビニル被覆金属板(SG A種) 種類 山高 88 mm 山のピッチ 200mm 厚さ 0.6 mm 型による区分 ※ 重ね型又はハゼ締め型 タイトフレーム げらば納めは屋根葺工法に応じた専門業者の仕様による。	(13.2.1) (13.2.2)	9	サッシ取合間仕切り板	種類 ※ アルミニウム製 表面処理 ※ Bー1種 ・ 銅板製(表面処理亜鉛めっき銅板とし亜鉛の最小付着量は両面で120g/m2以上とする。但し取付金物は除く)	(表14.2.1)	
	2	折板葺	材種 ・ 塗装溶融亜鉛めっき銅板及び銅帯(屋根用) ⑧ 塗装溶融亜鉛ー5%アルミニウム合金めっき銅板及び銅帯 ・ ポリ塩化ビニル被覆金属板(SG A種) 種類 山高 88 mm 山のピッチ 200mm 厚さ 0.6 mm 型による区分 ※ 重ね型又はハゼ締め型 タイトフレーム げらば納めは屋根葺工法に応じた専門業者の仕様による。	(13.3.2)	①	防火材料	屋内の壁及び天井の仕上げ材は 防火材料又は建築基準法に基づく基材同等の認定表示のあるものとする。		
	3	スレート波板葺(外壁を含む)	種類 屋根 ・ 大波 ・ 中波 ・ リブ波 ・ 小波(置場) 外壁 ・ 大波 ・ 中波 ・ リブ波 ・ 小波 施工地域 ※ 一般地域 ・ 強風地域 軒先 ※ 面戸板を使用 ・ 面戸板をスレート製とする 外壁の出隅 ※ 隅当て使用 座金の厚さ(mm) 〃 1.6以上 〃 1.2以上 座金。ボルトの材質 〃 SUS 304 ※ 亜鉛メッキ	(13.4.2) (13.4.3) (13.4.3)	②	モルタル塗	保水材を使用する場合は (11.2.3)(5.2.2)(5.7.2)による。		
	④	とい	材種 ・ 配管用銅管 ⑧ 硬質塩化ビニル管 ・ SUS 304管 防露 〃 行 ⑧ 行わない 掃除口 ※ 有 ⑧ 無 とい受金物 ⑧ SUS 304 市販品 大きさは打ち合わせによる。	(13.5.1) (13.5.3)(表13.5.5)	③	ALCパネル用特殊プラスター塗	材料の種類及び塗り厚 〃 A種 ⑧ B種 製造所 〃	(表15.4.1)	
	⑤	ルーフドレインの製造所	製造所 評価名簿による 断熱防水の場合 断熱防水用ルーフドレインとする。		④	仕上げ塗り材	・ 薄付け仕上塗材 種類 類 仕 上 げ 工 法 ・ 外装薄塗材S ・ 内装薄塗材W (〃 可とう形) ・ 外装薄塗材E ・ 内装薄塗材E ・ 防水形外装薄塗材E ・ 凹凸状 ・ さ ぎ 波 状 ・ ロ ー ラ ー	(15.7.2)(表15.7.1)(15.7.6)	
④ 金属工事	1	ステンレスの表面仕上	材質 ※ SUS304 表面仕上げの種類 (JIS) 施 工 箇 所 ・ HL 400# ・ 鏡面 800# ・ NO.2B程度	(14.2.1)		・ 厚付け仕上塗材 種類 類 仕 上 げ 工 法 ・ 外装厚塗材C ・ 内装厚塗材C ・ 外装厚塗材E ・ 凸部処理	(15.7.2)(表15.7.1)(15.7.6)		
	2	アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理	表面処理の種類 施 工 箇 所 ・ Bー1種 ・ Bー2種 ・	(表14.2.1)	5	軽量骨材吹付け材吹付	・ 複層仕上塗材 (〃 可とう形) ・ 複層塗材CE ・ 複層塗材SI ・ 複層塗材E ・ 複層塗材RE ・ 複層塗材RS ・ 防水形複層塗材CE ・ 防水形複層塗材E ・ 防水形複層塗材RS	(15.7.2)(表15.7.1)(15.7.6)	
	3	鉄の亜鉛メッキ	亜鉛メッキ面の試験成績表の提出。 要 〃 不要	(表14.2.3)(表14.2.4)(14.2.3)(表14.2.2)	6	ロックワール吹付け	上塗り材の種類 複層仕上塗材の上塗材の種類 〃 水系上塗材 ※ 溶剤系上塗材 ALCパネル内壁目地部の形状 ※ V型目地付 コンクリートの地下調整 ※ 凹凸系下地調整塗材(JIS A6916) ※ JIS規格品同等品 〃 JIS規格品 軽量骨材仕上塗材 種類 類 仕 上 げ 工 法 ・ 吹付け ※ 砂壁仕上塗材 ・ こて 〃 平たん	(15.7.2)(表15.7.1)	
	④	軽量鉄骨天井下地	野縁などの種類 ※ 14.4.2,14.4.3 による。	(14.4.2)(表14.4.1)	⑦	セルフレベリング材塗	色 彩 ※ 着色 〃 原色 厚さ(mm) 〃 10 〃 15 〃 20 ※ セメント系 ※ 10 〃	(15.8.2) (15.6.2)(15.6.5)	
	⑤	軽量鉄骨壁下地	スタッド ランナーなどの種類 ※ 14.5.2,14.5.3 による。	(14.5.2)(表14.5.1)					
③ 金物	6	銅製手摺	亜鉛メッキ 〃 行 〃 (B種 ※ C種) 〃 行わない	(14.6.1) (14.7.2)	⑧	① 建具見本の製作 ② アルミニウム製建具	・ 製作する(種類) ⑧ 製作しない 性能等級等 ⑧ A種 〃 B種 〃 C種 ※ S-4 ⑧ S-5 耐風圧性 気密性 ⑧ A-3 〃 A-4 水密性 ⑧ W-4 〃 W-5 枠見込み(mm) 70 100 表面処理 ⑧ Bー1種 〃 Bー2種(色調)	(16.1.4)	
	7	金属成形板張り	種 別 アルミ スパンドレル (既製品) 製 法 ※ 押出し形材 〃 板曲げ 寸法(mm) 板幅 板厚 形 状 表面処理 伸 縮 継 手 ※ 設けない 〃 設ける(場所は図示)						
	8	アルミニウム製笠木	※ 押出形材 部材の種類 〃 250形 〃 350形 〃 (板厚図示 mm)(表14.8.1) ・ 曲げ材 (14.2.2)(14.8.2)(表14.2.1) 材質 JIS H 4000規格品 A-1100 表面処理 ※ A-1種又はB-1種 厚さ(mm) 〃 形状図示	(表14.2.1)					
③ 金物	③	鋼製建具	製作所 ※ 監督員の承諾する製作所 〃 BL認定に準ずる	(16.3.2)					
	5	防火戸	煙感知器連動とする防火戸の開錠機構は別途とする。 ※ 扉にラッチ受座用切込開口補強 〃 枠に開錠機構用切込開口補強	(16.3.1) (16.4.2)(16.4.3)					
	6	鋼製軽量建具	区 分 材 質 召合わせ 縦小口の包板 押縁 〃 鋼板 ※ ステンレス 〃 アルミニウム 扉 の 表 面 材 ※ 銅板 〃 化粧鋼板(製作所仕様) 枠 ※ 16.4.1表による 〃 製作所仕様						
	7	ステンレス製建具	製作所 評価名簿による 曲げ加工 ※ 普通曲げ 〃 角出し曲げ ・ オーダーメイド ※ レディーメード及びこれに準ずる建具 製作所 ※ 監督員の承諾する製作所	(16.5.2)					
	8	自動扉	駆動力 ※ 電気式及び電動油圧式 〃 空気式 検出装置 種類 〃 マット 〃 電子 〃 熱線 〃 光線 〃 音波 〃 光電 取付位置 〃 床面 〃 天井面 〃 壁面 〃 無目 開閉機構の製造所 評価名簿による	(16.6.2)					
③ 金物	9	重量シャッター	強度による種類 〃 50 ※ 80 〃 120 機能による種類 〃 防火シャッター 〃 防連シャッター 防連シャッターは 自動閉鎖装置及び随時閉鎖装置付とし 連動制御盤及び煙感知器は別途とする。 シャッターケース(防火 防煙以外の場合) ※ 設ける 〃 設けない 開閉機能による種類 ※ 上部電動式(手動併用) 〃 上部手動式 〃 下部手動式 電動式シャッターに使用する障害物感知装置の構造は、以下による。 シャッター(ドア)の電動降下時に障害物を感知し、シャッター(ドア)を自動的に停止させる機能をするものとする。 防火シャッター(ドア)及び防煙シャッター(ドア)においては、手動閉鎖装置又は連動閉鎖機構による自重降下中に、障害物感知装置が障害物を感知してもシャッター(ドア)が自重降下の状態を維持するものとする。 製作所 評価名簿による スイッチ箱は鍵付 SUSー304製(マスターキー)	(16.10.1) (表16.10.4) (表16.10.4)					

14	付属電気設備	電動シャッター自動扉の施工範囲は下記による。 自動扉の電源スイッチ以降の配線工事(配管及び位置が別途工事とする)。 電動シャッターの操作スイッチ以降シャッター制御盤までの配線工事(配管及び位置が別途とする)。 三相電動機0.4kW以上の場合は機器付属の操作盤内に電動機保護用遮断機及び進相用コンデンサーを設置。
		セクション材料による種類 ・シャッタータイプ ・アルミタイプ ・ファイバーグラスタイプ 開閉機能による種類 ※ バランス式 ・チェーン式 ・電動式 収納形式による種類 ・スタンダード型 ・ローヘッド型 ・ハイリフト ガイドレールの材質 ・鋼板 ※ ステンレス鋼板(SUS304)厚さ2mm 強さによる区分 ・50 ※ 75 ・100 ・125 アルミ型材の表面処理 ・陽極酸化皮膜 ※ 陽極酸化塗装複合皮膜 標準色 ・指定色 製作所 評価名簿による
15	オーバーヘッドドア	セクション材料による種類 ・シャッタータイプ ・アルミタイプ ・ファイバーグラスタイプ 開閉機能による種類 ※ バランス式 ・チェーン式 ・電動式 収納形式による種類 ・スタンダード型 ・ローヘッド型 ・ハイリフト ガイドレールの材質 ・鋼板 ※ ステンレス鋼板(SUS304)厚さ2mm 強さによる区分 ・50 ※ 75 ・100 ・125 アルミ型材の表面処理 ・陽極酸化皮膜 ※ 陽極酸化塗装複合皮膜 標準色 ・指定色 製作所 評価名簿による
		セクション材料による種類 ・シャッタータイプ ・アルミタイプ ・ファイバーグラスタイプ 開閉機能による種類 ※ バランス式 ・チェーン式 ・電動式 収納形式による種類 ・スタンダード型 ・ローヘッド型 ・ハイリフト ガイドレールの材質 ・鋼板 ※ ステンレス鋼板(SUS304)厚さ2mm 強さによる区分 ・50 ※ 75 ・100 ・125 アルミ型材の表面処理 ・陽極酸化皮膜 ※ 陽極酸化塗装複合皮膜 標準色 ・指定色 製作所 評価名簿による
1	防火材料	屋内の壁及び天井の塗装仕上げは防火材料又は建築基準法に基づく基材同等の設定表示にあるものとする。 (17.1.3)
		木部 不透明塗料塗り (※ A種) 透明塗料塗り (※ B種) (17.2.2~7)
2	素地ごしらえ	鉄面 種類 (※ A種・B種・C種) 2液型ポリウレタンエナメル、常温乾燥型素樹脂エナメル塗りの場合はB種 亜鉛メッキ面 鋼製建具 種類 (※ A種・B種・C種) 鋼製建具以外種類 (※ A種・B種・C種)
		屋外 1種 2種 屋内 1種 2種 (17.4.1)
3	鉄面錆止め塗料の種類	屋内の見え隠れ部分でA種とする箇所。 (17.3.1)(表17.3.1)
		屋外 1種 2種 屋内 1種 2種 (17.4.1)
4	合成樹脂調合ペイント塗の塗料種類	屋外 1種 2種 屋内 1種 2種 (17.4.1)
		屋外 1種 2種 屋内 1種 2種 (17.4.1)
5	塗装業者	◎ 日本塗装工業会の会員 ◎ 監督員の承諾する塗装業者
		◎ 日本塗装工業会の会員 ◎ 監督員の承諾する塗装業者
6	塗装の略号	OP 合成樹脂調合ペイント塗り EP 合成樹脂エマルジョンペイント塗り TEP 合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り GEP 艶有合成樹脂エマルジョンペイント塗り MP 多彩模様塗料塗り VP 塩化ビニル樹脂エナメル塗り AE アクリル樹脂エナメル塗り FE フタル酸樹脂エナメル塗り CE 塩化ゴム系エナメル塗り CL クリヤーラッカー塗り UC ウレタン樹脂ワニス塗り OS 油性ステイン塗り JFE 常温乾燥型素樹脂エナメル塗り 2PE 2液型ポリウレタンエナメル塗り
		OP 合成樹脂調合ペイント塗り EP 合成樹脂エマルジョンペイント塗り TEP 合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り GEP 艶有合成樹脂エマルジョンペイント塗り MP 多彩模様塗料塗り VP 塩化ビニル樹脂エナメル塗り AE アクリル樹脂エナメル塗り FE フタル酸樹脂エナメル塗り CE 塩化ゴム系エナメル塗り CL クリヤーラッカー塗り UC ウレタン樹脂ワニス塗り OS 油性ステイン塗り JFE 常温乾燥型素樹脂エナメル塗り 2PE 2液型ポリウレタンエナメル塗り
8	ビニル床シート張り	(18.2.1)(18.2.2)
		材 種 種類 記号 色柄 厚さ(mm) 工法 ビニル床シート ※ 発泡層のないもの ※ NC ※ 無地 2 ※ 2.5 突付 ※ 熱溶接
9	ビニル床タイル及びゴム床タイル張り	(18.2.1)
		材 種 種類 記号 厚さ(mm) ビニル床タイル ・ ホモジニアスピニル床タイル HT ※ 2.0 ※ コンポジション ※ 半硬質 CT ※ 硬質 CTS
10	盛土材料	路床の盛土材料 ・ A種・B種・C種・D種 (19.2.3)(表3.2.1)
		※ 行わない ・ 行う (※ 乱した土・乱さない土) (19.2.5)
11	路床土の支持力比(CBR)試験	※ 行わない ・ 行う (19.2.5)
		※ 行わない ・ 行う (19.2.5)
12	路床締め固めの試験	※ 行わない ・ 行う (19.2.5)
		※ 行わない ・ 行う (19.2.5)
13	アスファルト舗装	加熱混合物の種類(表層) (19.4.4)(表19.4.6)
		・ 一般地域 ・ 密粒度アスファルト混合物(13) ・ 細粒度アスファルト混合物(13) ・ 寒冷地域 ・ 密粒度アスファルト混合物(13F) ・ 細粒度ギャップアスファルト混合物(13F)
14	コンクリート舗装	シールコート ・ 行う ※ 行わない アスファルトの混合物のゆう出試験 ・ 行う ※ 行わない カラー舗装の種類 ※ 顔料を使用した加熱アスファルト混合物 (19.4.5) (19.4.6)
		溶接金網 ・ 使用する(150×150×6φ) ・ 使用しない コンクリート版の厚さの試験 ・ 行う ※ 行わない (19.5.3)
15	タイルカーペット	(18.8.1)(表18.8.2~3)
		種類 種類 工法 色柄 寸法 厚さ 電気抵抗() タイル ※ A種 ※ 全面接着 ※ 無地 ※ 500角 ※ 6.5 カーペット ※ B種 ※ 柄物 ※ 7 ※ JIS K6911(準拠) 20 40%RH
16	合成樹脂塗床	製造所 評価名簿による ・ 弾性力の塗り床 仕上げの種類 ※ 平滑仕上げ ・ 防汚仕上げ ・ 艶消し仕上げ (18.2.1) ・ 187樹脂塗り床仕上げの種類 ・ 薄膜流し展べ仕上げ ・ 厚膜流し展べ仕上げ ・ 樹脂の塗り仕上げ ・ 防汚仕上げ
		製造所 評価名簿による ・ 弾性力の塗り床 仕上げの種類 ※ 平滑仕上げ ・ 防汚仕上げ ・ 艶消し仕上げ (18.2.1) ・ 187樹脂塗り床仕上げの種類 ・ 薄膜流し展べ仕上げ ・ 厚膜流し展べ仕上げ ・ 樹脂の塗り仕上げ ・ 防汚仕上げ
17	床用防塵塗料塗	製造所 評価名簿による ・ 弾性力の塗り床 仕上げの種類 ※ 平滑仕上げ ・ 防汚仕上げ ・ 艶消し仕上げ (18.2.1) ・ 187樹脂塗り床仕上げの種類 ・ 薄膜流し展べ仕上げ ・ 厚膜流し展べ仕上げ ・ 樹脂の塗り仕上げ ・ 防汚仕上げ
		製造所 評価名簿による ・ 弾性力の塗り床 仕上げの種類 ※ 平滑仕上げ ・ 防汚仕上げ ・ 艶消し仕上げ (18.2.1) ・ 187樹脂塗り床仕上げの種類 ・ 薄膜流し展べ仕上げ ・ 厚膜流し展べ仕上げ ・ 樹脂の塗り仕上げ ・ 防汚仕上げ
18	可動間仕切	JIS A 6512によるほか、下記による。 構造形式による種類 ※ スライド式(※ スライド内蔵) ・ スライド式 表面材質及び厚さ(mm) ※ 鋼板 0.6 仕上げ メラミン樹脂又はアクリル樹脂塗装焼付塗装(※ 常備色・指定色) パネル厚さ(mm) 程度 製造所 評価名簿による
		JIS A 6512によるほか、下記による。 構造形式による種類 ※ スライド式(※ スライド内蔵) ・ スライド式 表面材質及び厚さ(mm) ※ 鋼板 0.6 仕上げ メラミン樹脂又はアクリル樹脂塗装焼付塗装(※ 常備色・指定色) パネル厚さ(mm) 程度 製造所 評価名簿による
19	石膏ボード及びその他ボード及び合板張り	表天井及び壁に使用する材料は、すべて防火材料の認定表示のあるものとする。 合板の張付け ・ A種 ※ B種 (表18.4.3)
		表天井及び壁に使用する材料は、すべて防火材料の認定表示のあるものとする。 合板の張付け ・ A種 ※ B種 (表18.4.3)
20	フローリング張り	類別、工法 ・ 単層フローリング(◎ フロアボード・フロアパッド・セグメント) ・ 湿式工法 ◎ 乾式工法(・ 釘止め工法・接着工法) ※ 複合フローリング(※ 1種・2種・3種) 表層※ ヒノキ ・ 乾式工法(・ 釘止め工法(・ A種・B種・C種)・接着工法)
		類別、工法 ・ 単層フローリング(◎ フロアボード・フロアパッド・セグメント) ・ 湿式工法 ◎ 乾式工法(・ 釘止め工法・接着工法) ※ 複合フローリング(※ 1種・2種・3種) 表層※ ヒノキ ・ 乾式工法(・ 釘止め工法(・ A種・B種・C種)・接着工法)
21	壁紙張り	(18.5.2~18.5.5)
		(18.5.2~18.5.5)
22	メラミン樹脂化粧板	JIS K 6903 規格品 厚さ ・ 1.0 ※ 1.2 ・ 1.6
		JIS K 6903 規格品 厚さ ・ 1.0 ※ 1.2 ・ 1.6
23	量数	量床種類 ・ A種(JIS A5901 1級) ・ B種(JIS A5901 2級)(表18.7.1) ・ C種(JIS A5901)PS20 ※ D種(JIS A5914) 量表は高知県土佐量検査協会の合格品を使用のこと。(3種表の2等以上) 量床の防虫処理は防虫加工紙を使用してもよい。 (18.9.2)
		量床種類 ・ A種(JIS A5901 1級) ・ B種(JIS A5901 2級)(表18.7.1) ・ C種(JIS A5901)PS20 ※ D種(JIS A5914) 量表は高知県土佐量検査協会の合格品を使用のこと。(3種表の2等以上) 量床の防虫処理は防虫加工紙を使用してもよい。 (18.9.2)
24	断熱材(特定フロンを使用しないもの)	材 種類 種類 厚さ(mm) ※ ポリスチレンフォーム保温材 B 類 2 種 ※ 25・20 ・ 硬質ウレタンフォーム保温材 1 種 2 号 20
		材 種類 種類 厚さ(mm) ※ ポリスチレンフォーム保温材 B 類 2 種 ※ 25・20 ・ 硬質ウレタンフォーム保温材 1 種 2 号 20
25	浴室天井材	断熱材補修材 ・ 断熱材と同材 ・ 吹付け硬質ウレタンフォーム保温材(現場発泡) 厚さ mm JIS A9526 難燃2級
		断熱材補修材 ・ 断熱材と同材 ・ 吹付け硬質ウレタンフォーム保温材(現場発泡) 厚さ mm JIS A9526 難燃2級
26	盛土材料	路床の盛土材料 ・ A種・B種・C種・D種 (19.2.3)(表3.2.1)
		※ 行わない ・ 行う (※ 乱した土・乱さない土) (19.2.5)
27	路床土の支持力比(CBR)試験	※ 行わない ・ 行う (19.2.5)
		※ 行わない ・ 行う (19.2.5)
28	路床締め固めの試験	※ 行わない ・ 行う (19.2.5)
		※ 行わない ・ 行う (19.2.5)
29	アスファルト舗装	加熱混合物の種類(表層) (19.4.4)(表19.4.6)
		・ 一般地域 ・ 密粒度アスファルト混合物(13) ・ 細粒度アスファルト混合物(13) ・ 寒冷地域 ・ 密粒度アスファルト混合物(13F) ・ 細粒度ギャップアスファルト混合物(13F)
30	コンクリート舗装	シールコート ・ 行う ※ 行わない アスファルトの混合物のゆう出試験 ・ 行う ※ 行わない カラー舗装の種類 ※ 顔料を使用した加熱アスファルト混合物 (19.4.5) (19.4.6)
		溶接金網 ・ 使用する(150×150×6φ) ・ 使用しない コンクリート版の厚さの試験 ・ 行う ※ 行わない (19.5.3)
31	タイルカーペット	(18.8.1)(表18.8.2~3)
		種類 種類 工法 色柄 寸法 厚さ 電気抵抗() タイル ※ A種 ※ 全面接着 ※ 無地 ※ 500角 ※ 6.5 カーペット ※ B種 ※ 柄物 ※ 7 ※ JIS K6911(準拠) 20 40%RH
32	合成樹脂塗床	製造所 評価名簿による ・ 弾性力の塗り床 仕上げの種類 ※ 平滑仕上げ ・ 防汚仕上げ ・ 艶消し仕上げ (18.2.1) ・ 187樹脂塗り床仕上げの種類 ・ 薄膜流し展べ仕上げ ・ 厚膜流し展べ仕上げ ・ 樹脂の塗り仕上げ ・ 防汚仕上げ
		製造所 評価名簿による ・ 弾性力の塗り床 仕上げの種類 ※ 平滑仕上げ ・ 防汚仕上げ ・ 艶消し仕上げ (18.2.1) ・ 187樹脂塗り床仕上げの種類 ・ 薄膜流し展べ仕上げ ・ 厚膜流し展べ仕上げ ・ 樹脂の塗り仕上げ ・ 防汚仕上げ
33	床用防塵塗料塗	製造所 評価名簿による ・ 弾性力の塗り床 仕上げの種類 ※ 平滑仕上げ ・ 防汚仕上げ ・ 艶消し仕上げ (18.2.1) ・ 187樹脂塗り床仕上げの種類 ・ 薄膜流し展べ仕上げ ・ 厚膜流し展べ仕上げ ・ 樹脂の塗り仕上げ ・ 防汚仕上げ
		製造所 評価名簿による ・ 弾性力の塗り床 仕上げの種類 ※ 平滑仕上げ ・ 防汚仕上げ ・ 艶消し仕上げ (18.2.1) ・ 187樹脂塗り床仕上げの種類 ・ 薄膜流し展べ仕上げ ・ 厚膜流し展べ仕上げ ・ 樹脂の塗り仕上げ ・ 防汚仕上げ
34	可動間仕切	JIS A 6512によるほか、下記による。 構造形式による種類 ※ スライド式(※ スライド内蔵) ・ スライド式 表面材質及び厚さ(mm) ※ 鋼板 0.6 仕上げ メラミン樹脂又はアクリル樹脂塗装焼付塗装(※ 常備色・指定色) パネル厚さ(mm) 程度 製造所 評価名簿による
		JIS A 6512によるほか、下記による。 構造形式による種類 ※ スライド式(※ スライド内蔵) ・ スライド式 表面材質及び厚さ(mm) ※ 鋼板 0.6 仕上げ メラミン樹脂又はアクリル樹脂塗装焼付塗装(※ 常備色・指定色) パネル厚さ(mm) 程度 製造所 評価名簿による
35	石膏ボード及びその他ボード及び合板張り	表天井及び壁に使用する材料は、すべて防火材料の認定表示のあるものとする。 合板の張付け ・ A種 ※ B種 (表18.4.3)
		表天井及び壁に使用する材料は、すべて防火材料の認定表示のあるものとする。 合板の張付け ・ A種 ※ B種 (表18.4.3)
36	フローリング張り	類別、工法 ・ 単層フローリング(◎ フロアボード・フロアパッド・セグメント) ・ 湿式工法 ◎ 乾式工法(・ 釘止め工法・接着工法) ※ 複合フローリング(※ 1種・2種・3種) 表層※ ヒノキ ・ 乾式工法(・ 釘止め工法(・ A種・B種・C種)・接着工法)
		類別、工法 ・ 単層フローリング(◎ フロアボード・フロアパッド・セグメント) ・ 湿式工法 ◎ 乾式工法(・ 釘止め工法・接着工法) ※ 複合フローリング(※ 1種・2種・3種) 表層※ ヒノキ ・ 乾式工法(・ 釘止め工法(・ A種・B種・C種)・接着工法)
37	壁紙張り	(18.5.2~18.5.5)
		(18.5.2~18.5.5)
38	メラミン樹脂化粧板	JIS K 6903 規格品 厚さ ・ 1.0 ※ 1.2 ・ 1.6
		JIS K 6903 規格品 厚さ ・ 1.0 ※ 1.2 ・ 1.6
39	量数	量床種類 ・ A種(JIS A5901 1級) ・ B種(JIS A5901 2級)(表18.7.1) ・ C種(JIS A5901)PS20 ※ D種(JIS A5914) 量表は高知県土佐量検査協会の合格品を使用のこと。(3種表の2等以上) 量床の防虫処理は防虫加工紙を使用してもよい。 (18.9.2)
		量床種類 ・ A種(JIS A5901 1級) ・ B種(JIS A5901 2級)(表18.7.1) ・ C種(JIS A5901)PS20 ※ D種(JIS A5914) 量表は高知県土佐量検査協会の合格品を使用のこと。(3種表の2等以上) 量床の防虫処理は防虫加工紙を使用してもよい。 (18.9.2)
40	断熱材(特定フロンを使用しないもの)	材 種類 種類 厚さ(mm) ※ ポリスチレンフォーム保温材 B 類 2 種 ※ 25・20 ・ 硬質ウレタンフォーム保温材 1 種 2 号 20
		材 種類 種類 厚さ(mm) ※ ポリスチレンフォーム保温材 B 類 2 種 ※ 25・20 ・ 硬質ウレタンフォーム保温材 1 種 2 号 20
41	浴室天井材	断熱材補修材 ・ 断熱材と同材 ・ 吹付け硬質ウレタンフォーム保温材(現場発泡) 厚さ mm JIS A9526 難燃2級
		断熱材補修材 ・ 断熱材と同材 ・ 吹付け硬質ウレタンフォーム保温材(現場発泡) 厚さ mm JIS A9526 難燃2級
42	盛土材料	路床の盛土材料 ・ A種・B種・C種・D種 (19.2.3)(表3.2.1)
		※ 行わない ・ 行う (※ 乱した土・乱さない土) (19.2.5)
43	路床土の支持力比(CBR)試験	※ 行わない ・ 行う (19.2.5)
		※ 行わない ・ 行う (19.2.5)
44	路床締め固めの試験	※ 行わない ・ 行う (19.2.5)
		※ 行わない ・ 行う (19.2.5)
45	アスファルト舗装	加熱混合物の種類(表層) (19.4.4)(表19.4.6)
		・ 一般地域 ・ 密粒度アスファルト混合物(13) ・ 細粒度アスファルト混合物(13) ・ 寒冷地域 ・ 密粒度アスファルト混合物(13F) ・ 細粒度ギャップアスファルト混合物(13F)
46	コンクリート舗装	シールコート ・ 行う ※ 行わない アスファルトの混合物のゆう出試験 ・ 行う ※ 行わない カラー舗装の種類 ※ 顔料を使用した加熱アスファルト混合物 (19.4.5) (19.4.6)
		溶接金網 ・ 使用する(150×150×6φ) ・ 使用しない コンクリート版の厚さの試験 ・ 行う ※ 行わない (19.5.3)
47	タイルカーペット	(18.8.1)(表18.8.2~3)
		種類 種類 工法 色柄 寸法 厚さ 電気抵抗() タイル ※ A種 ※ 全面接着 ※ 無地 ※ 500角 ※ 6.5 カーペット ※ B種 ※ 柄物 ※ 7 ※ JIS K6911(準拠) 20 40%RH
48	合成樹脂塗床	製造所 評価名簿による ・ 弾性力の塗り床 仕上げの種類 ※ 平滑仕上げ ・ 防汚仕上げ ・ 艶消し仕上げ (18.2.1) ・ 187樹脂塗り床仕上げの種類 ・ 薄膜流し展べ仕上げ ・ 厚膜流し展べ仕上げ ・ 樹脂の塗り仕上げ ・ 防汚仕上げ
		製造所 評価名簿による ・ 弾性力の塗り床 仕上げの種類 ※ 平滑仕上げ ・ 防汚仕上げ ・ 艶消し仕上げ (18.2.1) ・ 187樹脂塗り床仕上げの種類 ・ 薄膜流し展べ仕上げ ・ 厚膜流し展べ仕上げ ・ 樹脂の塗り仕上げ ・ 防汚仕上げ
49	床用防塵塗料塗	製造所 評価名簿による ・ 弾性力の塗り床 仕上げの種類 ※ 平滑仕上げ ・ 防汚仕上げ ・ 艶消し仕上げ (18.2.1) ・ 187樹脂塗り床仕上げの種類 ・ 薄膜流し展べ仕上げ ・ 厚膜流し展べ仕上げ ・ 樹脂の塗り仕上げ ・ 防汚仕上げ
		製造所 評価名簿による ・ 弾性力の塗り床 仕上げの種類 ※ 平滑仕上げ ・ 防汚仕上げ ・ 艶消し仕上げ (18.2.1) ・ 187樹脂塗り床仕上げの種類 ・ 薄膜流し展べ仕上げ ・ 厚膜流し展べ仕上げ ・ 樹脂の塗り仕上げ ・ 防汚仕上げ
50	可動間仕切	JIS A 6512によるほか、下記による。 構造形式による種類 ※ スライド式(※ スライド内蔵) ・ スライド式 表面材質及び厚さ(mm) ※ 鋼板 0.6 仕上げ メラミン樹脂又はアクリル樹脂塗装焼付塗装(※ 常備色・指定色) パネル厚さ(mm) 程度 製造所 評価名簿による
		JIS A 6512によるほか、下記による。 構造形式による種類 ※ スライド式(※ スライド内蔵) ・ スライド式 表面材質及び厚さ(mm) ※ 鋼板 0.6 仕上げ メラミン樹脂又はアクリル樹脂塗装焼付塗装(※ 常備色・指定色) パネル厚さ(mm) 程度 製造所 評価名簿による
51	石膏ボード及びその他ボード及び合板張り	表天井及び壁に使用する材料は、すべて防火材料の認定表示のあるものとする。 合板の張付け ・ A種 ※ B種 (表18.4.3)
		表天井及び壁に使用する材料は、すべて防火材料の認定表示のあるものとする。 合板の張付け ・ A種 ※ B種 (表18.4.3)
52	フローリング張り	類別、工法 ・ 単層フローリング(◎ フロアボード・フロアパッド・セグメント) ・ 湿式工法 ◎ 乾式工法(・ 釘止め工法・接着工法) ※ 複合フローリング(※ 1種・2種・3種) 表層※ ヒノキ ・ 乾式工法(・ 釘止め工法(・ A種・B種・C種)・接着工法)
		類別、工法 ・ 単層フローリング(◎ フロアボード・フロアパッド・セグメント) ・ 湿式工法 ◎ 乾式工法(・ 釘止め工法・接着工法) ※ 複合フローリング(※ 1種・2種・3種) 表層※ ヒノキ ・ 乾式工法(・ 釘止め工法(・ A種・B種・C種)・接着工法)
53	壁紙張り	(18.5.2~18.5.5)
		(18.5.2~18.5.5)
54	メラミン樹脂化粧板	JIS K 6903 規格品 厚さ ・ 1.0 ※ 1.2 ・ 1.6
		JIS K 6903 規格品 厚さ ・ 1.0 ※ 1.2 ・ 1.6
55	量数	量床種類 ・ A種(JIS A5901 1級) ・ B種(JIS A5901 2級)(表18.7.1) ・ C種(JIS A5901)PS20 ※ D種(JIS A5914) 量表は高知県土佐量検査協会の合格品を使用のこと。(3種表の2等以上) 量床の防虫処理は防虫加工紙を使用してもよい。 (18.9.2)
		量床種類 ・ A種(JIS A5901 1級) ・ B種(JIS A5901 2級)(表18.7.1) ・ C種(JIS A5901)PS20 ※ D種(JIS A5914) 量表は高知県土佐量検査協会の合格品を使用のこと。(3種表の2等以上) 量床の防虫処理は防虫加工紙を使用してもよい。 (18.9.2)
56	断熱材(特定フロンを使用しないもの)	材 種類 種類 厚さ(mm) ※ ポリスチレンフォーム保温材 B 類 2 種 ※ 25・20 ・ 硬質ウレタンフォーム保温材 1 種 2 号 20
		材 種類 種類 厚さ(mm) ※ ポリスチレンフォーム保温材 B 類 2 種 ※ 25・20 ・ 硬質ウレタンフォーム保温材 1 種 2 号 20
57	浴室天井材	断熱材補修材 ・ 断熱材と同材 ・ 吹付け硬質ウレタンフォーム保温材(現場発泡) 厚さ mm JIS A9526 難燃2級
		断熱材補修材 ・ 断熱材と同材 ・ 吹付け硬質ウレタンフォーム保温材(現場発泡) 厚さ mm JIS A9526 難燃2級
58	盛土材料	路床の盛土材料 ・ A種・B種・C種・D種 (19.2.3)(表3.2.1)
		※ 行わない ・ 行う (※ 乱した土・乱さない土) (19.2.5)
59	路床土の支持力比(CBR)試験	※ 行わない ・ 行う (19.2.5)
		※ 行わない ・ 行う (19.2.5)
60	路床締め固めの試験	※ 行わない ・ 行う (19.2.5)
		※ 行わない ・ 行う (19.2.5)
61	アスファルト舗装	加熱混合物の種類(表層) (19.4.4)(表19.4.6)
		・ 一般地域 ・ 密粒度アスファルト混合物(13) ・ 細粒度アスファルト混合物(13) ・ 寒冷地域 ・ 密粒度アスファルト混合物(13F) ・ 細粒度ギャップアスファルト混合物(13F)
62	コンクリート舗装	シールコート ・ 行う ※ 行わない アスファルトの混合物のゆう出試験 ・ 行う ※ 行わない カラー舗装の種類 ※ 顔料を使用した加熱アスファルト混合物 (19.4.5) (19.4.6)
		溶接金網 ・ 使用する(150×150×6φ) ・ 使用しない コンクリート版の厚さの試験 ・ 行う ※ 行わない (19.5.3)
63	タイルカーペット	(18.8.1)(表18.8.2~3)
		種類 種類 工法 色柄 寸法 厚さ 電気抵抗() タイル ※ A種 ※ 全面接着 ※ 無地 ※ 500角 ※ 6.5 カーペット ※ B種 ※ 柄物 ※ 7 ※ JIS K6911(準拠) 20 40%RH
64	合成樹脂塗床	製造所 評価名簿による ・ 弾性力の塗り床 仕上げの種類 ※ 平滑仕上げ ・ 防汚仕上げ ・ 艶消し仕上げ (18.2.1) ・ 187樹脂塗り床仕上げの種類 ・ 薄膜流し展べ仕上げ ・ 厚膜流し展べ仕上げ ・ 樹脂の塗り仕上げ ・ 防汚仕上げ
		製造所 評価名簿による ・ 弾性力の塗り床 仕上げの種類 ※ 平滑仕上げ ・ 防汚仕上げ ・ 艶消し仕上げ (18.2.1) ・ 187樹脂塗り床仕上げの種類 ・ 薄膜流し展べ仕上げ ・ 厚膜流し展べ仕上げ ・ 樹脂の塗り仕上げ ・ 防汚仕上げ
65	床用防塵塗料塗	製造所 評価名簿による ・ 弾性力の塗り床 仕上げの種類 ※ 平滑仕上げ ・ 防汚仕上げ ・ 艶消し仕上げ (18.2.1) ・ 187樹脂塗り床仕上げの種類 ・ 薄膜流し展べ仕上げ ・ 厚膜流し展べ仕上げ ・ 樹脂の塗り仕上げ ・ 防汚仕上げ
		製造所 評価名簿による ・ 弾性力の塗り床 仕上げの種類 ※ 平滑仕上げ ・ 防汚仕上げ ・ 艶消し仕上げ (18.2.1) ・ 187樹脂塗り床仕上げの種類 ・ 薄膜流し展べ仕上げ ・ 厚膜流し展べ仕上げ ・ 樹脂の塗り仕上げ ・ 防汚仕上げ
66	可動間仕切	JIS A 6512によるほか、下記による。 構造形式による種類 ※ スライド式(※ スライド内蔵) ・ スライド式 表面材質及び厚さ(mm) ※ 鋼板 0.6 仕上げ メラミン樹脂又はアクリル樹脂塗装焼付塗装(※ 常備色・指定色) パネル厚さ(mm) 程度 製造所 評価名簿による
		JIS A 6512によるほか、下記による。 構造形式による種類 ※ スライド式(※ スライド内蔵) ・ スライド式 表面材質及び厚さ(mm) ※ 鋼板 0.6 仕上げ メラミン樹脂又はアクリル樹脂塗装焼付塗装(※ 常備色・指定色) パネル厚さ(mm) 程度 製造所 評価名簿による
67	石膏ボード及びその他ボード及び合板張り	表天井及び壁に使用する材料は、すべて防火材料の認定表示のあるものとする。 合板の張付け ・ A種 ※ B種 (表18.4.3)
		表天井及び壁に使用する材料は、すべて防火材料の認定表示のあるものとする。 合板の張付け ・ A種 ※ B種 (表18.4.3)
68	フローリング張り	類別、工法 ・ 単層フローリング(◎ フロアボード・フロアパッド・セグメント) ・ 湿式工法 ◎ 乾式工法(・ 釘止め工法・接着工法) ※ 複合フローリング(※ 1種・2種・3種) 表層※ ヒノキ ・ 乾式工法(・ 釘止め工法(・ A種・B種・C種)・接着工法)
		類別、工法 ・ 単層フローリング(◎ フロアボード・フロアパッド・セグメント) ・ 湿式工法 ◎ 乾式工法(・ 釘止め工法・接着工法) ※ 複合フローリング(※ 1種・2種・3種) 表層※ ヒノキ ・ 乾式工法(・ 釘止め工法(・ A種・B種・C種)・接着工法)
69	壁紙張り	(18.5.2~18.5.5)
		(18.5.2~18.5.5)
70	メラミン樹脂化粧板	JIS K 6903 規格品 厚さ ・ 1.0 ※ 1.2 ・ 1.6
		JIS K 6903 規格品 厚さ ・ 1.0 ※ 1.2 ・ 1.6
71	量数	量床種類 ・ A種(JIS A5901 1級) ・ B種(JIS A5901 2級)(表18.7.1) ・ C種(JIS A5901)PS20 ※ D種(JIS A5914) 量表は高知県土佐量検査協会の合格品を使用のこと。(3種表の2等以上) 量床の防虫処理は防虫加工紙を使用してもよい。 (18.9.2)
		量床種類 ・ A種(JIS A5901 1級) ・ B種(JIS A5901 2級)(表18.7.1) ・ C種(JIS A5901)PS20 ※ D種(JIS A5914) 量表は高知県土佐量検査協会の合格品を使用のこと。(3種表の2等以上) 量床の防虫処理は防虫加工紙を使用してもよい。 (18.9.2)
72	断熱材(特定フロンを使用しないもの)	材 種類 種類 厚さ(mm) ※ ポリスチレンフォーム保温材 B 類 2 種 ※ 25・20 ・ 硬質ウレタンフォーム保温材 1 種 2 号 20
		材 種類 種類 厚さ(mm) ※ ポリスチレンフォーム保温材 B 類 2 種 ※ 25・20 ・ 硬質ウレタンフォーム保温材 1 種 2 号 20
73	浴室天井材	断熱材補修材 ・ 断熱材と同材 ・ 吹付け硬質ウレタンフォーム保温材(現場発泡) 厚さ mm JIS A9526 難燃2級
		断熱材補修材 ・ 断熱材と同材 ・ 吹付け硬質ウレタンフォーム保温材(現場発泡) 厚さ mm JIS A9526 難燃2級
74	盛土材料	路床の盛土材料 ・ A種・B種・C種・D種 (19.2.3)(表3.2.1)
		※ 行わない ・ 行う (※ 乱した土・乱さない土) (19.2.5)
75	路床土の支持力比(CBR)試験	※ 行わない ・ 行う (19

改修前	外壁	腰壁	屋根	軒樋	竪樋	犬走り	庇	軒天
	モルタル刷毛引きアクリル系リシン吹付 木毛セメント板15mm下地角波カラー鉄板	モルタル刷毛引き仕上	瓦構造	谷樋 カラー鉄板 500x500	100φ VP管 OP塗り 樋み金物 @1000	100角クリンカータイル コンクリート金ゴテ押エ	ネオルーフィングE.B工法 防水モルタルコテ押エ	モルタル刷毛引きアクリル系リシン吹付
	南面北面一部スパンドレル							スパンドレル

改修後	外壁	腰壁	屋根	軒樋	竪樋	犬走り	庇	軒天
	既存モルタル刷毛引きアクリル系リシン吹付箇所アクリル系吹付タイル 下地処理としては、クラック補修 高圧洗浄 セメントシーラー 既存角波鉄板及びスパンドレル箇所ウレタン塗装 下地処理としては、3種ケレンC 高圧洗浄 錆止め塗装	既存モルタル刷毛引きクラック補修	既存瓦構造箇所ウレタン塗装 下地処理としては、3種ケレンC 高圧洗浄 錆止め塗装	既存谷樋上にFB3-32-600@下地 耐酸板覆調板 0.6mm 500x500	既存竪樋シゴキ VP塗り 樋み金物取り替え(SUS)	既存100角クリンカータイル撤去後同材新設 既存コンクリート解体後コンクリート金ゴテ押エ	シート防水 1.2mm 既存仕上げ上に樹脂モルタル金ゴテ押エ	既存モルタル刷毛引きアクリル系リシン吹付箇所アクリル系吹付タイル 下地処理としては、クラック補修 高圧洗浄 セメントシーラー 既存スパンドレル箇所ウレタン塗装 下地処理としては、3種ケレンC 高圧洗浄 錆止め塗装 カラー鉄板 0.4mm 回り縁

内部仕上表										
階	室名	床	巾木	腰壁	壁	天井	備考	室名札		
	玄関(改修前)	クリンカータイル 100x100	人研	モルタルコテ磨き(ゾラコート吹付)	モルタルコテ磨き(ゾラコート吹付)	合板型枠打放シ(ボルクイン吹付)				
	玄関(改修後)	外部クリンカータイル新設 内部:既存	既存	既存モルタルコテ磨き(ゾラコート吹付)VP塗り	既存モルタルコテ磨き(ゾラコート吹付)VP塗り	既存合板型枠打放シ(ボルクイン吹付)VP塗り		玄関マット新設(1600x800)枠ステンレス		
	ホール(改修前)	ビニール系タイル貼り(耐水接着剤使用)	巾木タイル(耐水接着剤使用)	モルタルコテ磨き(ゾラコート吹付)	モルタルコテ磨き(ゾラコート吹付)	合板型枠打放シ(ボルクイン吹付)				
	ホール(改修後)	既存仕上げ撤去後Pタイル貼り(耐水接着剤使用)	既存タイル撤去後ソフト巾木	既存モルタルコテ磨き(ゾラコート吹付)VP塗り	既存モルタルコテ磨き(ゾラコート吹付)VP塗り	既存合板型枠打放シ(ボルクイン吹付)VP塗り	既存家具塗膜研磨後OP塗り 既存行事用黒板上張り新設			
	男子便所(改修前)	モザイクタイル貼り	100角カラータイル	100角カラータイル	モルタルコテ磨き(AEP)	PB 9mm 目透かし貼り(敷きテープ)OP塗り				
	男子便所(改修後)	既存モザイクタイル撤去後50角モザイクタイル	既存100角カラータイル撤去後100角カラータイル	既存100角カラータイル撤去後100角カラータイル	既存モルタルコテ磨き(AEP)VP塗り	既存仕上げ撤去後 けい酸カルシウム板6mm VP塗り		既存人研ぎ補修		
	女子便所(改修前)	モザイクタイル貼り	100角カラータイル	100角カラータイル	モルタルコテ磨き(AEP)	PB 9mm 目透かし貼り(敷きテープ)OP塗り				
	女子便所(改修後)	既存モザイクタイル撤去後50角モザイクタイル	既存100角カラータイル撤去後100角カラータイル	既存100角カラータイル撤去後100角カラータイル	既存モルタルコテ磨き(AEP)VP塗り	既存仕上げ撤去後 けい酸カルシウム板6mm VP塗り		既存人研ぎ補修		
	倉庫(改修前)	グリップコート UC-6100	東側倉庫一部コンパネ12mm OP塗り グリップコート UC-6100	東側倉庫一部コンパネ12mm OP塗り モルタルコテ磨き(AEP)	東側倉庫一部コンパネ12mm OP塗り モルタルコテ磨き(AEP)	合板型枠打放シ(アクリル系リシン吹付)				
	倉庫(改修後)	既存グリップコート モルタル金ゴテ押エ	既存	既存	既存	既存		各クラブ倉庫3室有り(東側倉庫) 既存面格子OP補修塗り(下地処理共)		
	男子更衣室(改修前)	グリップコート UC-6100 一部モザイクタイル貼り	100角カラータイル グリップコート UC-6100	100角カラータイル モルタルコテ磨き(AEP)	100角カラータイル モルタルコテ磨き(AEP)	石綿板4mm 目透かし貼り(敷きテープ)OP塗り				
	男子更衣室(改修後)	Pタイル	ソフト巾木	既存モルタルコテ磨き(ゾラコート吹付)VP塗り	既存モルタルコテ磨き(ゾラコート吹付)VP塗り	既存仕上げ撤去後 けい酸カルシウム板6mm VP塗り		既存家具塗膜研磨後OP塗り		
	女子更衣室(改修前)	一部モザイクタイル箇所コンクリート打設金ゴテ押エ グリップコート UC-6100 一部モザイクタイル貼り	既存100角タイル撤去後モルタル金ゴテ押エ 100角カラータイル グリップコート UC-6100	100角カラータイル モルタルコテ磨き(AEP)	100角カラータイル モルタルコテ磨き(AEP)	石綿板4mm 目透かし貼り(敷きテープ)OP塗り				
	女子更衣室(改修後)	Pタイル 一部モザイクタイル箇所コンクリート打設金ゴテ押エ	ソフト巾木 既存100角タイル撤去後モルタル金ゴテ押エ	既存モルタルコテ磨き(ゾラコート吹付)VP塗り	既存モルタルコテ磨き(ゾラコート吹付)VP塗り	既存仕上げ撤去後 けい酸カルシウム板6mm VP塗り	建具新設(追加1) 既存家具塗膜研磨後OP塗り			
	体操室(改修前)	桜フローリング 15mm 一部床上換気口(SUS)	桜	米松フローリング 15mm CL塗り	米松フローリング 15mm CL塗り 穴明きラワン合板 5.5mmOP塗り 目透かし貼り(敷きテープ)	Mバー 木毛セメント板見出しEP吹付 鉄骨OP塗り				
	体操室(改修後)	既存撤去後(木下地CB共)桜フローリング15mm コンパネ 12mm 鋼製床組	既存	既存	既存	既存鉄骨OP塗り(下地処理共)		面格子箇所格子取り替え		

内部仕上表

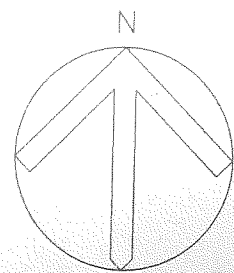
階	室名	床	巾木	腰壁	壁	天井	備考	室名札
	管理入室（改修前）	ビニール系タイル貼り（耐水接着剤使用）	巾木タイル（耐水接着剤使用）	モルタルコテ磨きCB面寒冷紗貼り（ゾラコート吹付） 流し回り100角カラータイル	モルタルコテ磨きCB面寒冷紗貼り（ゾラコート吹付） 流し回り100角カラータイル	インシュレーションボード		
	管理入室（改修後）	既存Pタイル撤去後長尺塩ビシート2.0mm貼り	既存撤去後ソフト巾木	既存モルタルコテ磨きVP塗り 既存100角カラータイル	既存モルタルコテ磨きVP塗り 既存100角カラータイル	PB9mm 化粧石膏ボード		○
	脱衣室（改修前）	ビニール系タイル貼り（耐水接着剤使用）	巾木タイル（耐水接着剤使用）	メラミン化粧合板4mm	メラミン化粧合板4mm	PB 9mm 目透かし貼り（敷きテープ）OP塗り		
	脱衣室（改修後）	既存	既存	既存	既存	既存		
	シャワー（改修前）	モザイクタイル貼り	100角カラータイル	100角カラータイル	100角カラータイル	石綿板4mm 目透かし貼り（敷きテープ）QP塗り		
	シャワー（改修後）	既存	既存	既存	既存	既存		○
	放送室（改修前）	ビニール系タイル貼り	巾木タイル（耐水接着剤使用）	モルタルコテ磨き（ゾラコート） 穴明きラワン合板5.5mm目透かし貼り（敷きテープ）OP塗り 裏面寒冷紗貼り	モルタルコテ磨き（AEP）	PB 9mm 目透かし貼り（敷きテープ）OP塗り		
	放送室（改修後）	既存長尺塩ビシート 階段ノズリップ ^o	既存	既存	既存モルタルコテ磨き（AEP）VP塗り	けい酸カルシウム板6mm VP塗り		○
	ステージ（改修前）	既存桜フローリング15mm	桜	モルタルコテ磨きウッドシート貼り 目地切り	モルタルコテ磨き（AEP）	Mバー アクゼン ^o 回り縁 インシュレーションボード 300×600×9mm 石膏ボード 9mm		
	ステージ（改修後）	既存サnder掛け後フレン塗装3回塗り	既存	既存 一部 ウッドシート貼り 一部 バニア貼り	既存	既存	カーテンBOX	6
	物入（改修前）	モルタル金コテ押エ	合板型枠打放シ	合板型枠打放シ	100角カラータイル モルタルコテ磨き（AEP）	石綿板4mm 目透かし貼り（敷きテープ）QP塗り		
	物入（改修後）	既存	既存	既存	既存	既存		○
	階段（改修前）	ビニール系タイル貼り	入研	モルタルコテ磨き（ゾラコート）	モルタルコテ磨き（ゾラコート）	石綿板4mm 目透かし貼り（敷きテープ）QP塗り		
	階段（改修後）	既存ビニールタイル撤去後Pタイル	既存	既存モルタルコテ磨き（ゾラコート吹付）VP塗り	既存モルタルコテ磨き（ゾラコート吹付）VP塗り	化粧石膏ボード 9.5mm Mバー		
	階段室（改修前）	ビニール系タイル貼り	巾木タイル（耐水接着剤使用）	ラワン合板5.5mm 目透かし貼り（敷きテープ）OP塗り	穴明きラワン合板 5.5mmOP塗り 目透かし貼り（敷きテープ）	石綿板4mm 目透かし貼り（敷きテープ）QP塗り		
	階段室（改修後）	既存ビニールタイル撤去後Pタイル	既存巾木タイル撤去後ソフト巾木	既存仕上OP塗り	既存仕上OP塗り	鉄骨OP塗り		
	ホール（改修前）	ビニール系タイル貼り	巾木タイル（耐水接着剤使用）	米松フローリング 15mm CL塗り	穴明きラワン合板 5.5mmOP塗り 目透かし貼り（敷きテープ）	石綿板4mm 目透かし貼り（敷きテープ）QP塗り		
	ホール（改修後）	既存ビニールタイル撤去後Pタイル	既存巾木タイル撤去後ソフト巾木	既存	既存仕上OP塗り	鉄骨OP塗り Mバー		
	トレーニング場（改修前）	桜フローリング15mm	桜	米松フローリング 15mm CL塗り	穴明きラワン合板 5.5mmOP塗り 目透かし貼り（敷きテープ）	石綿板4mm 目透かし貼り（敷きテープ）QP塗り		
	トレーニング場（改修後）	既存撤去後（木下地共）桜フローリング15mm	既存	既存 片割カマ ^o	既存	鉄骨OP塗り		
	ギャラリー（改修前）	モルタル金コテ押エ 目地切り	桜	穴明きラワン合板 5.5mmOP塗り 目透かし貼り（敷きテープ）	穴明きラワン合板 5.5mmOP塗り 目透かし貼り（敷きテープ）	石綿板4mm 目透かし貼り（敷きテープ）QP塗り		
	ギャラリー（改修後）	既存	既存	既存	既存 一部 有孔バニヤ 一部 木下地	鉄骨OP塗り	柱脚補強箇所モルタル金コテ押エ フナギ梁補強箇所カーテンBOX 松積層	

共通事項：既存仕上のままの箇所と極端に仕上げが悪い箇所は補修工事を施工範囲に入れること。
屋内消火栓ボックス及び各種分電盤塗装は、建築工事とする。OP塗り

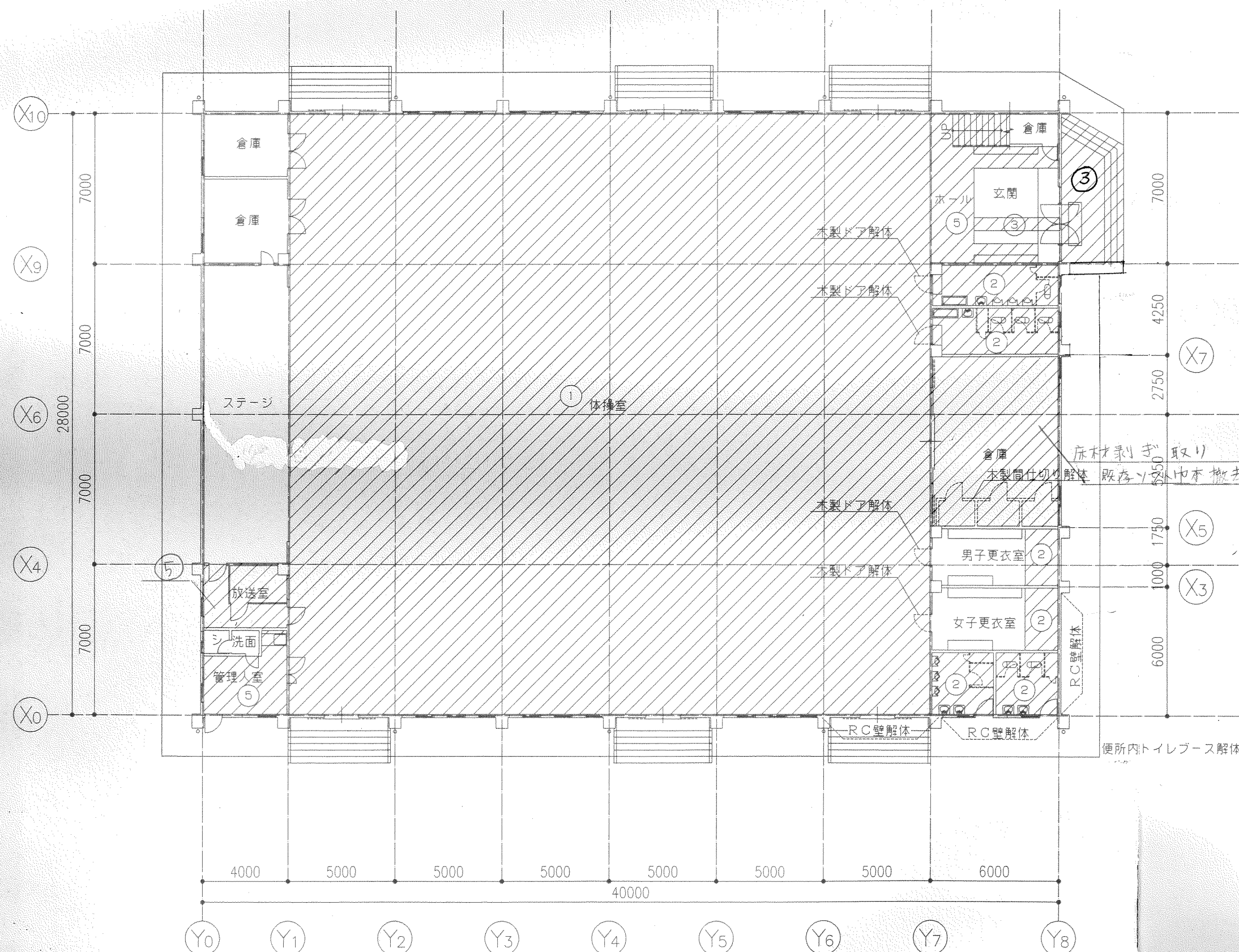
記号 CS＝軽鉄天井下地
WS＝軽鉄壁下地 特記がなければ、W＝90とする。

凡例 仕上 H
下地

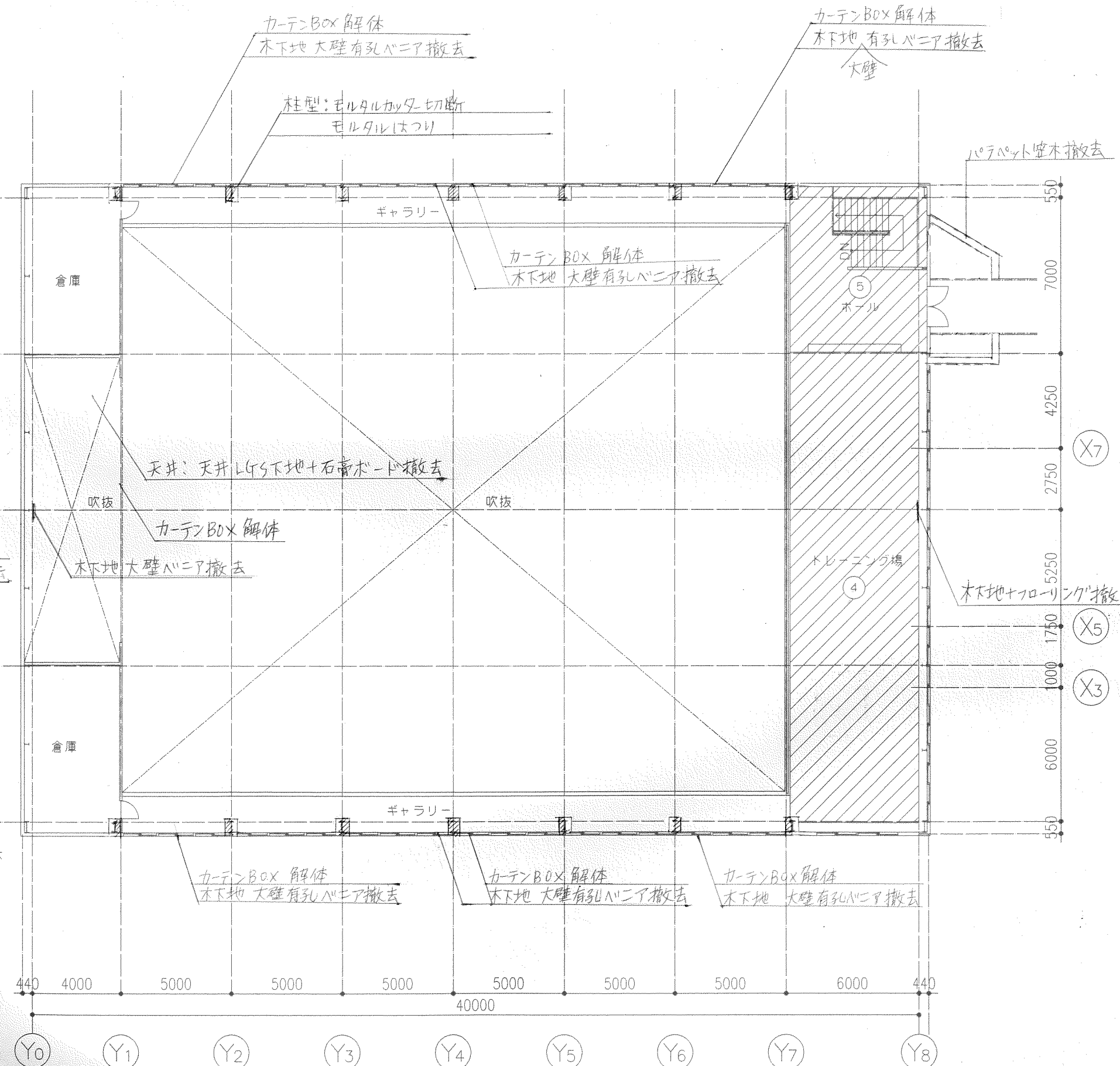
春野中学校体育館仕上表2



- | | |
|---|----------------------|
| ① | フローリング解体 下地木組解体 CB解体 |
| ② | モザイクタイル解体 |
| ③ | タイル解体 |
| ④ | フローリング解体 下地木組解体 |
| ⑤ | Pタイル解体 |



1 階解体図 S=1:200



2 階解体図 S=1:200

備考

平成11年度春野中学校大規模改造
及び耐震補強（屋内運動場）工事設計図

三建設計有限会社

登録高一六号

図面名称

各階解体図

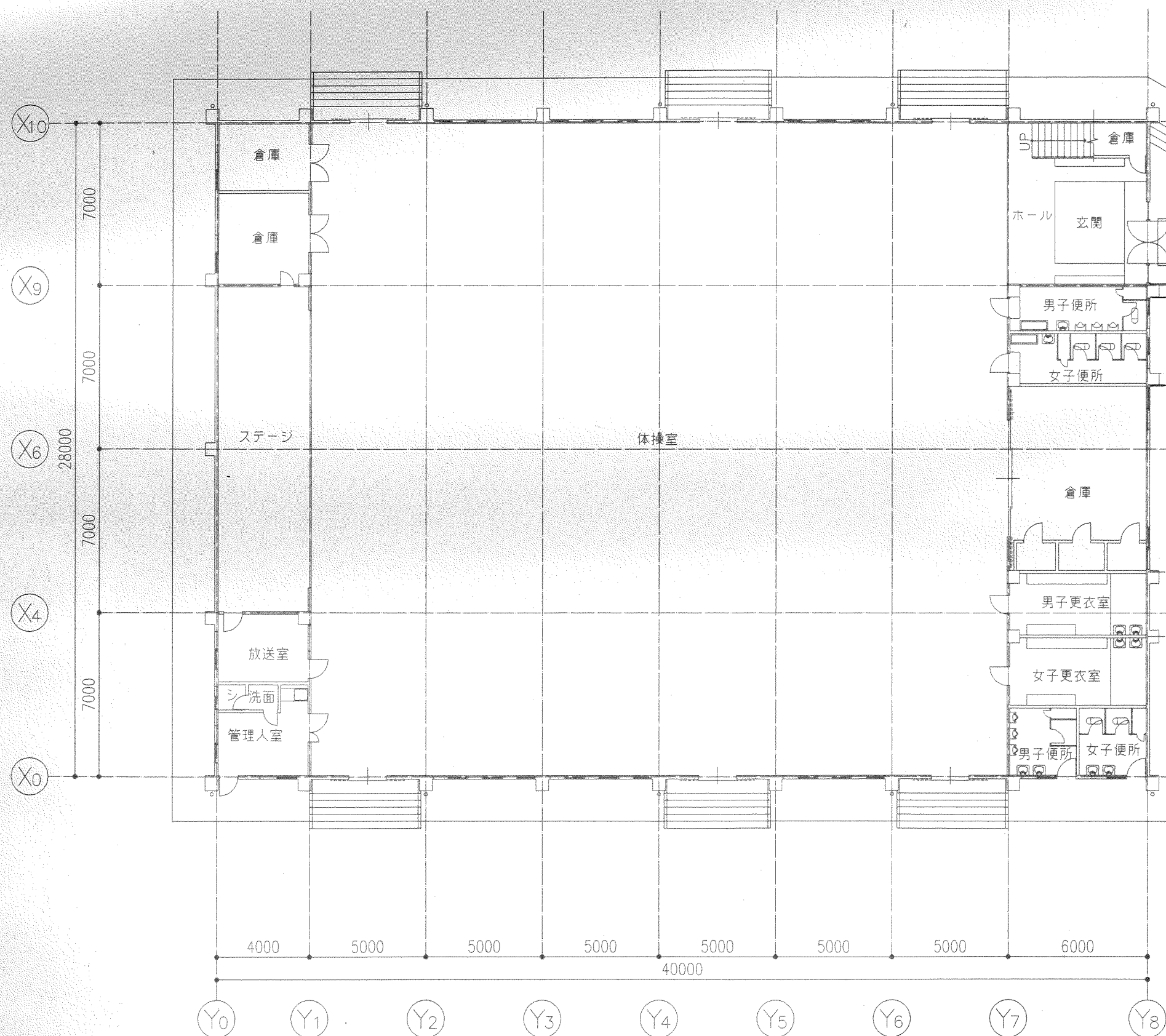
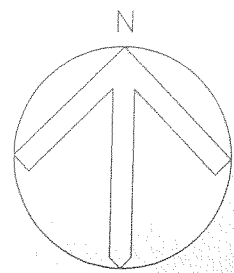
高知市葛島2-2-2
一級建築士第62562

TEL 83-1761
公文簿視

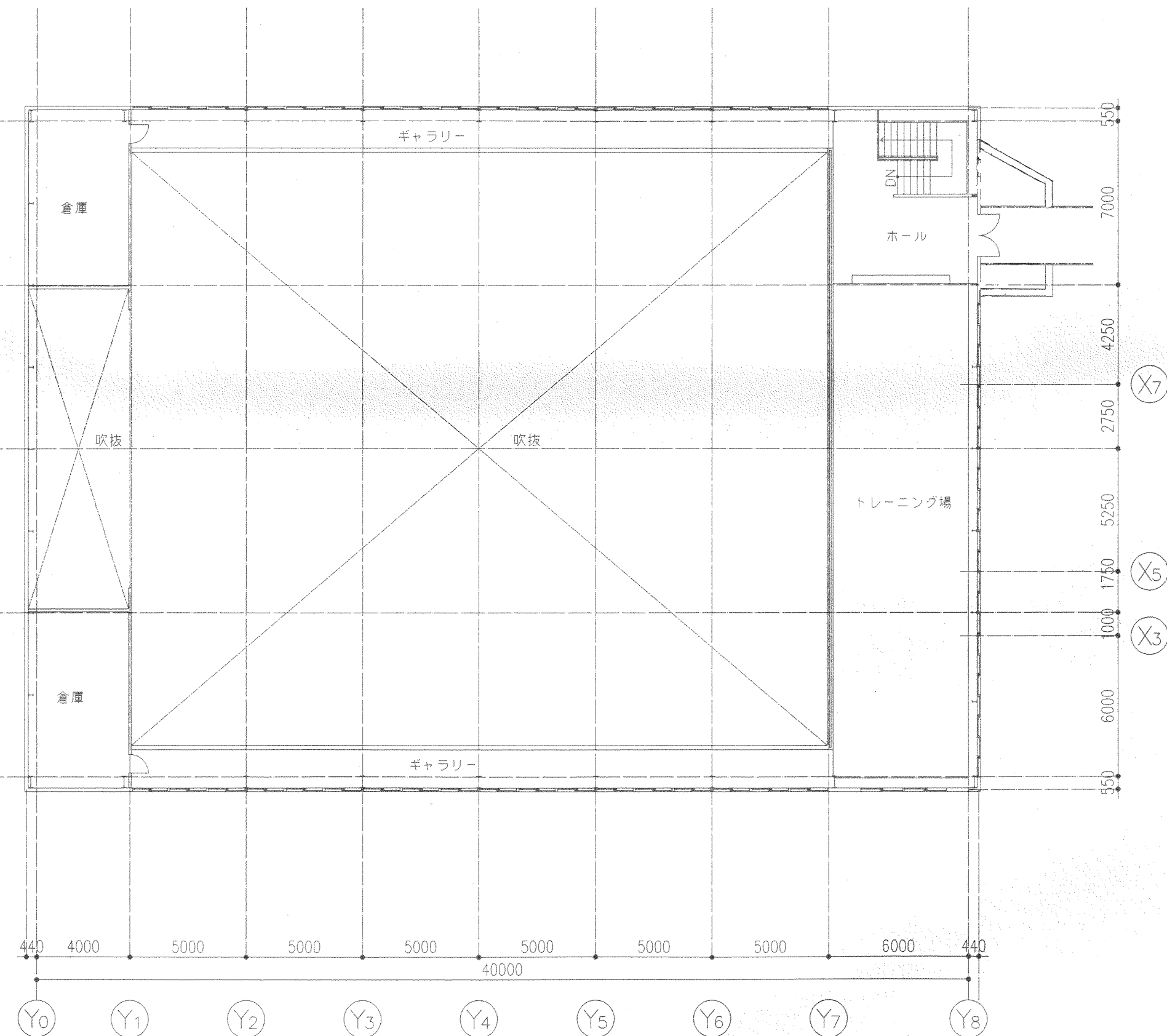
縮尺 S=1:200
年 月 日 担当

製図

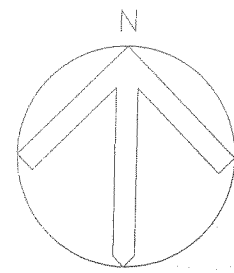
NO. A 8



既存1階平面図 S=1:200



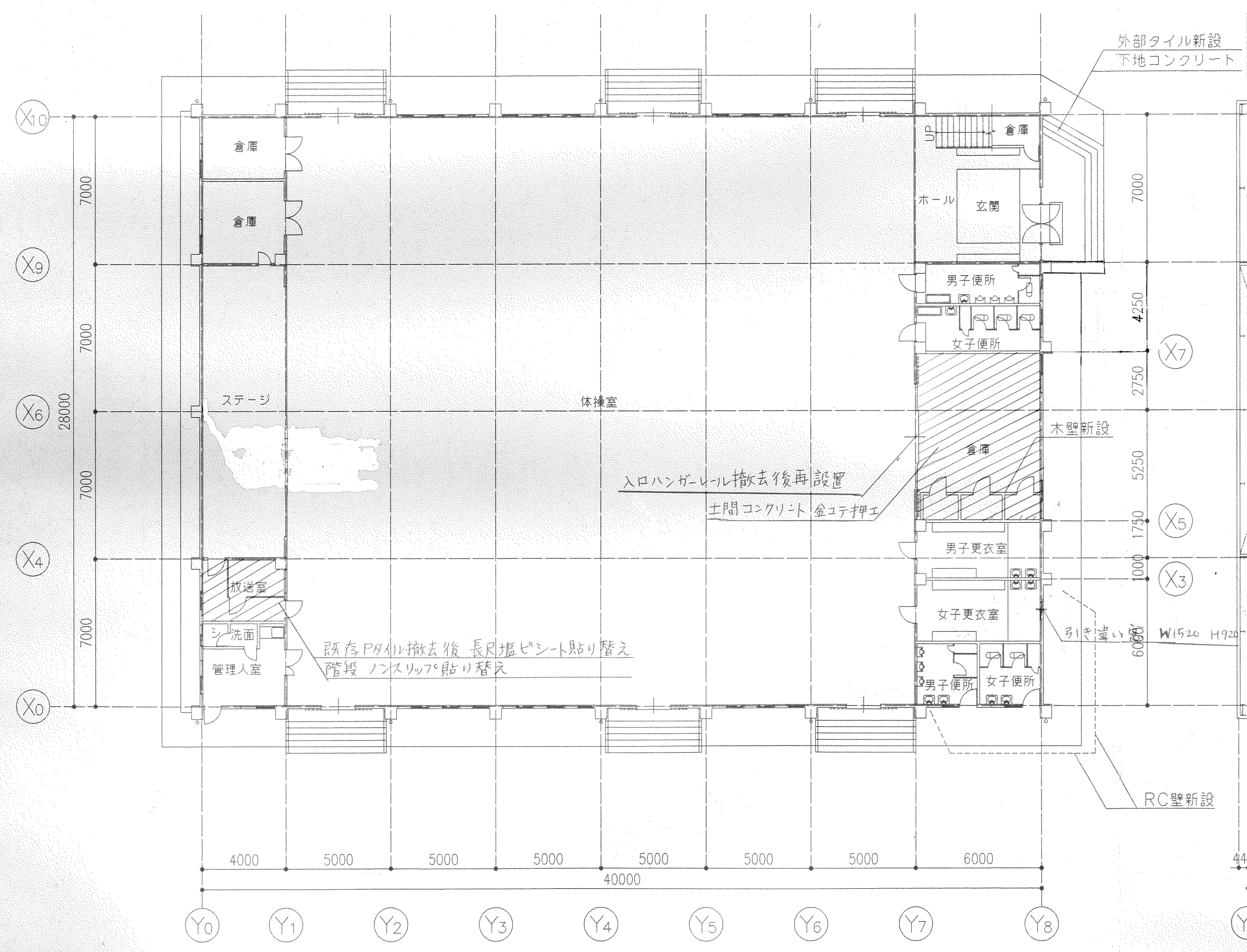
既存2階平面図 S=1:200



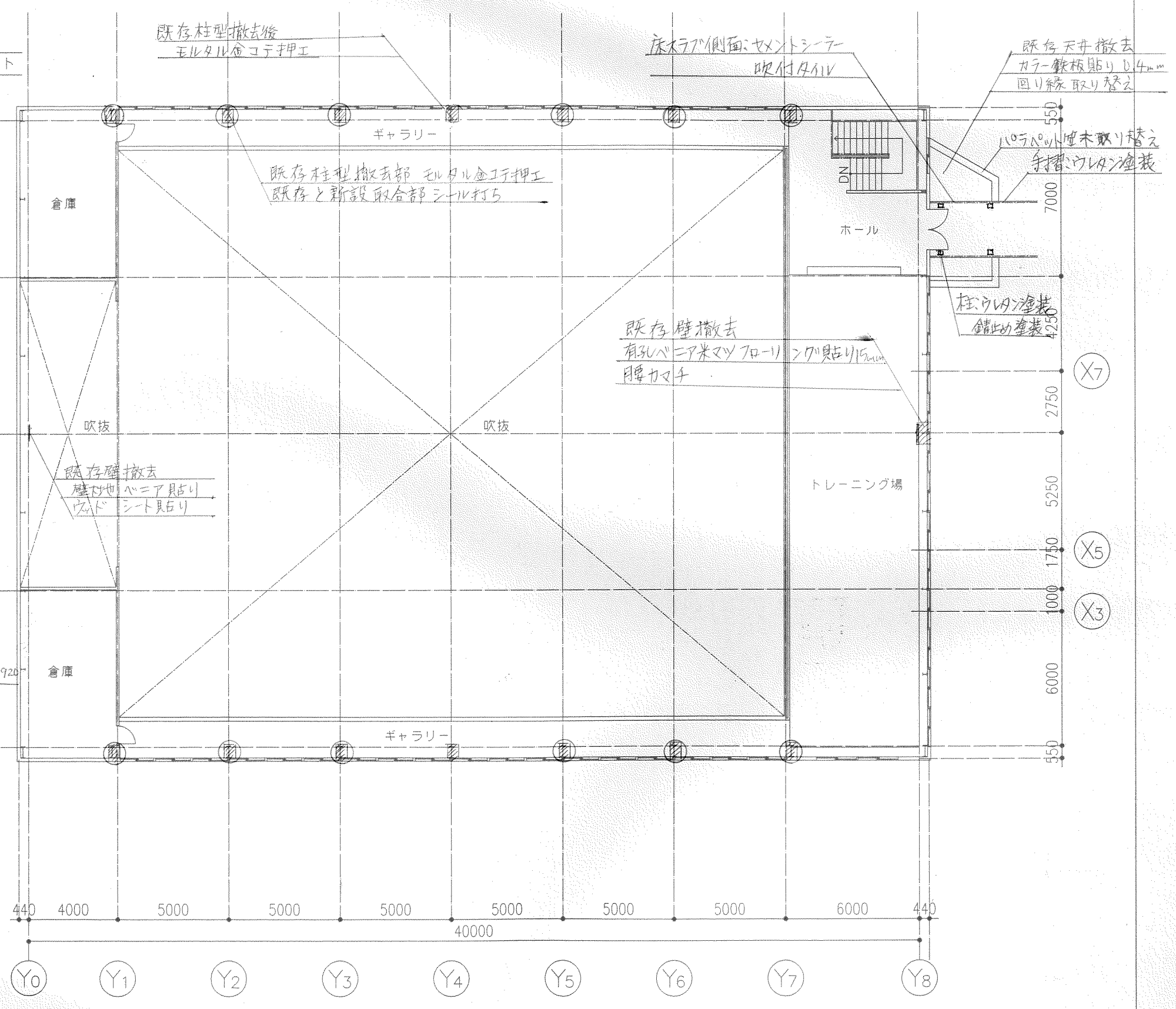
S=1:150

2階天井伏図

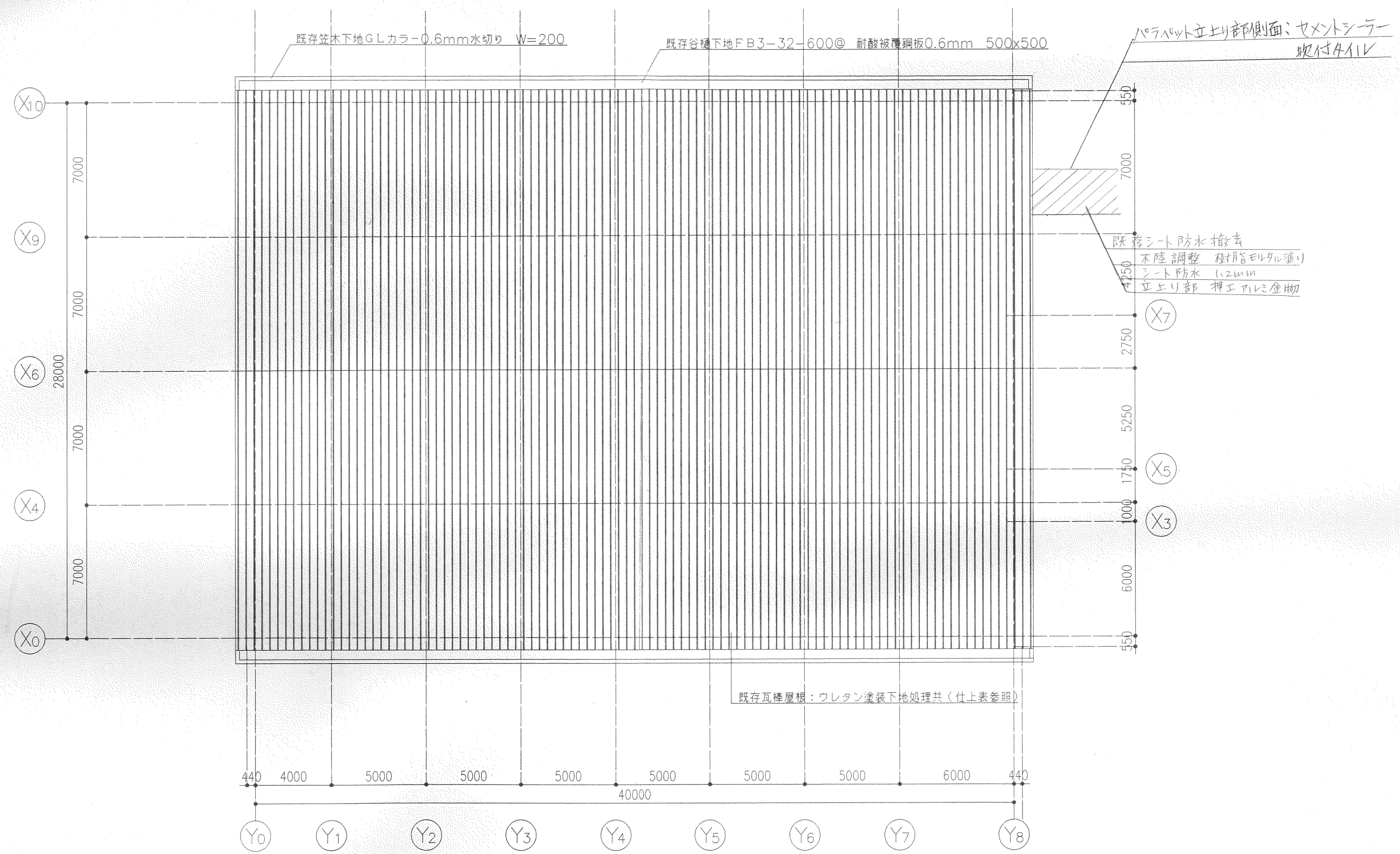
- 〃 爆発管所補修
- 〃 金釘止め塗装
- 〃 モルタル塗り



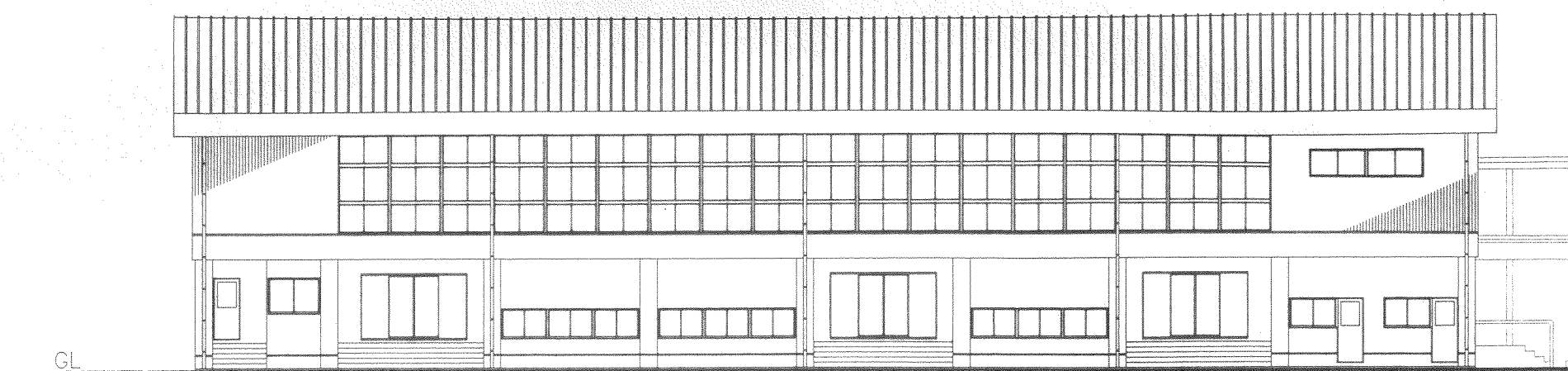
1階平面図 S=1:200



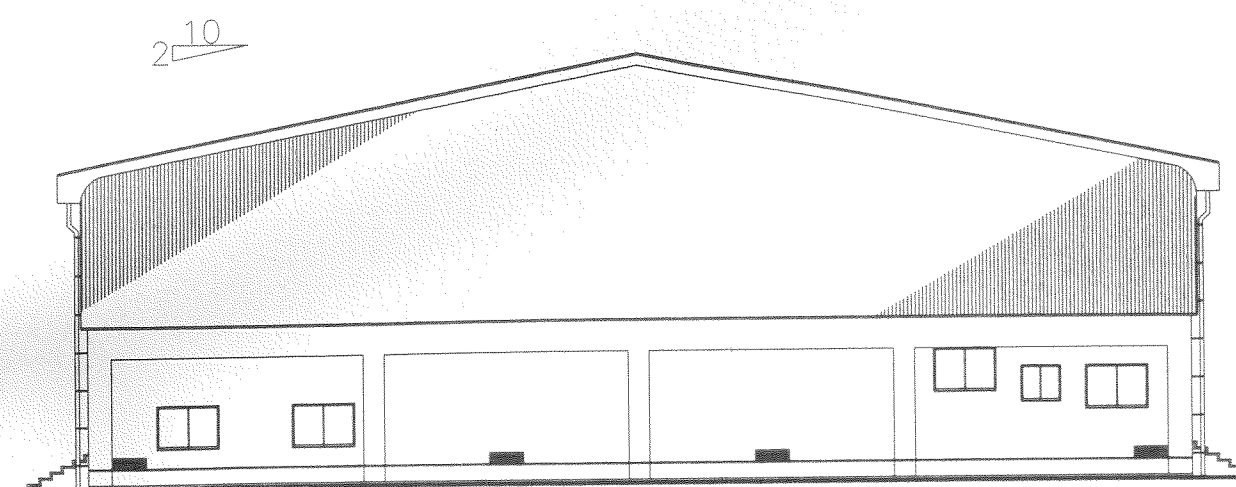
2階平面図 S=1:200



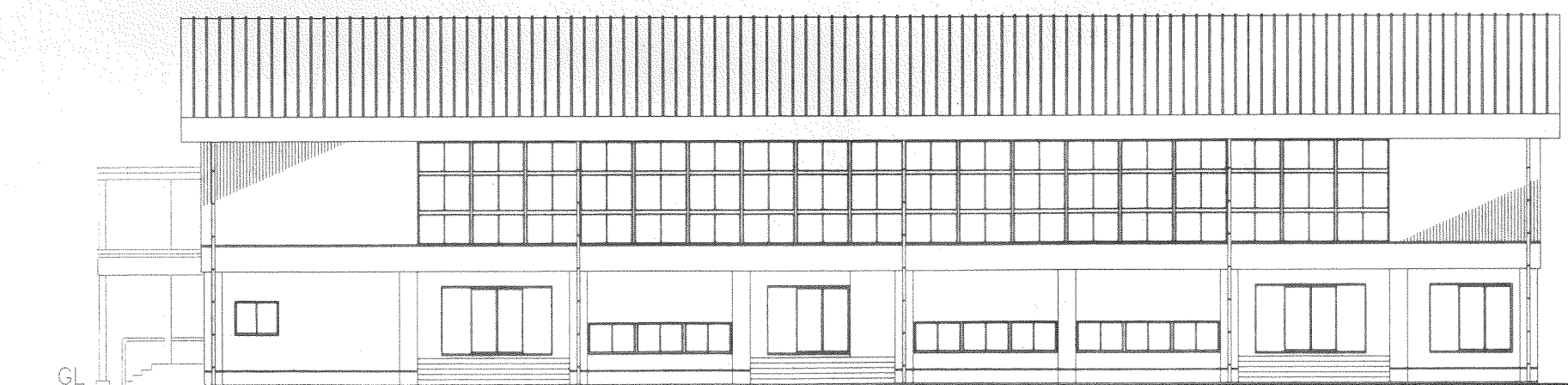
屋根伏図 S=1:200



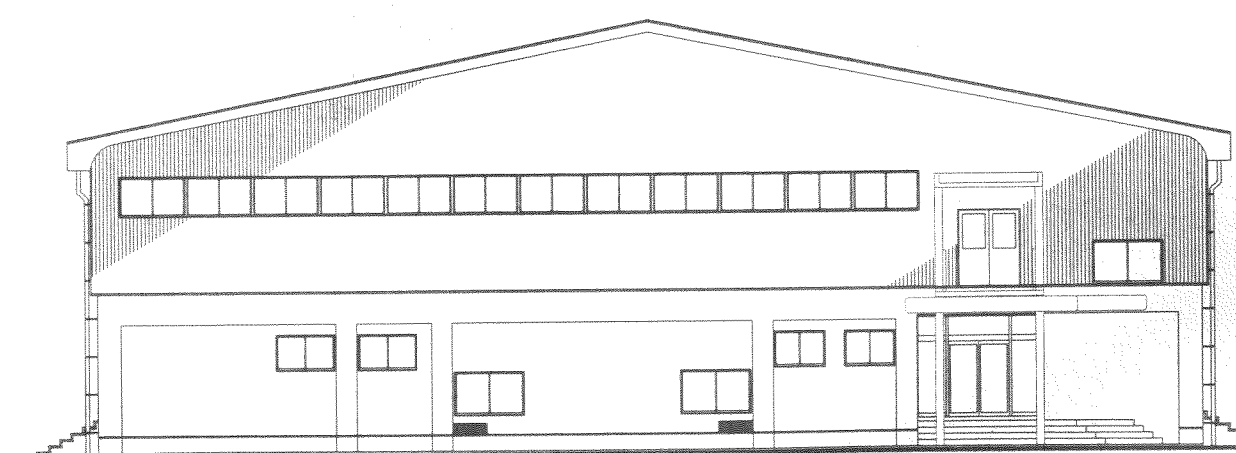
既存南面立面図 S=1:200



既存西面立面図 S=1:200



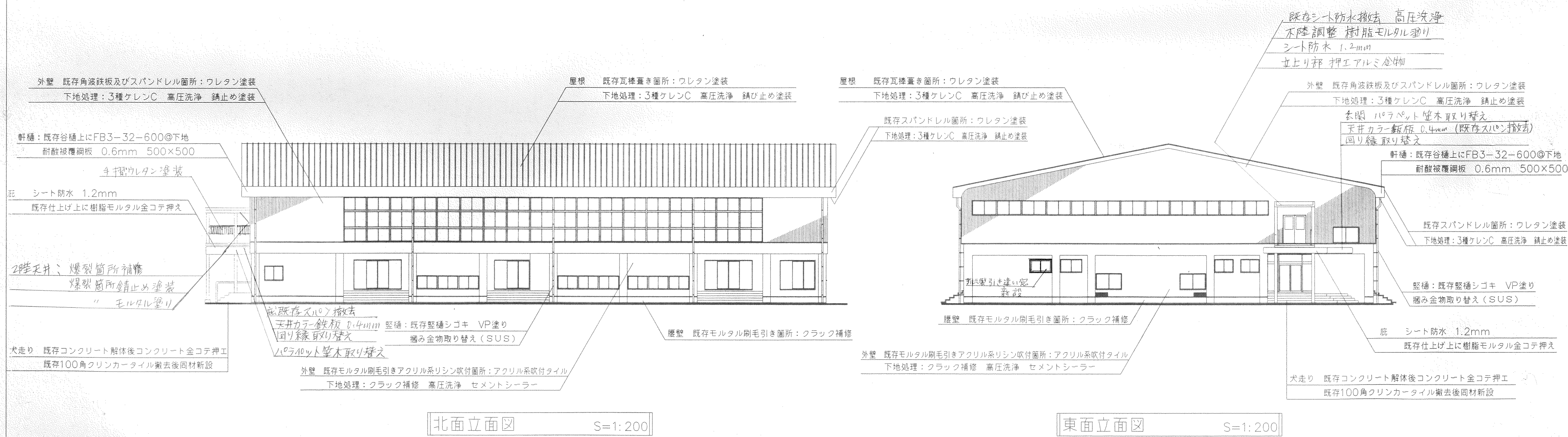
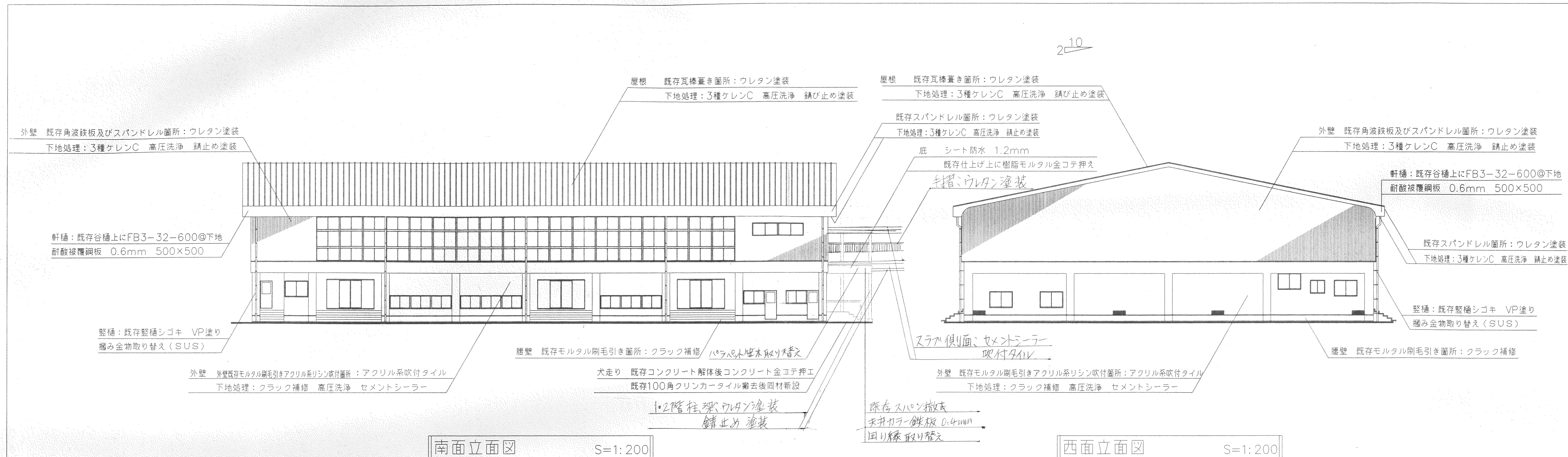
既存北面立面図 S=1:200

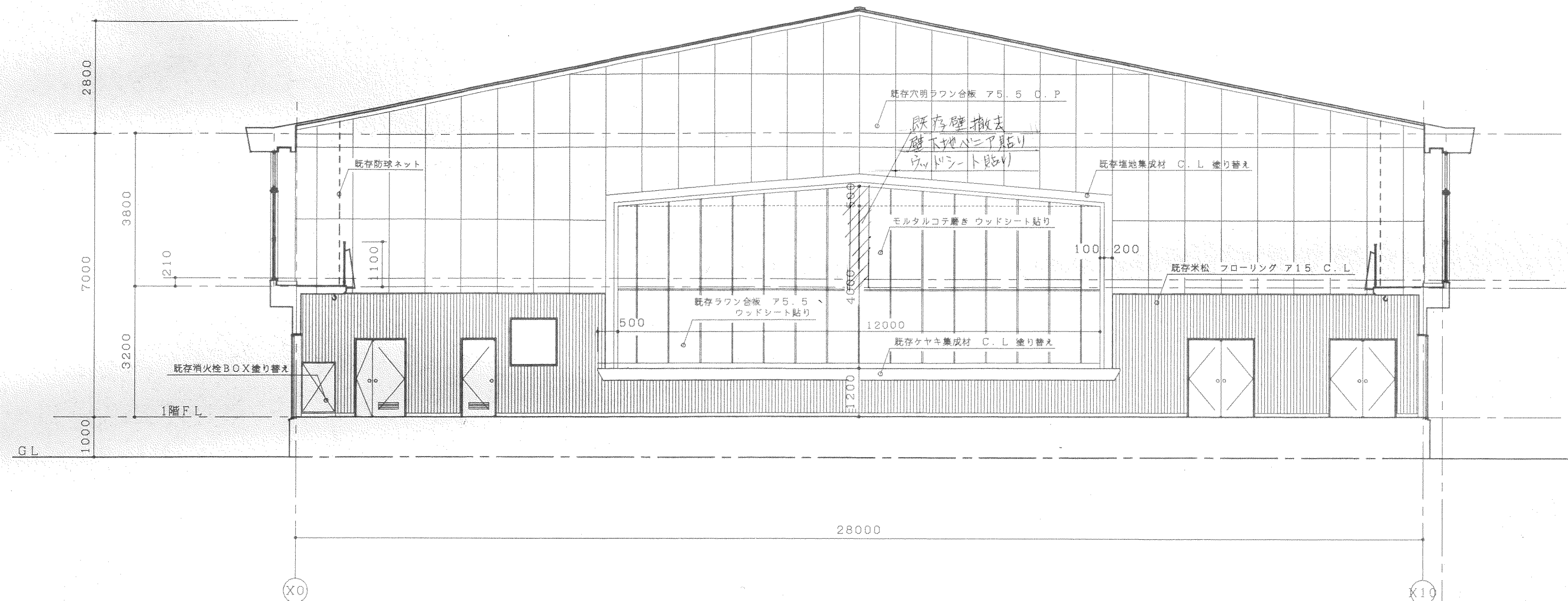


既存東面立面図 S=1:200

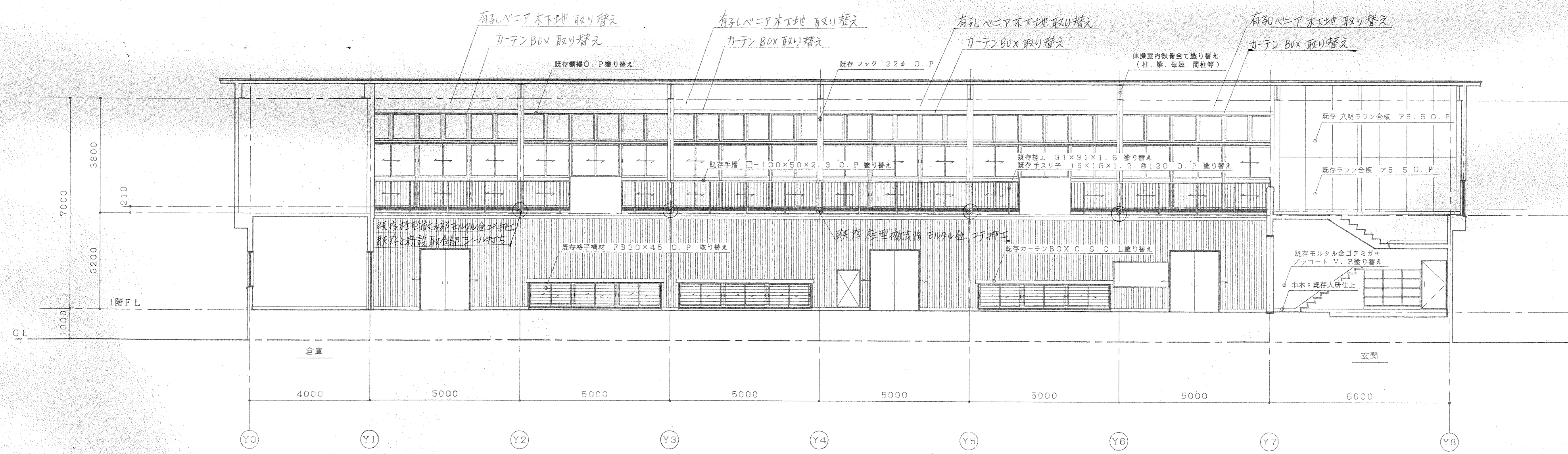
春野中学校体育館既存立面図

備考	平成11年度春野中学校大規模改造事業 及び耐震補強(屋内運動場)工事設計図	三建設計有限会社 登録高-6号 高知市葛島2-2-2 TEL 83-1761 一級建築士第62562 公文淳視	図面名称 既存立面図 縮尺 S=1:200 年 月 日 担当 製図	NO. A-12
----	--	---	---	----------

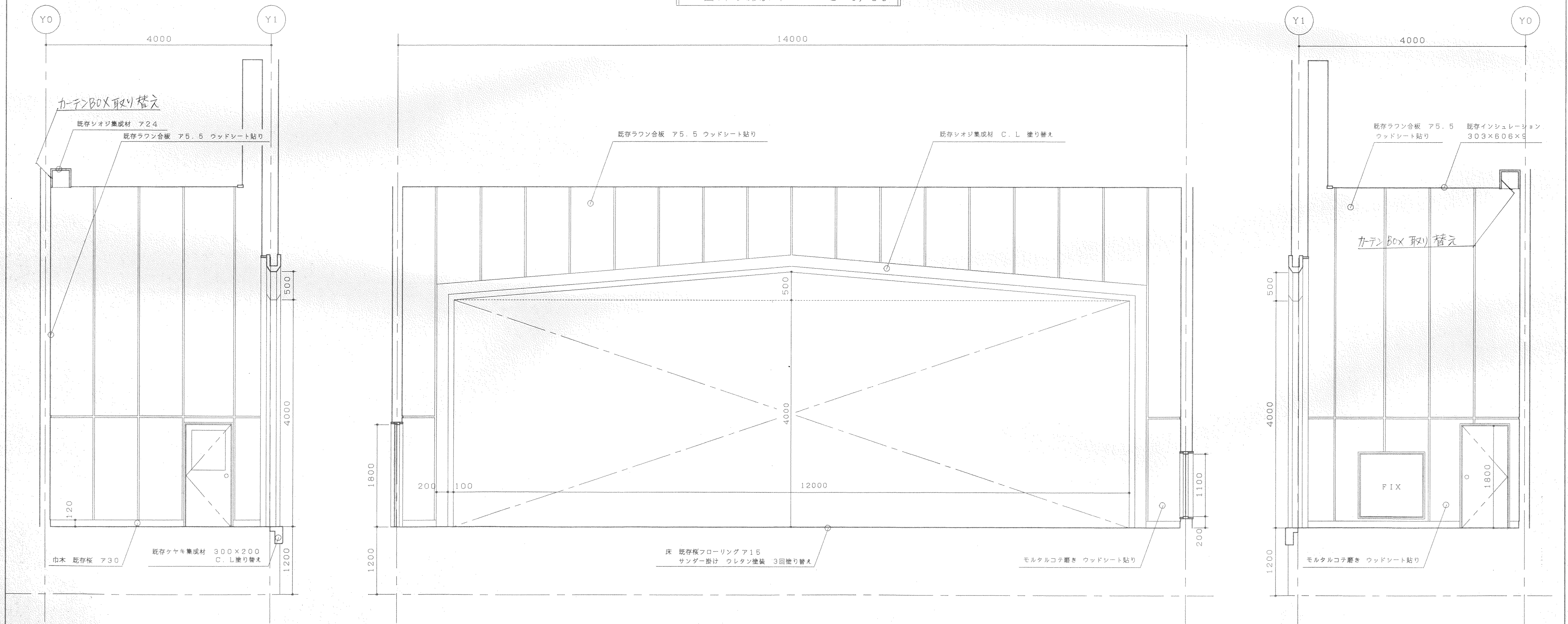
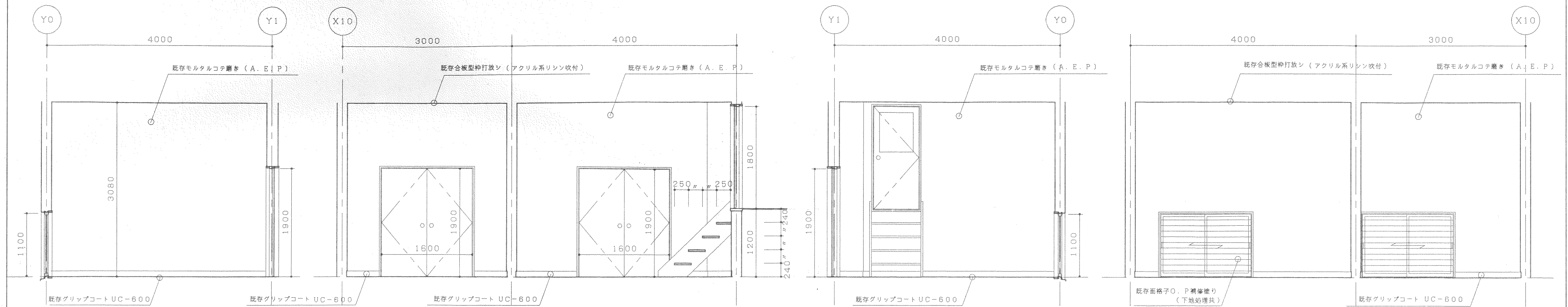




体操室展開図 S=1/100



体操室展開図 S=1/100



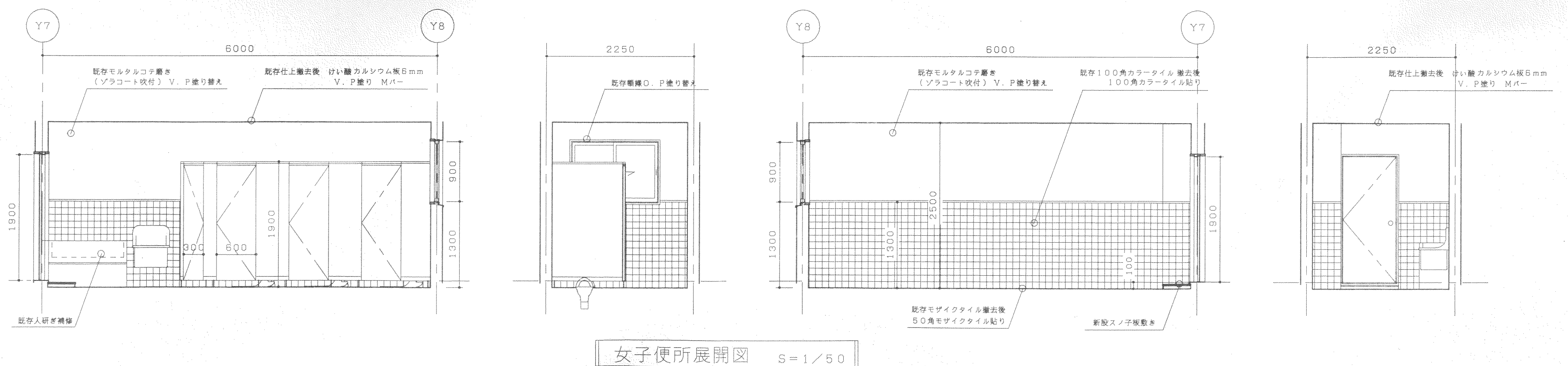
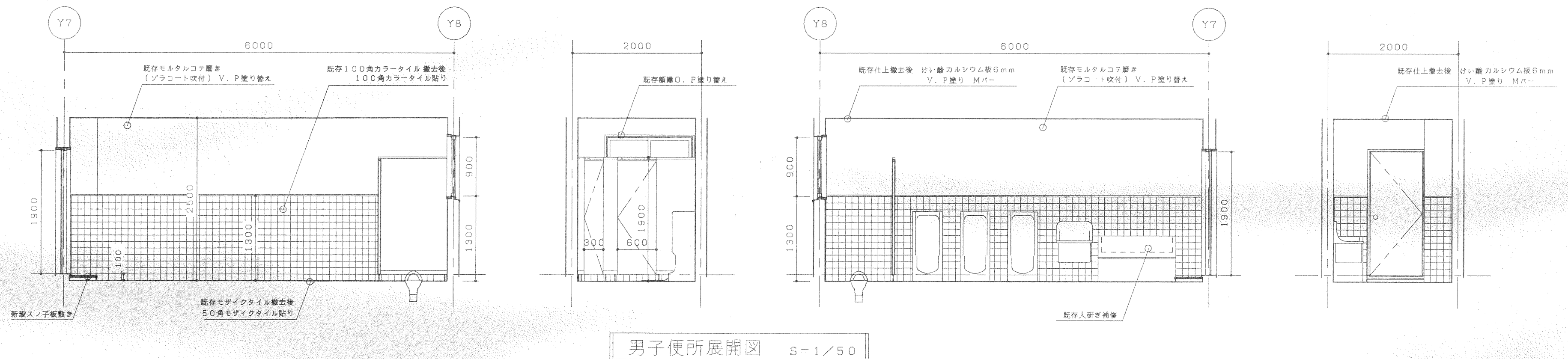
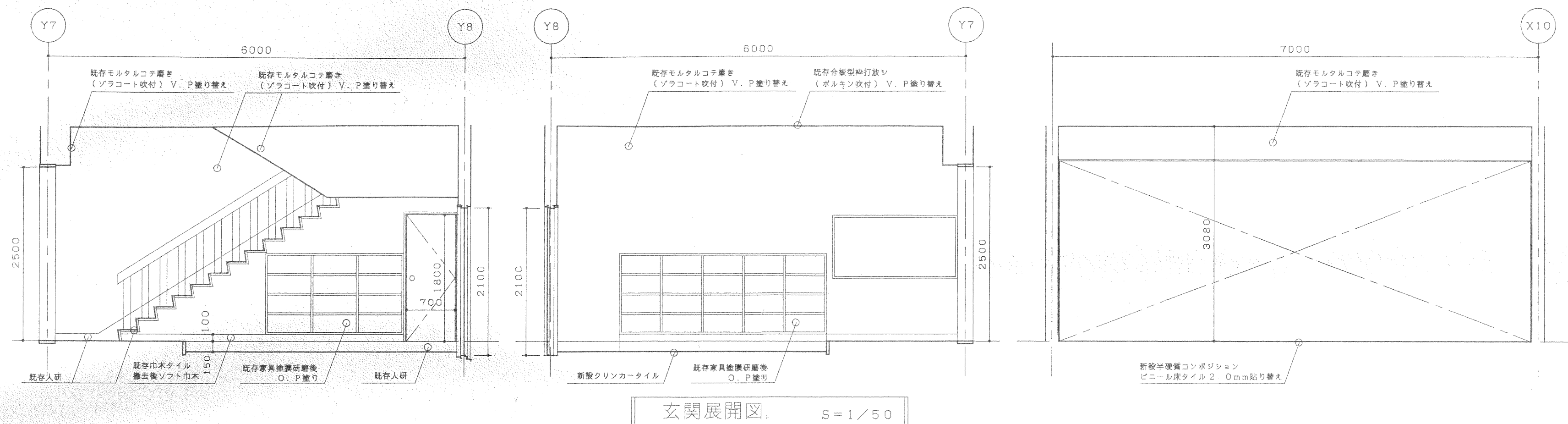
備考 建具枠全てO. P塗り替えとする。

平成11年度春野中学校大規模改造事業
及び耐震補強(屋内運動場) 工事設計図

三 建 設 計 有 限 会 社 登録高-6号
高 知 市 萬 島 2-2-2 TEL 83-1761
一 級 建 築 士 第62562 公 文 淳 視

図面名称 倉庫・ステージ展開図

尺 寸 S=1:50
年 月 日 図 面 番 号 NO. A-16



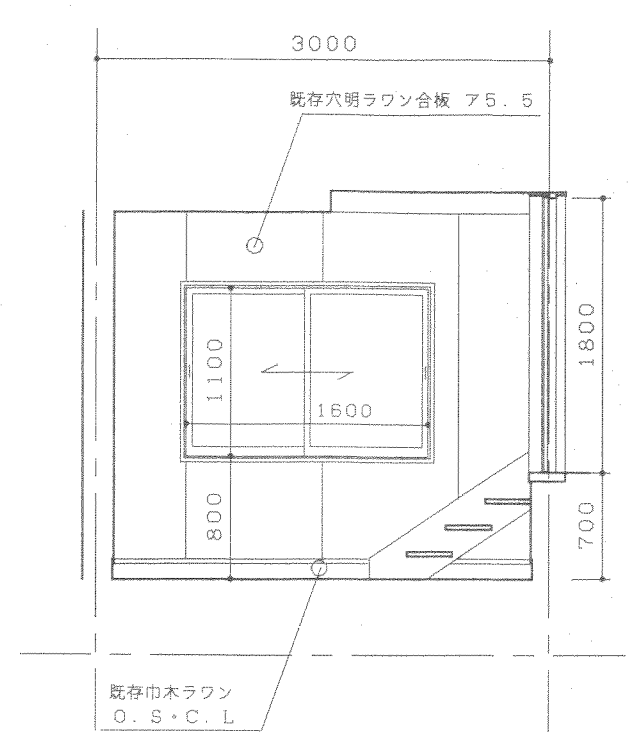
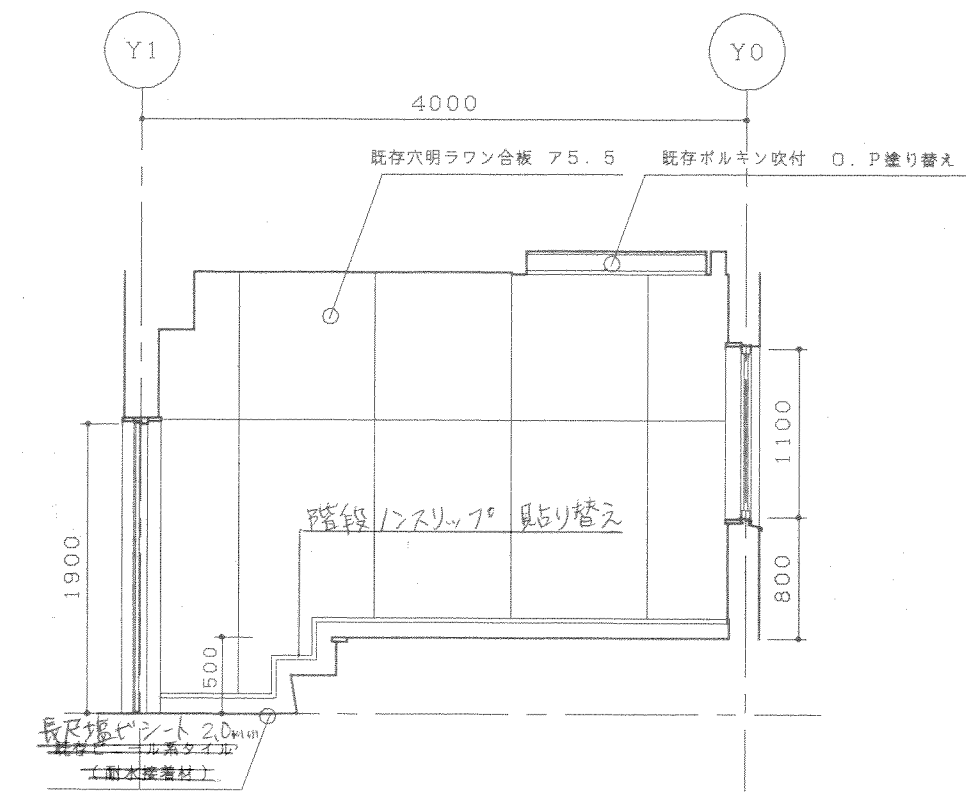
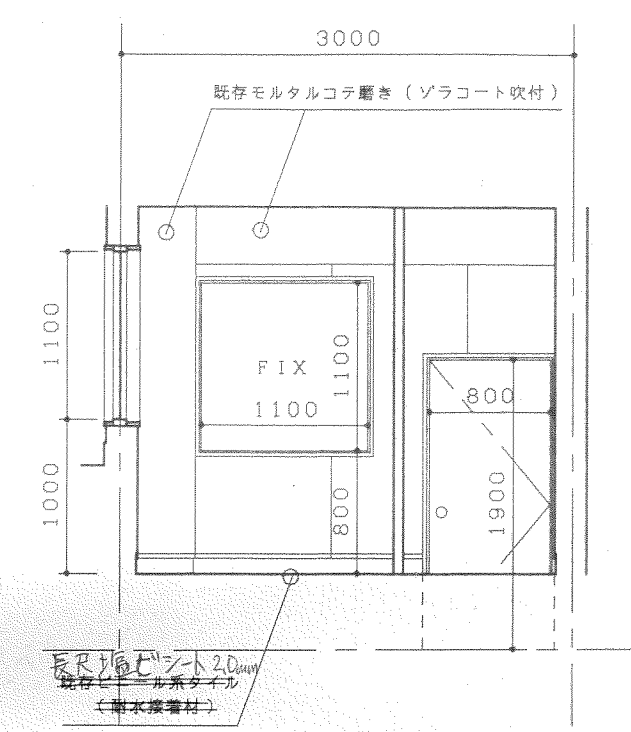
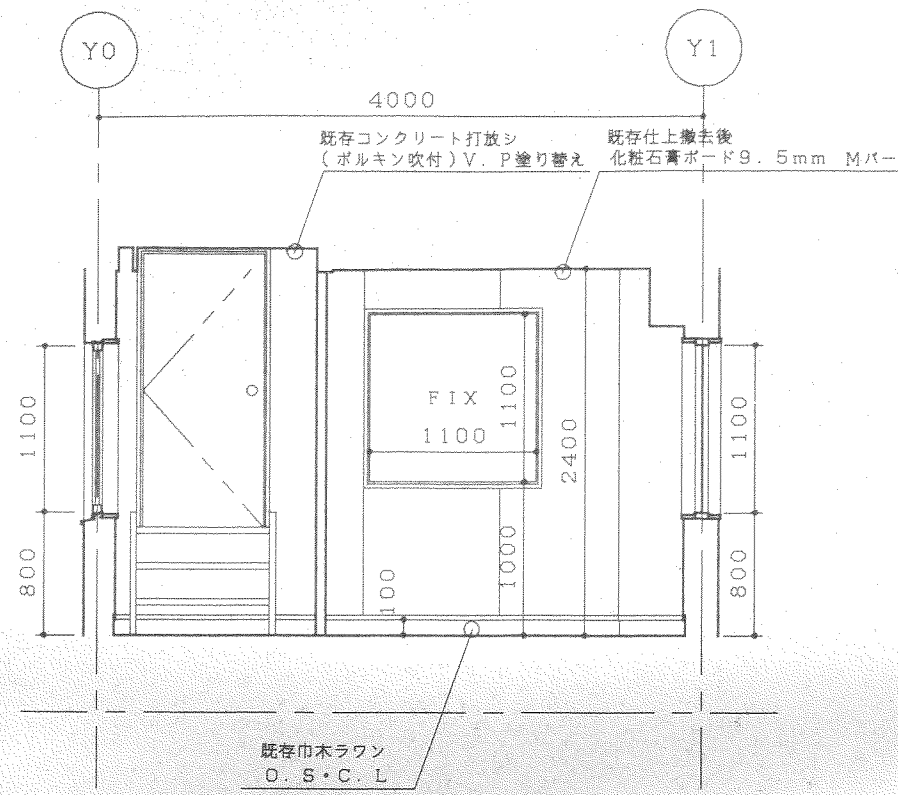
備考 建具枠全て〇. P塗り替えとする。

平成11年度春野中学校大規模改造事業
及び耐震補強（屋内運動場） 工事設計図

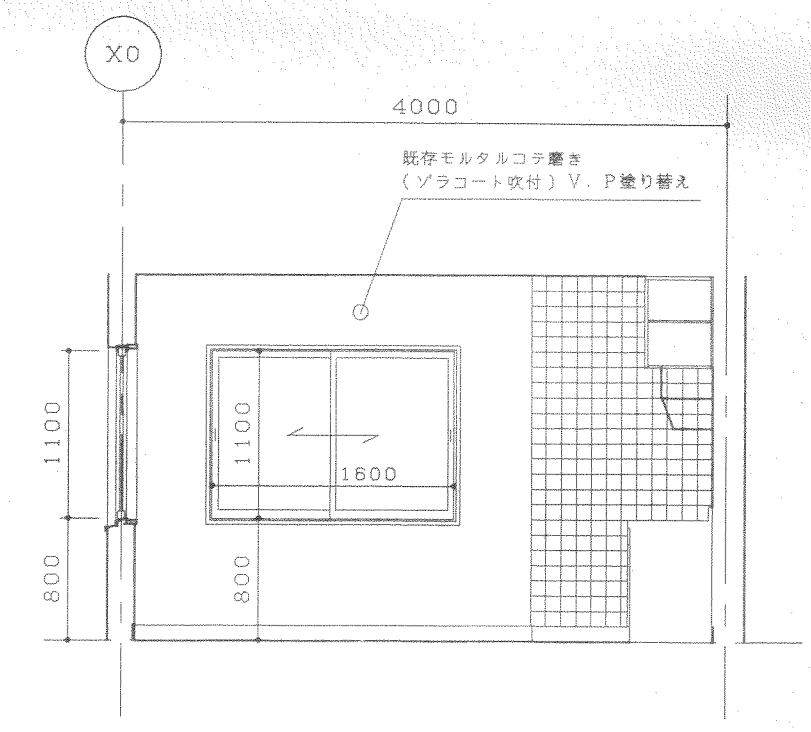
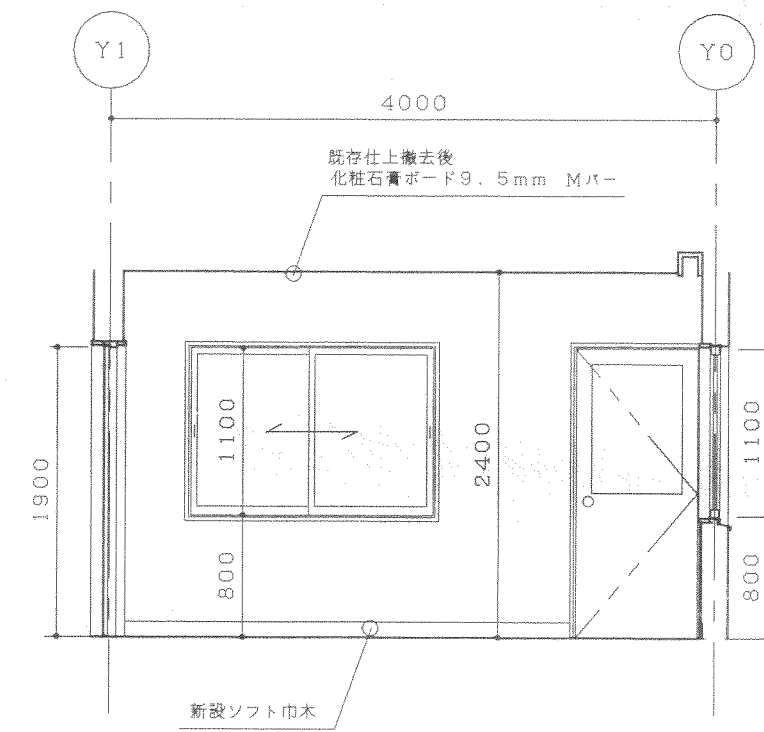
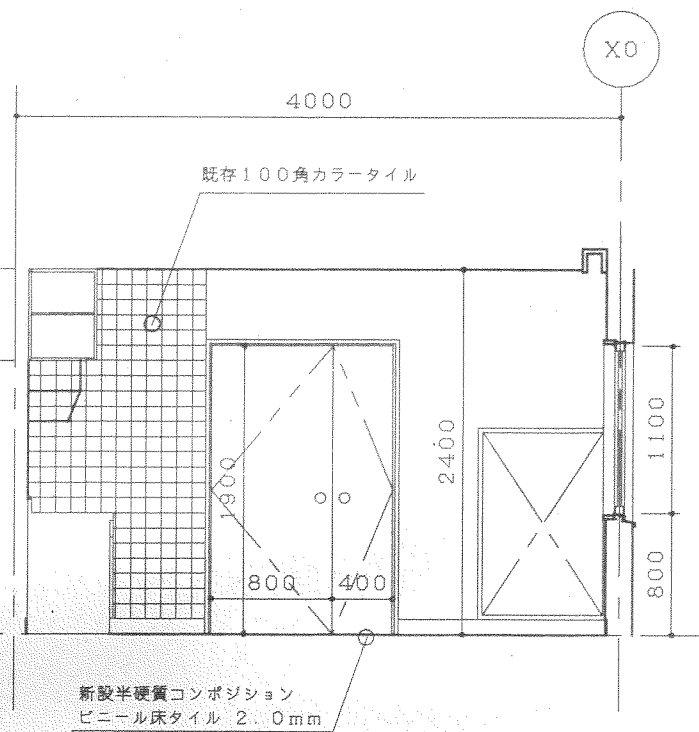
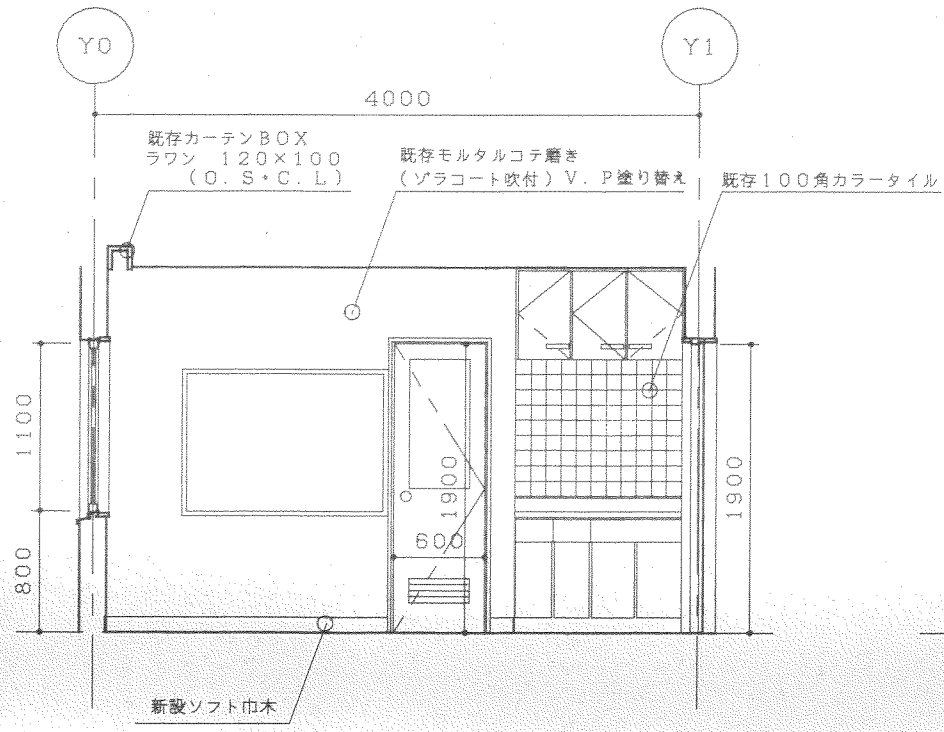
三 建 設 計 有 限 会 社		登録高-6号
高知市 萬島 2-2-2		TEL 83-1761
一級建築士 第62562		公文 津 視

図面名称	玄関・男子便所・女子便所 展開図
------	------------------

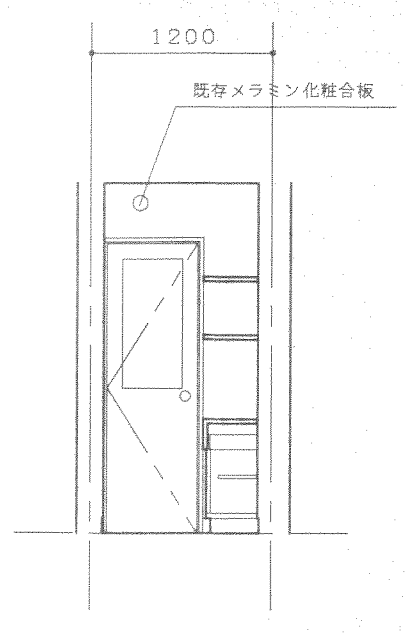
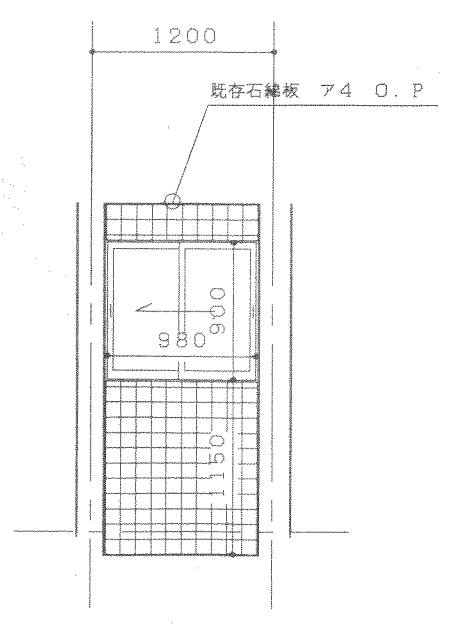
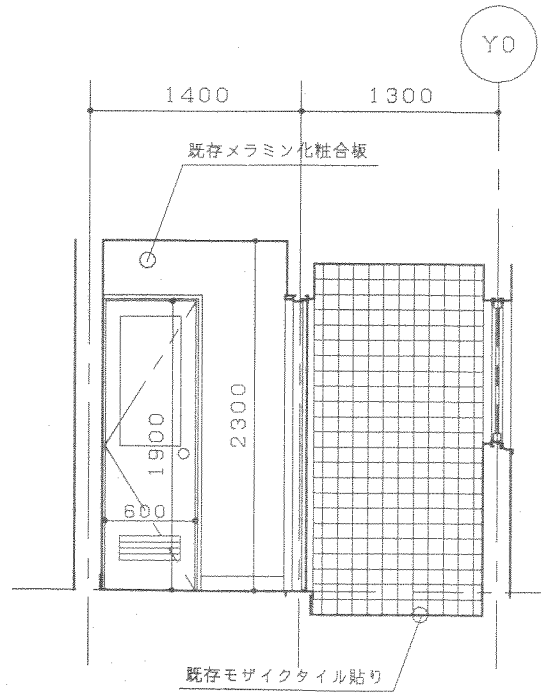
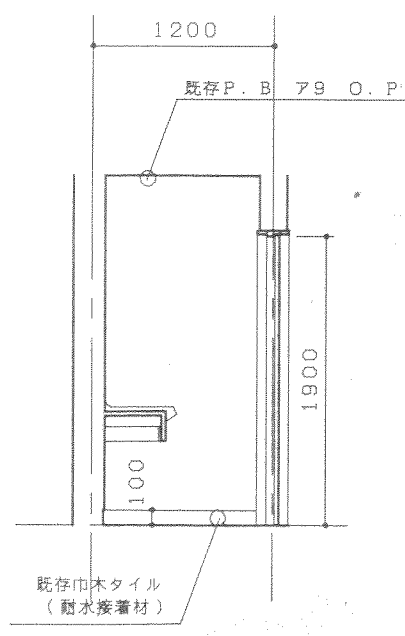
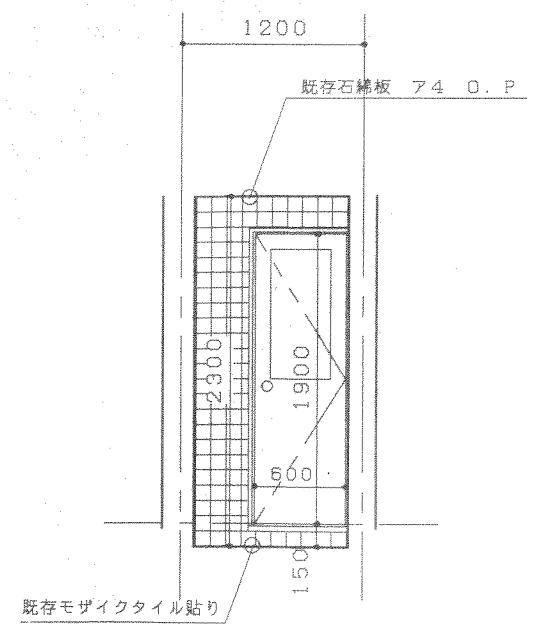
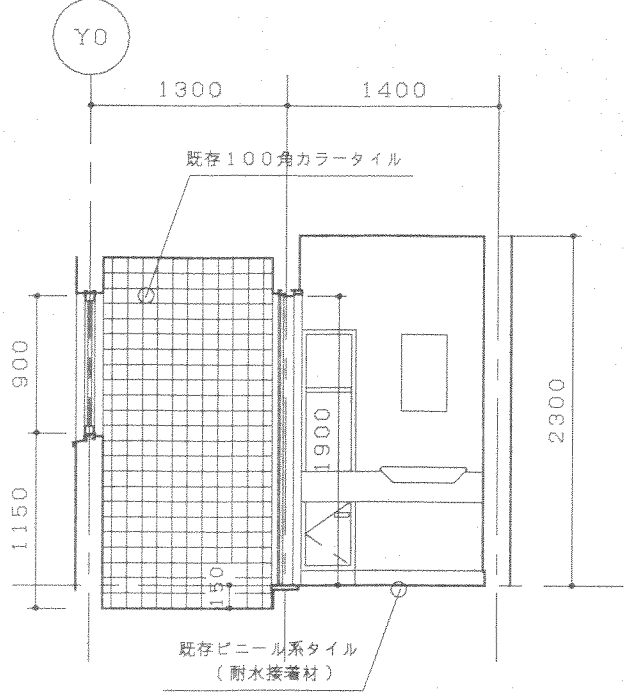
比例	S = 1 : 50	NO.	A — 17
年 月 日	制图		



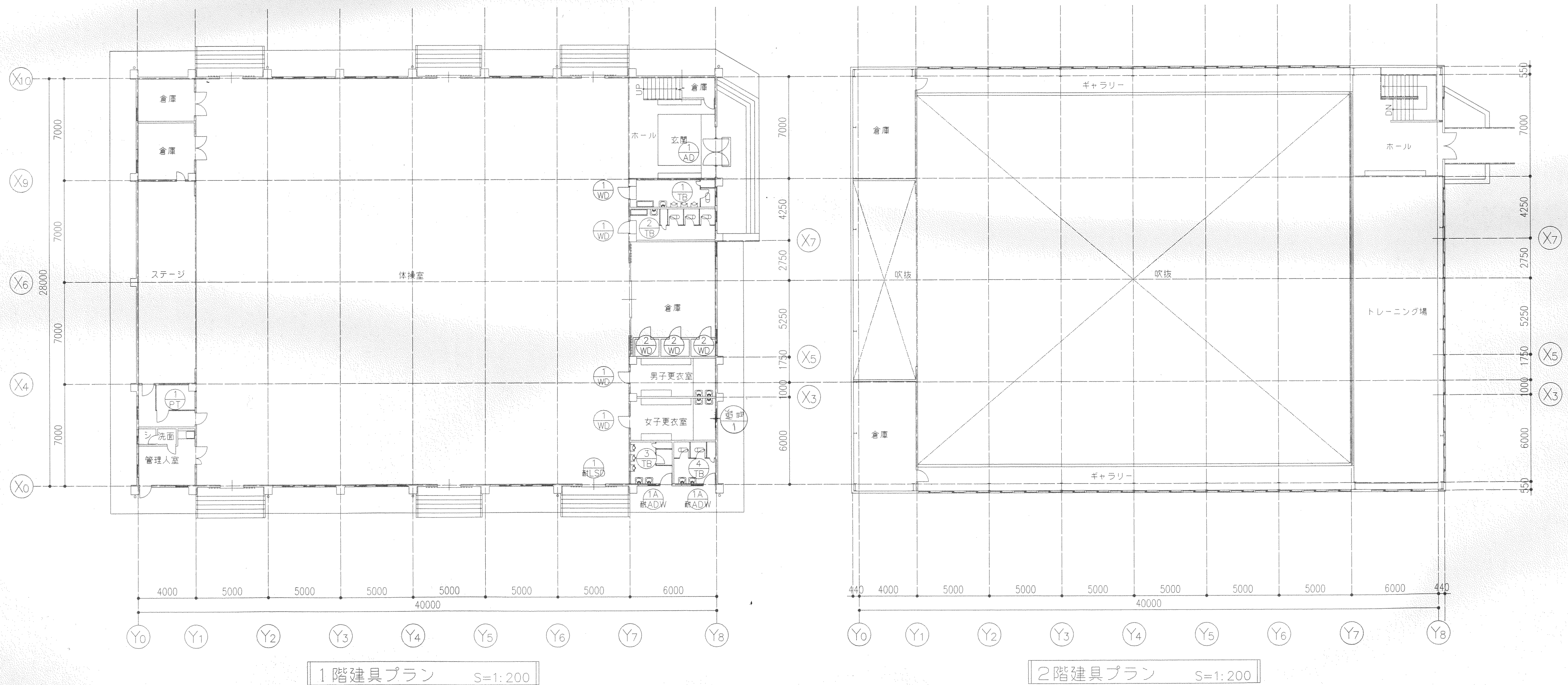
放送室展開図 S=1/50



管理室展開図 S=1/50



シャワー洗面展開図 S=1/50



備考 既存サッシ枠周りコーキング打

平成11年度春野中学校大規模改築事業
及び耐震補強(屋内運動場) 工事設計図

三建設計有限会社

登録高-6号

図面名称 各階建具プラン

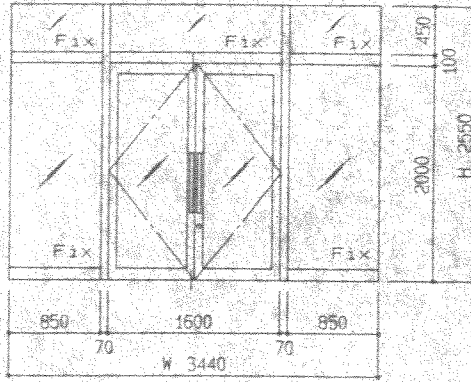
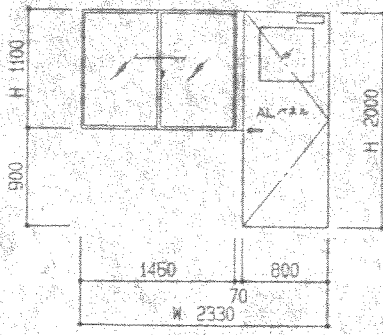
高知市葛島2-2-2
一級建築士第62562

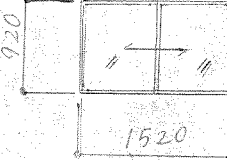
TEL 83-1761
公文淳視

規模 S=1:200
年 月 日 担当

製図

NO. A — 20

記 号	AD-1	耐ADW-1A	
形状寸法			
名 称	フロアヒンジドア ランマF1x窓 両袖F1xスクリーン窓	引違い窓 小窓付フラッシュドア 連窓	
寸 法	W 3440 x H 2550	W 2330 x H 2000 (H 1100)	
数 量	1ヶ所 体育館 1F 玄関	2ヶ所 体育館 1F×2 便所	
材 種	アルミ	アルミ	
見 込	70 TK70-RC	70 TK70-RC	
金 物	フロアヒンジ 本編組 フランス落し 押棒	戸車 クレセント 丁番 レバーハンドル ドアチェック	
硝 子	強化トーマイ 4mm ランマトーマイ 3mm	強化型 4mm	
塗 装	シルバー仕上	シルバー仕上	
記 号	追加-1		

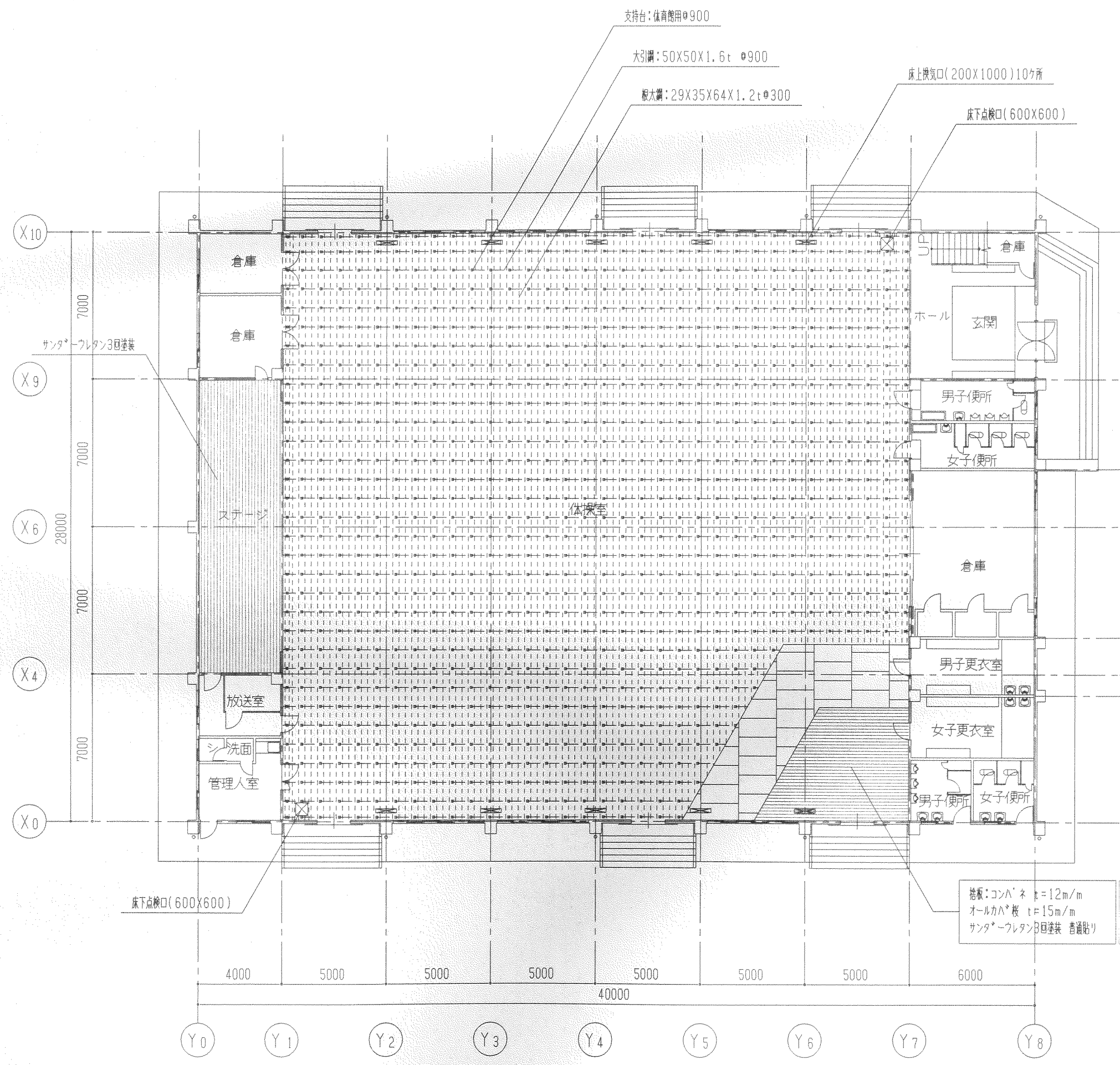
形状寸法			
------	---	--	--

名 称	引違い窓		
寸 法	W 1520 x H 920		
数 量	1ヶ所 体育館 1F 女3更衣室		
材 種	アルミ		
見 込	70 TK70-RC		
金 物	アングルピース アルミ製額縁 クレセント 米切		
硝 子	ラフワイヤー 6.8mm		
塗 装	シルバー仕上		
記 号			

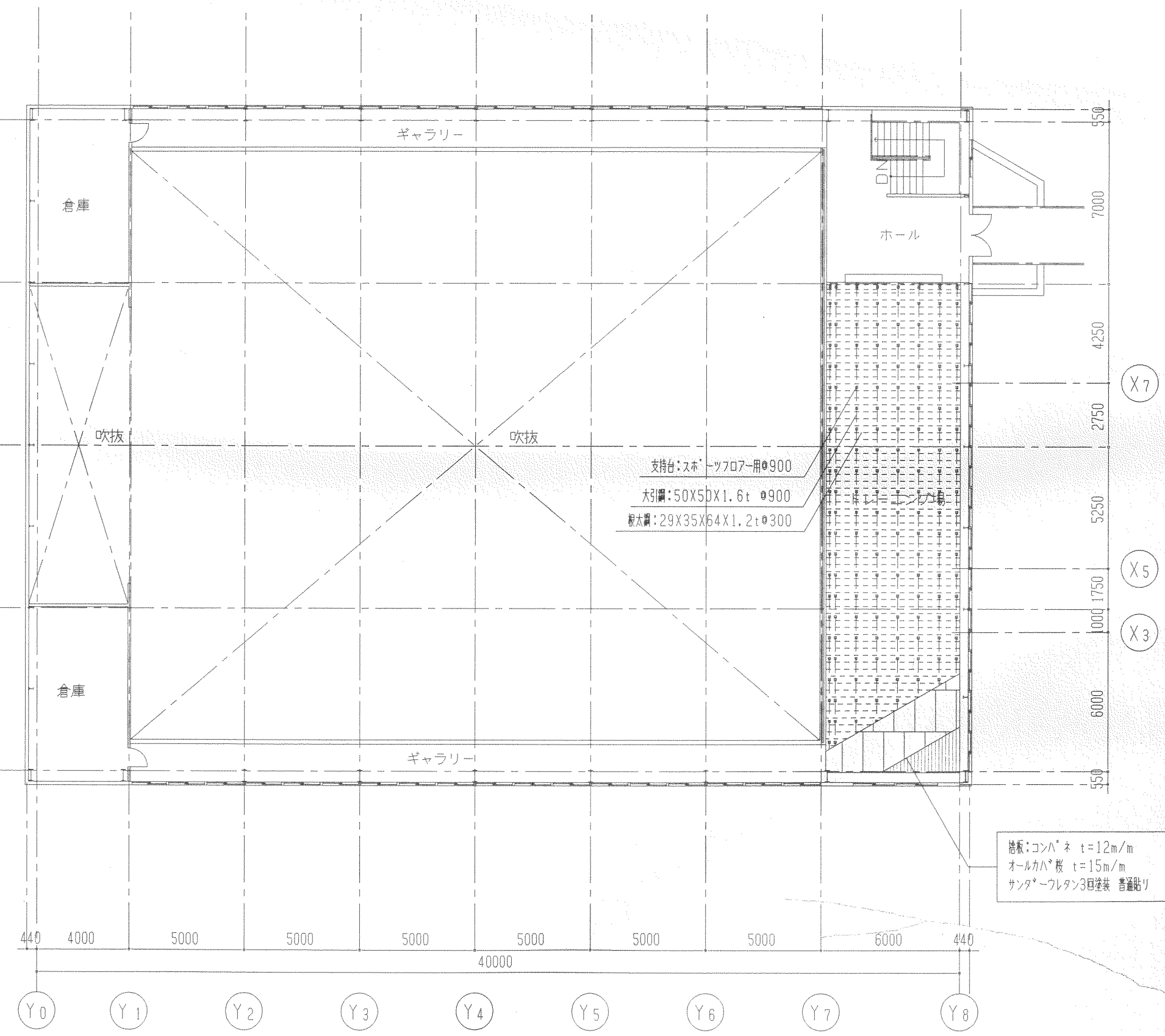
形状寸法			
------	--	--	--

名 称			
寸 法			
数 量			
材 種			
見 込			
金 物			
硝 子			
塗 装			

記 号	① WD	② WD	① LS	① PT	① TB	② TB
形状寸法						
名 称	木製片開きドア	木製片開きドア	面開き吊戸	スチールパーテーション	トイレブース（コマニーCB-1型同等品）	トイレブース（コマニーCB-1型同等品）
寸 法						
数 量	4	3	1	1	1	1
材 種	片面米松単板縁付 骨材ヒノキ 片面ラワンベニア 9mm	骨材ヒノキ 片面ラワンベニア 9mm OP塗り	スチール	スチール	メラミン（パーティクルボード）	メラミン（パーティクルボード）
見 込	40	40			40	40
金 物	SUST 替 サムターン シリンダー錠 レバーハンドル 附属金物一式	ステンレス丁番 シリンダー錠 レバーハンドル 附属金物一式	ステンレス角レール 鍵錠 埋め込み引き手	付属金物一式	付属金物一式（SUS製）	付属金物一式（SUS製）
硝 子				強化ガラス 透明4mm		
塗 装	米松面 CL塗り ラワン面 OP塗り		OP塗り			
記 号	③ TB	④ TB				
形状寸法						
名 称	トイレブース（コマニーCB-1型同等品）	トイレブース（コマニーCB-1型同等品）				
寸 法						
数 量	1	1				
材 種	メラミン（パーティクルボード）	メラミン（パーティクルボード）				
見 込	40	40				
金 物	付属金物一式（SUS製）	付属金物一式（SUS製）				
硝 子						
塗 装						
記 号						
形状寸法						
名 称						
寸 法						
数 量						
材 種						
見 込						
金 物						
硝 子						
塗 装						

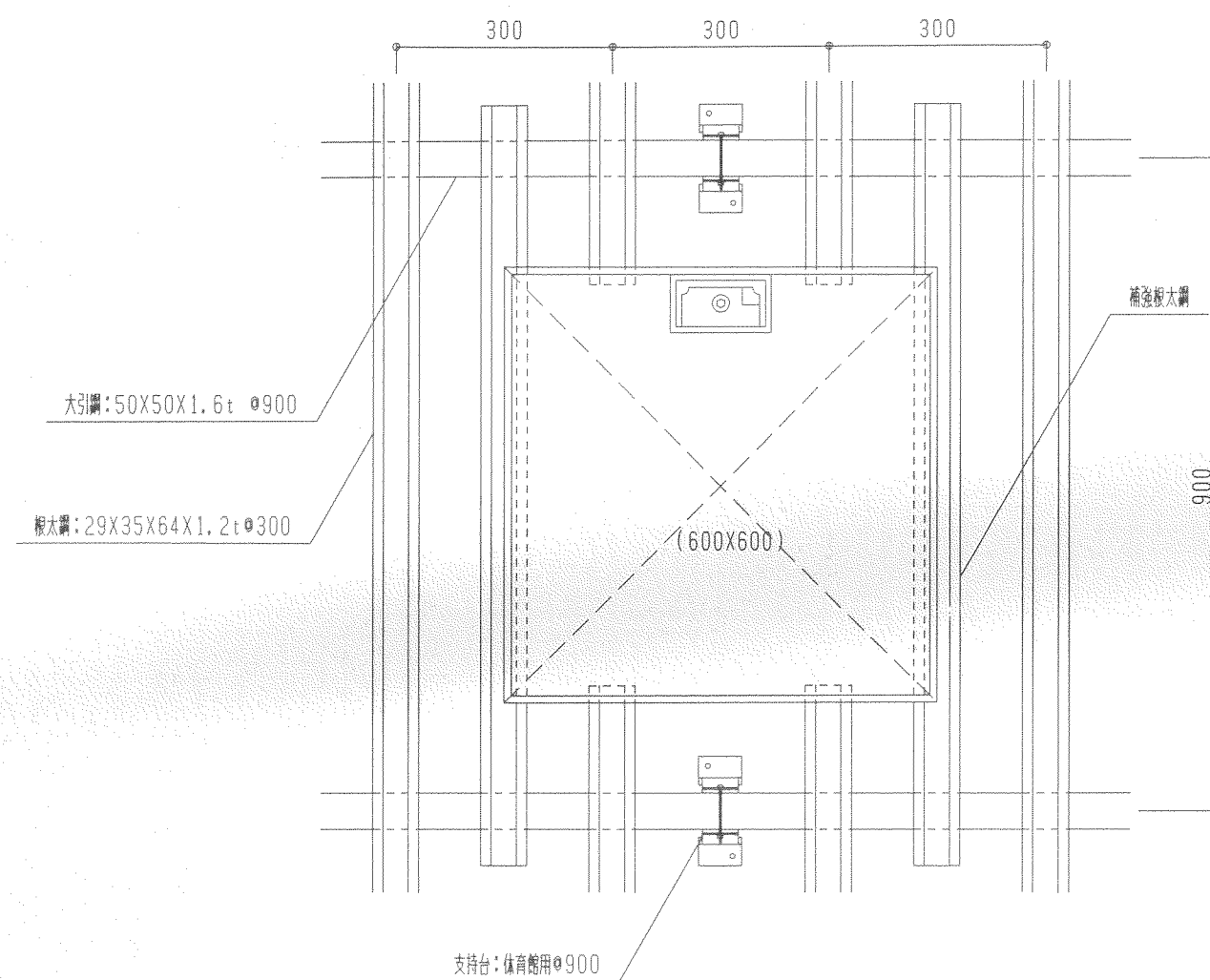


1階 鋼製床伏図 S=1:200

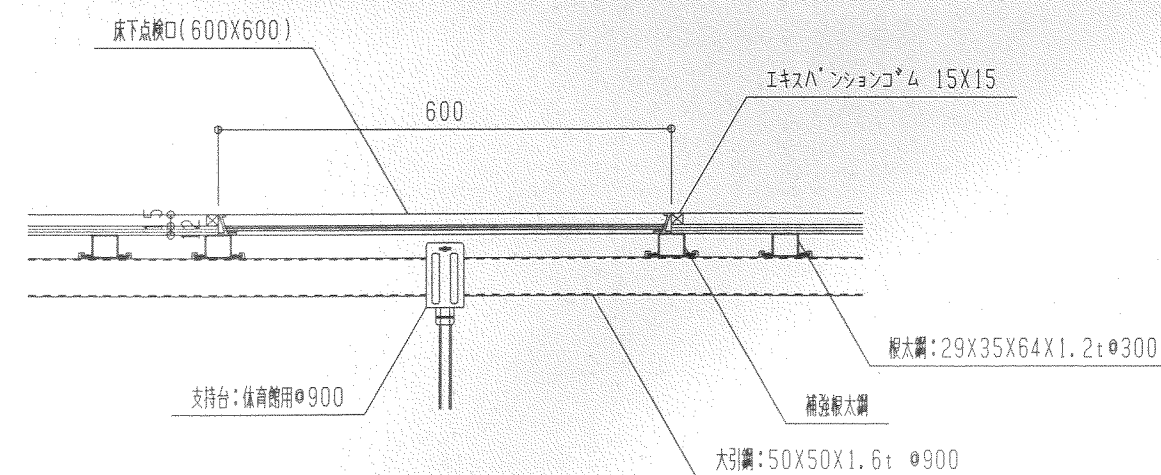


2階 鋼製床伏図 S=1:200

*三洋工業スリーハッチF600同等

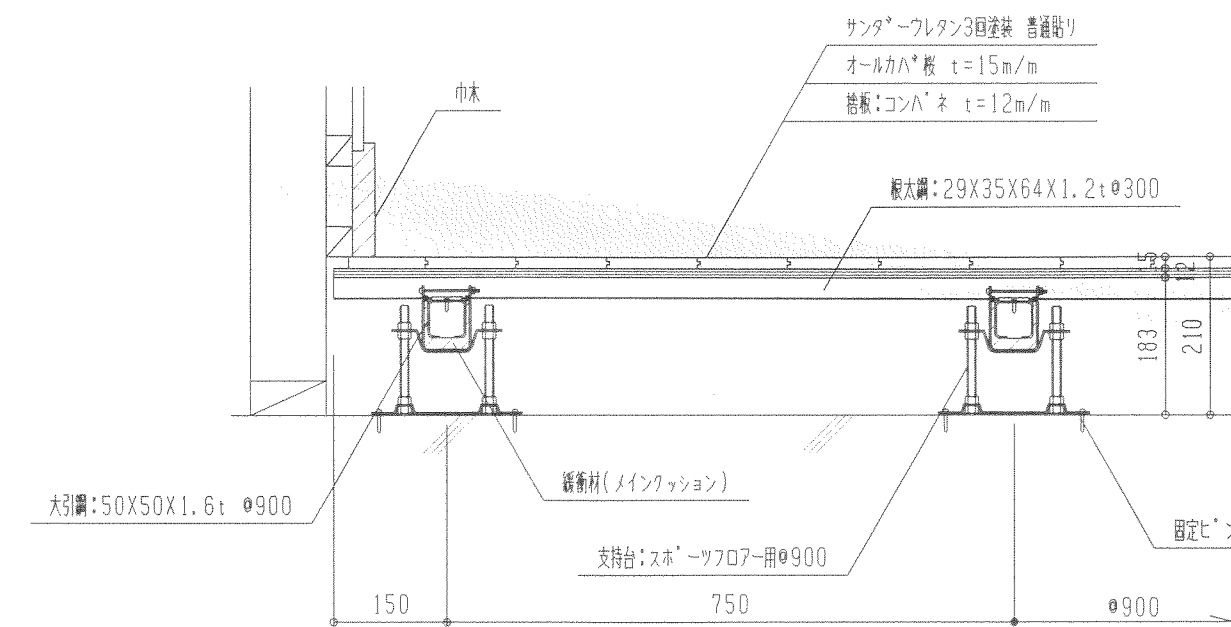


体操室鋼製床 床下点検口廻り伏図 S=1/10

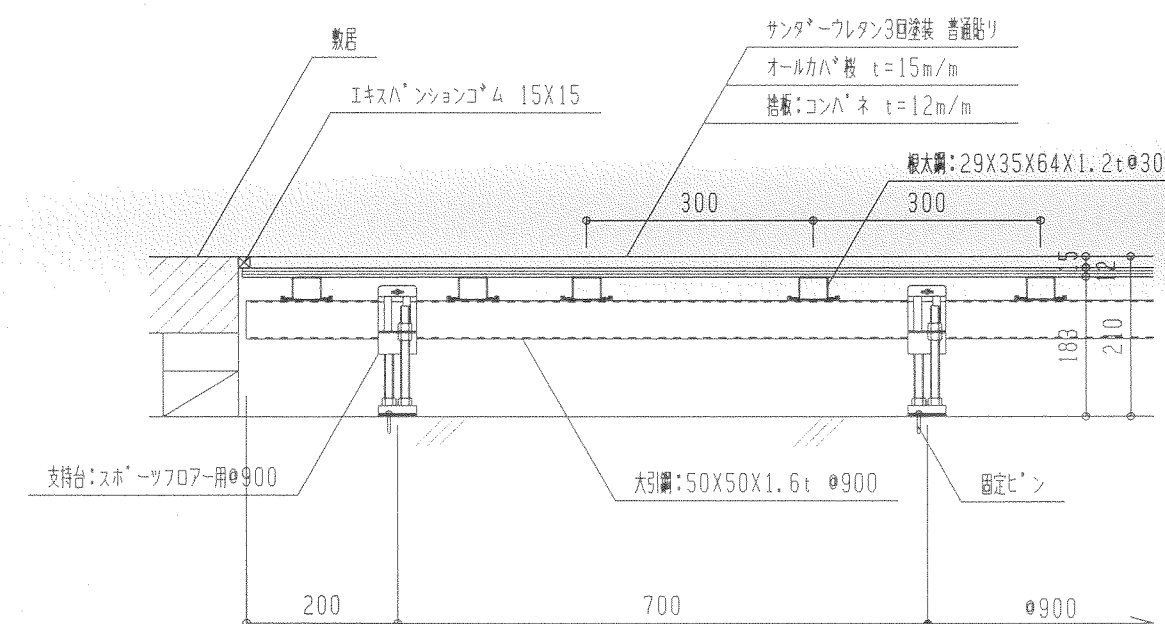


体操室鋼製床 床下点検口廻り断面図 S=1/10

*三洋工業スリーハース102同等



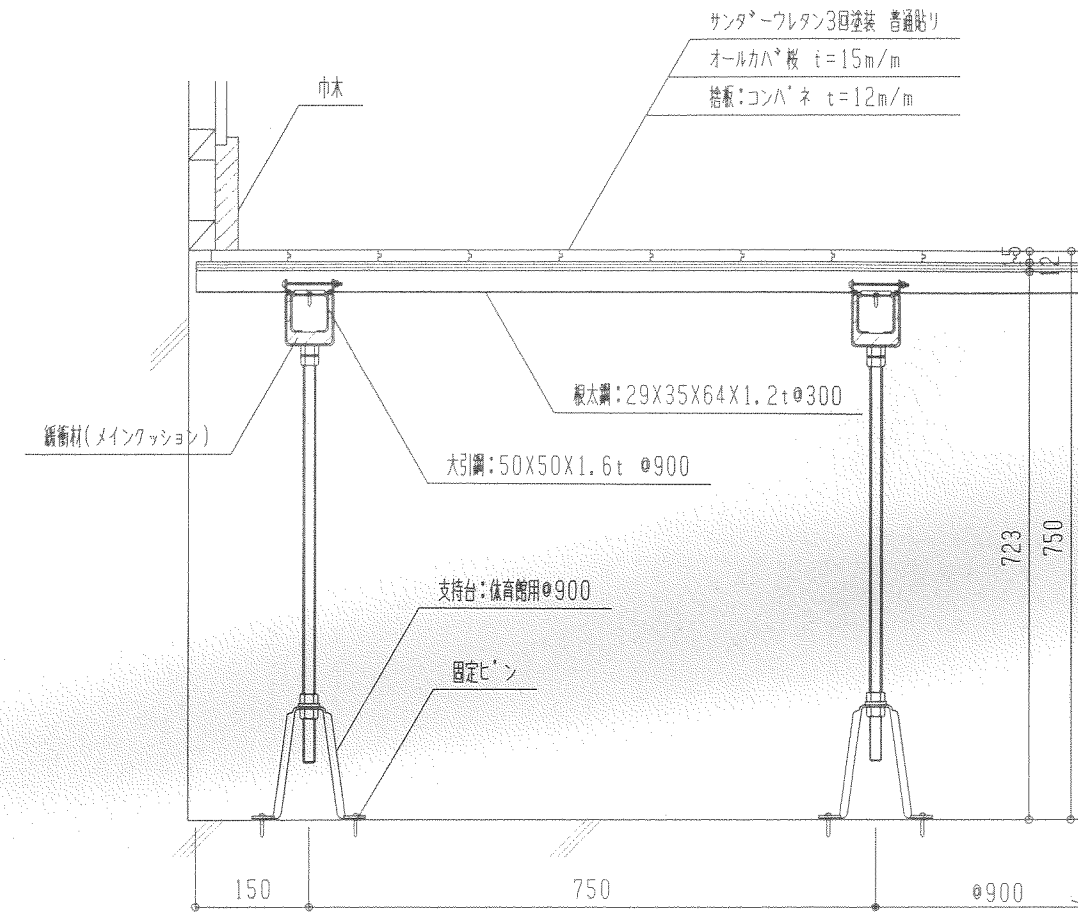
トレーニング場鋼製床 壁廻り納まり図(根太方向) S=1/10



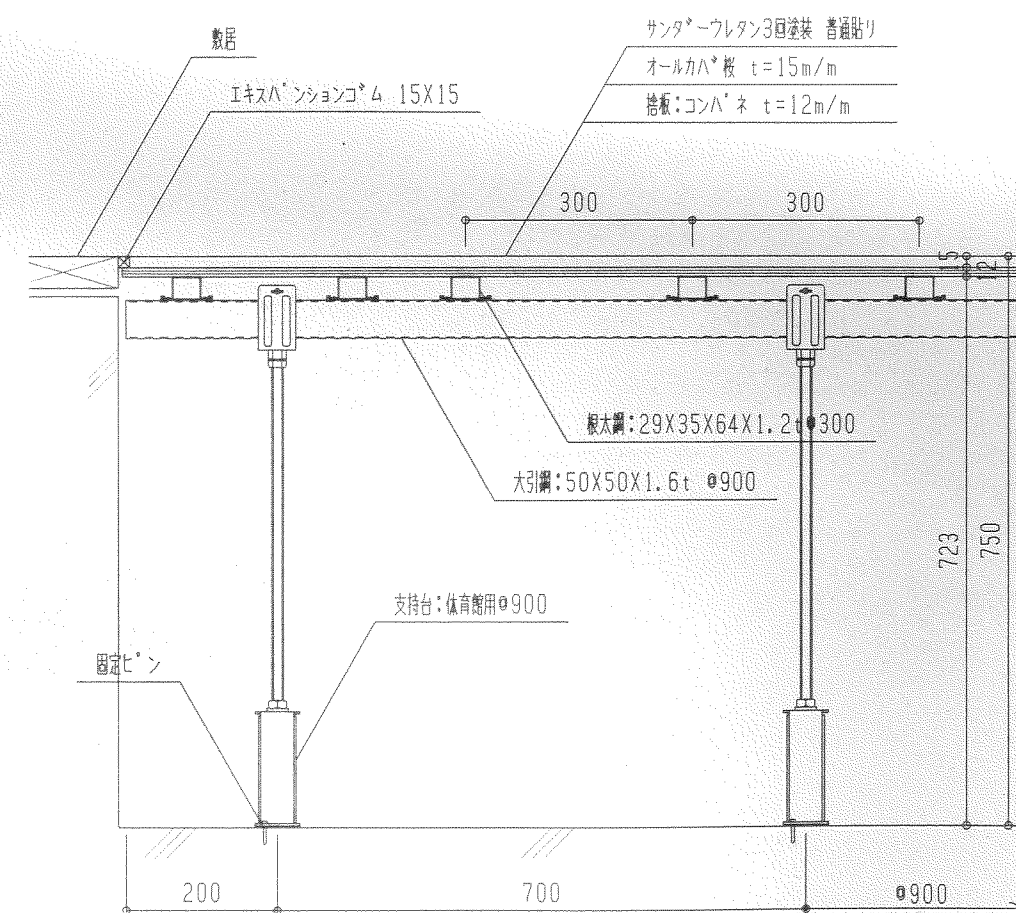
トレーニング場鋼製床 壁廻り納まり図(大引方向) S=1/10

*三洋工業スリーヘース101同等

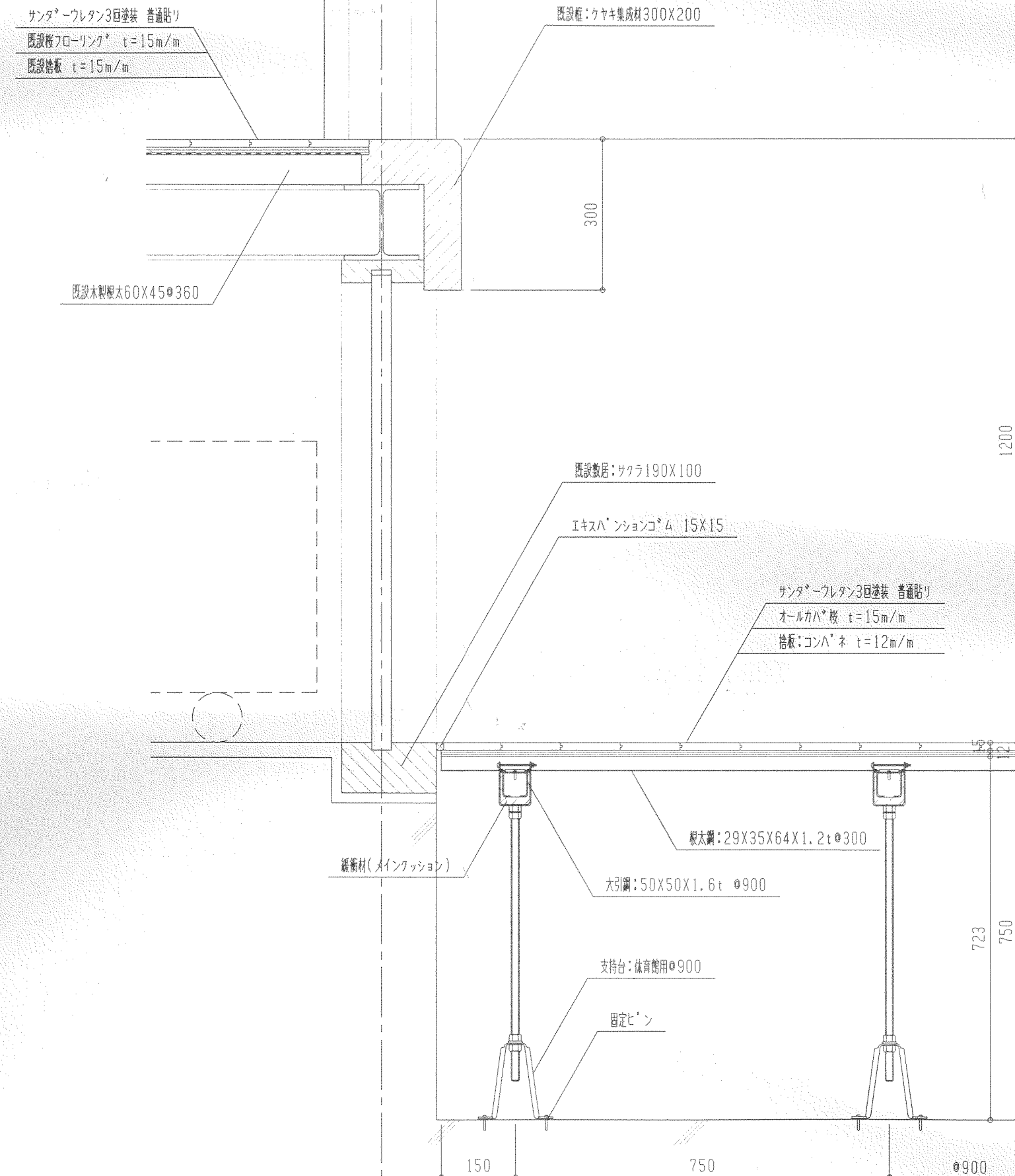
*三洋工業ヘースビットSK-100同等



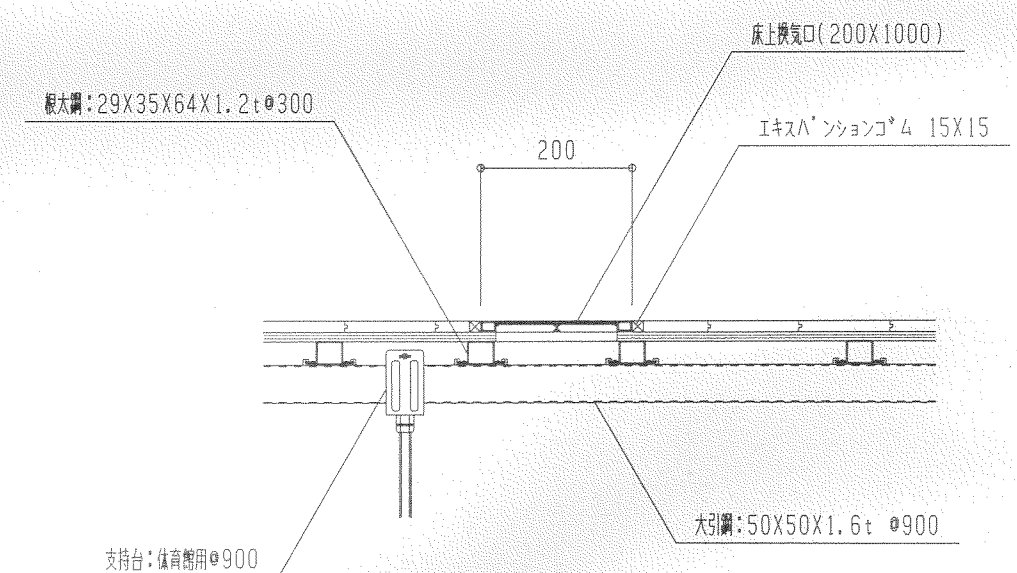
体操室鋼製床 壁廻り納まり図(根太方向) S=1/10



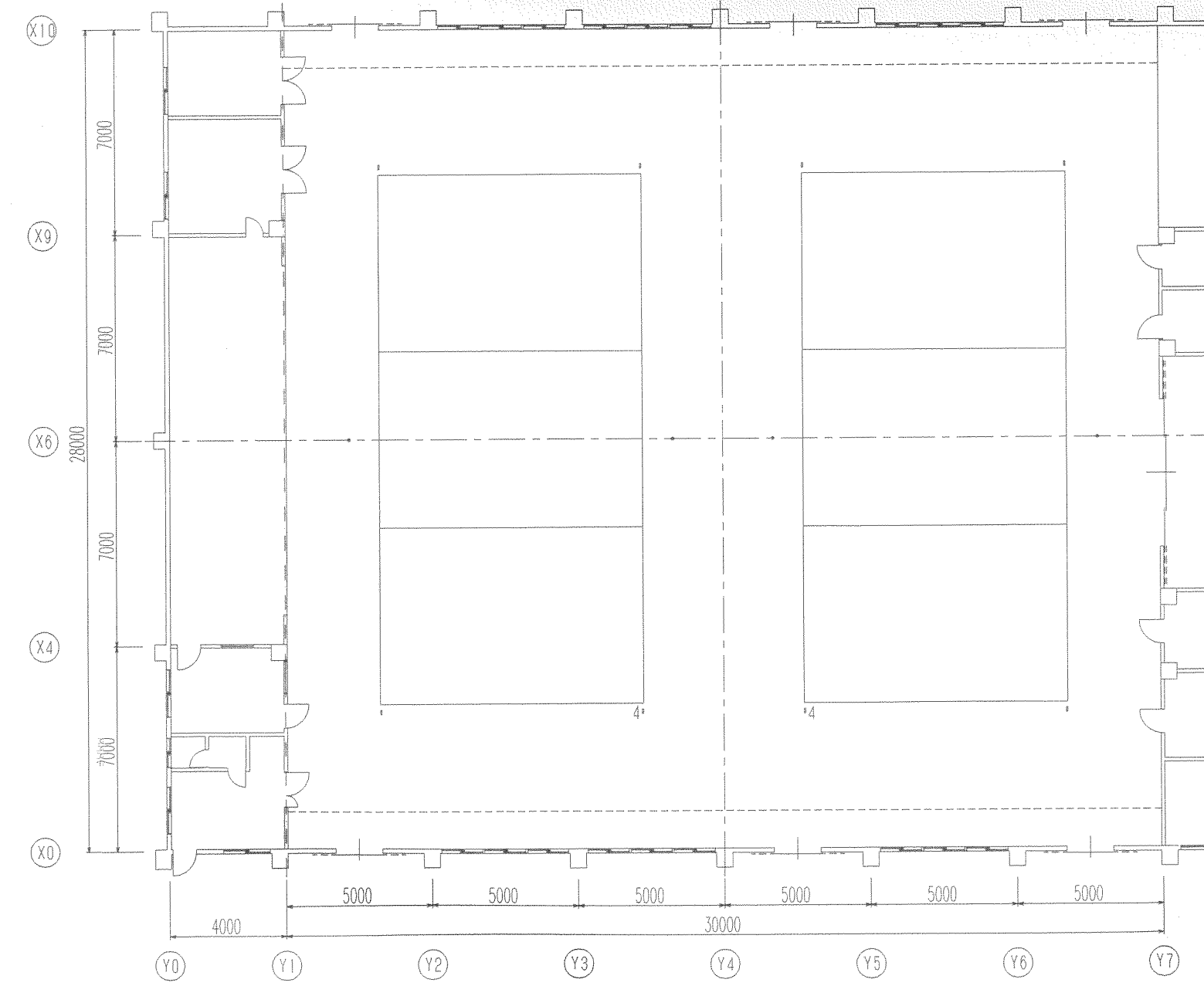
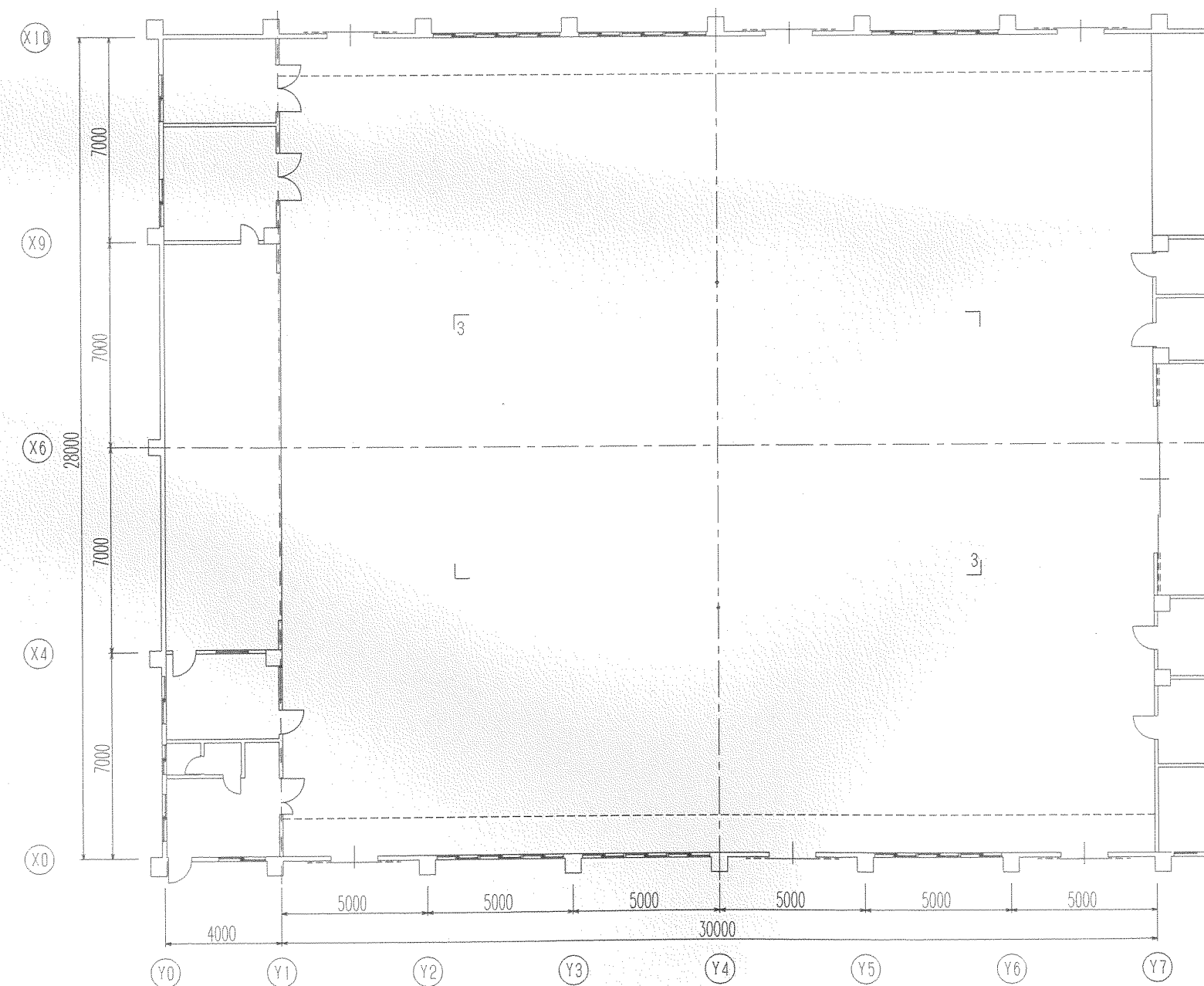
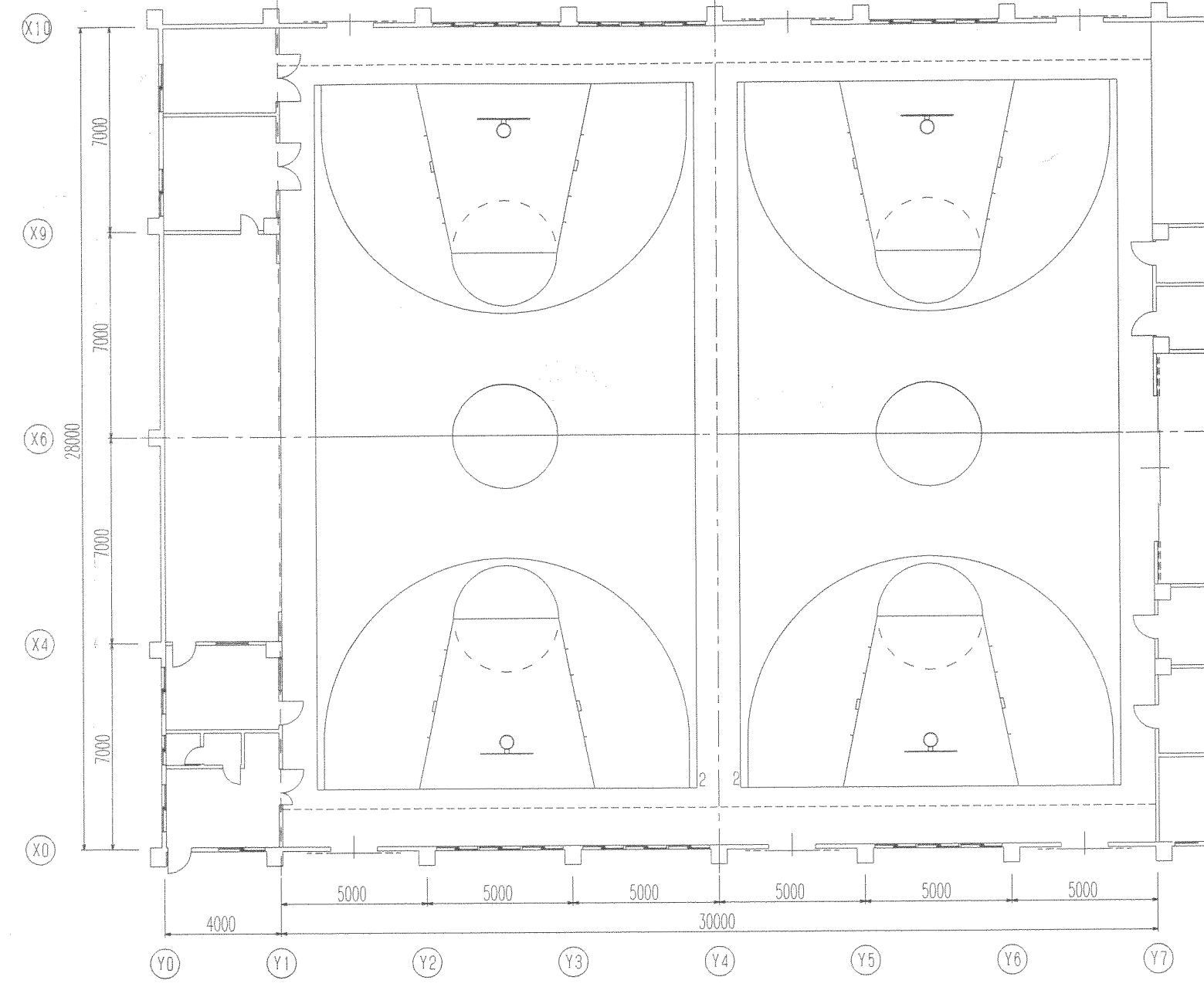
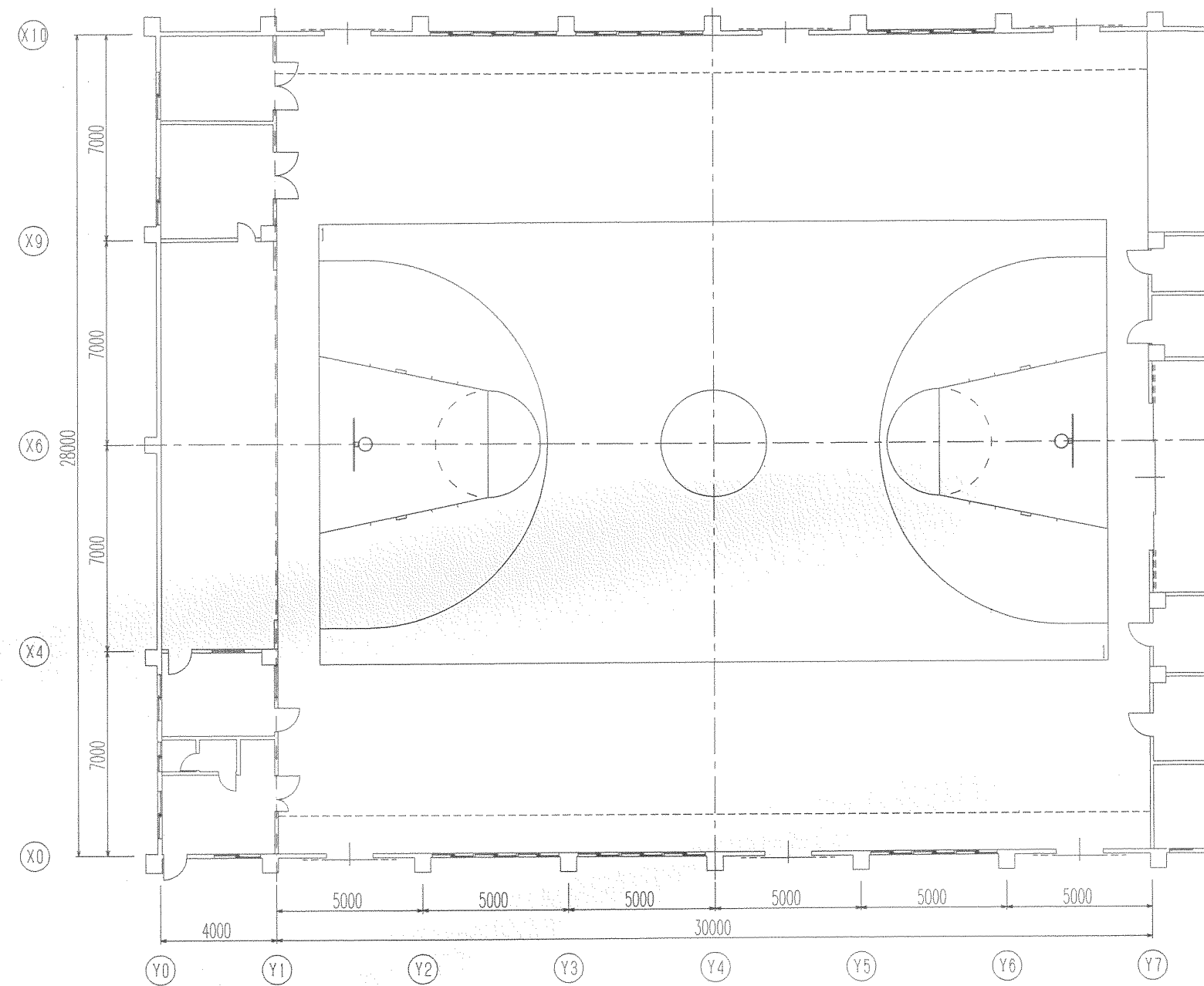
体操室鋼製床 壁廻り納まり図(大引方向) S=1/10



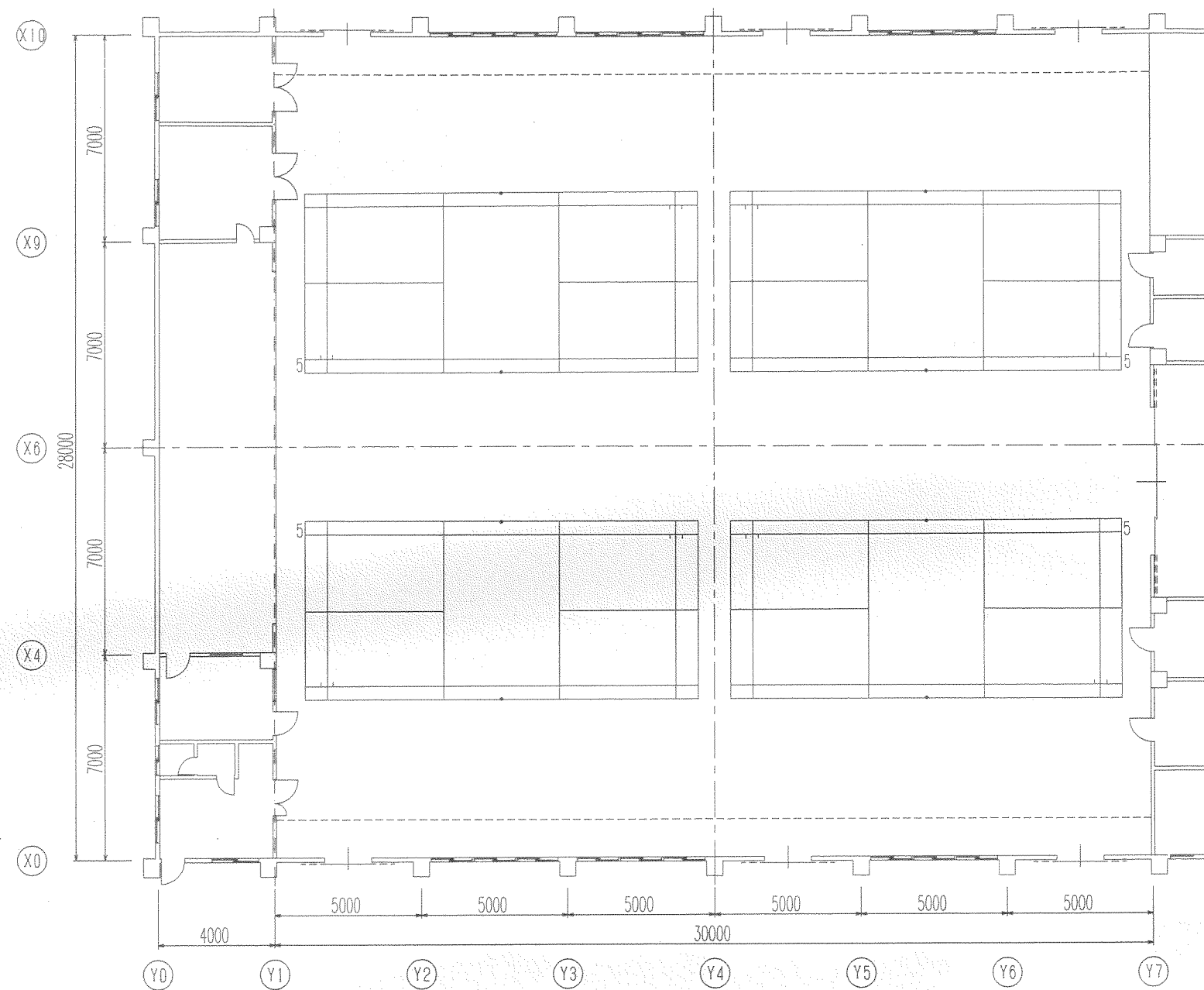
体操室鋼製床 ステージ廻り納まり図 S=1/10



床上換気口廻り断面図 S=1/10

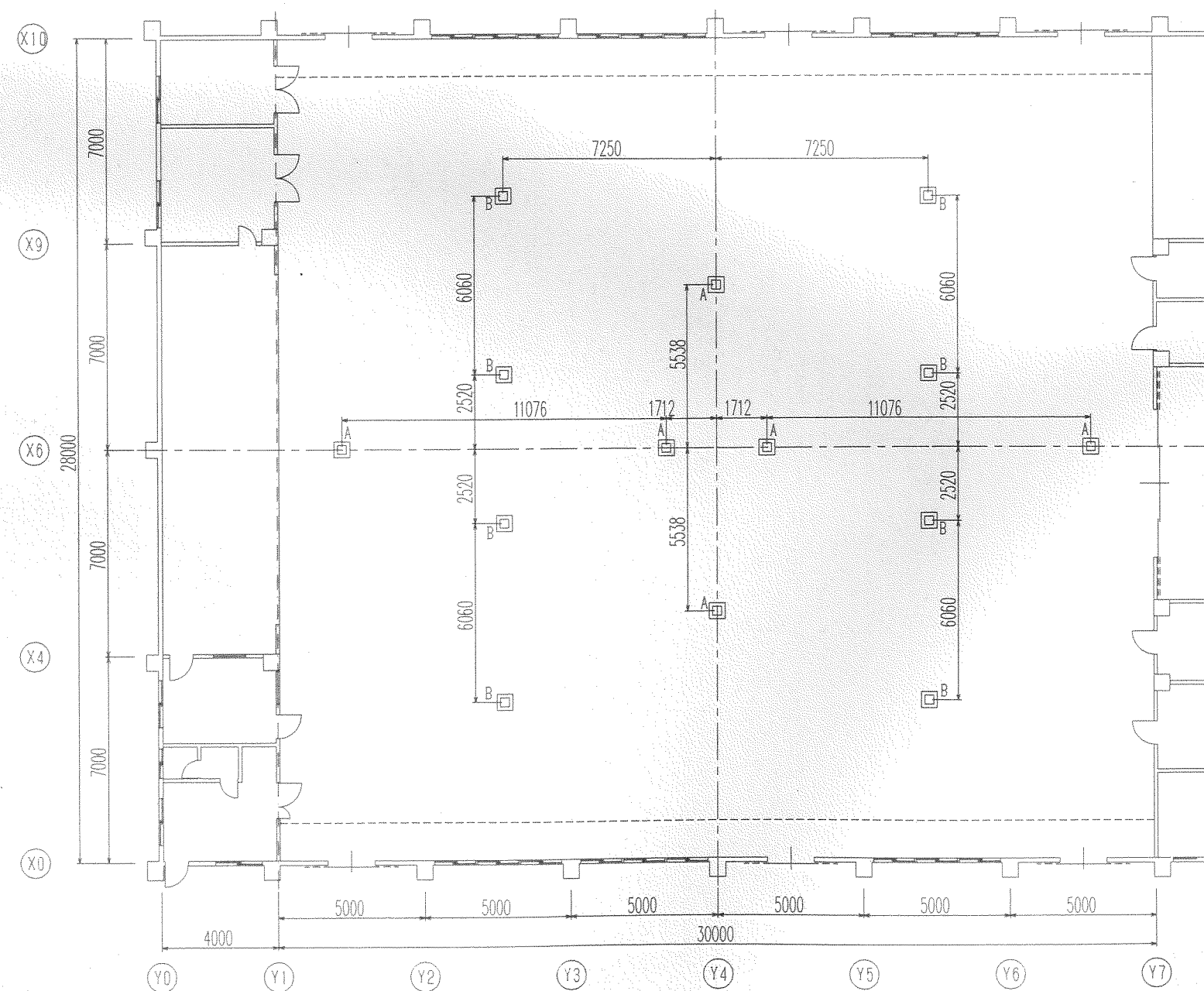


コートライン内訳表						
番号	種別	コートサイズ	面数	色	ライン幅	備考
1	メインバスケットボール	(27000x15000)	1	青	50	全線
2	サブバスケットボール	(24000x13000)	2	青	50	全線
3	メイン6人制バレーボール	18000x 9000	1	白	50	コーナー4ヶ所
4	サブ6人制バレーボール	18000x 9000	2	白	50	全線
5	サブバドミントン	13400x 6100	4	緑	40	全線
バスケットボールコートサイズは建設バスケット板に合わせる						

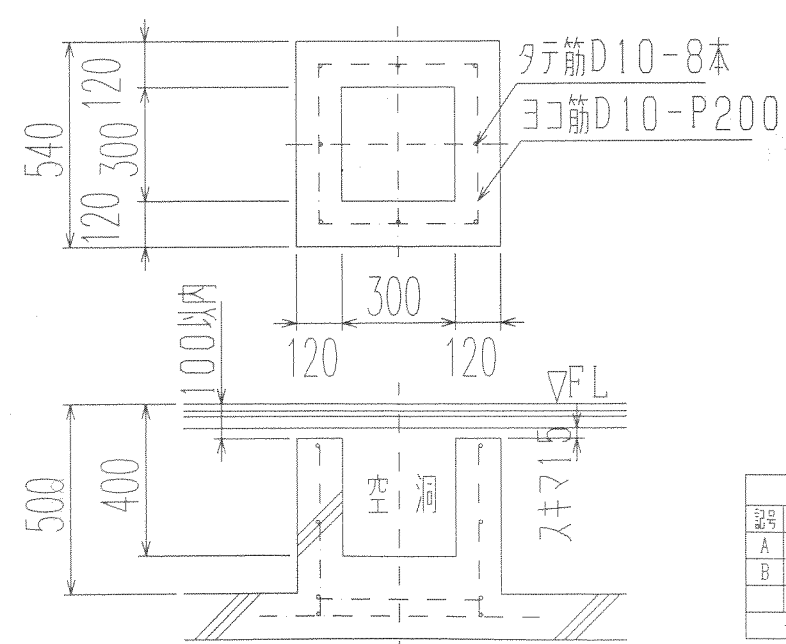


コートライン内訳表					
番号	種別	コートサイズ	面積	ライン幅	備考
1	メインバスケットボール	(27000X15000)	1	50	全線
2	サブバスケットボール	(24000X13000)	2	50	全線
3	メイン6人制バレーボール	18000X 9000	1	50	コーナーのみ
4	サブ6人制バレーボール	18000X 9000	2	50	全線
5	サブバドミントン	13400X 6100	4	40	全線

バスケットボールコートサイズは最低バスケット板に合せる



基礎詳細図
(建築本体工事) 1/20



基礎内訳表		
記号	種別	数量
A	バレーボール用基礎	14個
B	バドミントン用基礎	8個
合	計	22個

備考

平成11年度春野中学校大規模改築事業
及び耐震補強(屋内運動場)工事設計図

三建設計有限会社

登録高-6号

図面名称 体操室 球技コート 基礎配置図

高知市 葛島 2-2-2
一級建築士 第62562

TEL 883-1761
公文 淳 視

縮尺 S=1:200
年 月 日 担当

製図

NO. A-27

特記仕様書の注意事項

- 1, 本書は標準仕様書(下記a)より優先し、本書および図面に明記のない事項は標準仕様書による。
ただし、コンクリート工事は、建築工事標準仕様書・同解説JASS 5鉄筋コンクリート工事 1986(日本建築学会編)が優先する。
2, 標準仕様書に記載なき事項は下記bによる。

a) 高知市建設部建設課仕様書 最新版
b) 建築工事標準仕様書・同解説(日本建築学会編) 最新版

材 料 試 験

各試験の種類	
アンカー引張	各種強壁(ブレース)で3%につき1本(箇所)
クラクトモルタルの試験	各種強壁毎に3本
流動量	各種強壁毎に3本
鉄筋	ミルシート
鉄骨	ミルシート
D10~9φ、D13~13φ	引張試験(溶接部 各3本)
鉄骨溶接部試験	縦方向波試験100%

アンカー耐力

カプセル品番		R-19
使用ボルト径	☐ メートルネジ	M20
	☐ ワイトネジ	3/4"
	☐ 異形棒鋼	D19
穿孔径	☐ メートルネジ	24
	☐ ワイトネジ	22(23)
	☐ 異形棒鋼	25
孔 深 さ mm		200

使用材料

ケミカルンカーR-19(日本デコラックス)
アンカー筋M20

設計基準強度

長期許容引張強度kN(kg) ..38.4
長期許容せん断強度kN(kg) ..26.9

鉄 筋 工 事

施工計画書
鉄筋の種類

提出する。
JIS G 3112 SD295A(D16以下)
SD345 (D19以上)

鉄筋

鉄筋の加工寸法、形状、かぶり厚さ、鉄筋の継手位置、継手の重ね長さ、定着長さは「鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)(2)」又は「壁式鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)(2)」による。
D19未満は、すべて重ね継手とする。継手(D19以上)をガス圧接とする場合は、日本圧接協会「鉄筋のガス圧接工事標準仕様書」による。
ガス圧接部の抜き取り調査は、同一作業班が同一日に施工した圧接箇所ごと(200箇所を超えときは、200箇所ごと)に1回行い、1回の試験は5本以上とする。
外観調査 ☐有 ☐無、引張試験 ☐有 ☐無、超音波深備試験 ☐有 ☐無、帯筋(HOPP)の加工方法は、☐H型(タガ型) ☐W型(溶接型) ☐S型(スパイラル型)とする。
コンクリート及び鉄筋の試験は「建築物の工事における試験及び検査に関する東京都取扱要綱」第4条の試験機関で行うこと。
代行業者名とは、試験、調査に伴う業務を代行する者をいう。

壁筋
スパイラル筋

☐壁とする。
スパイラル鉄筋 6φ SR295

コンクリート工事

施工計画書

コンクリートの製造

レデーミクストコン
クリート工場の選定

セメントの種類

骨材

塩化物含有量

練り混ぜ水

混和材料

コンクリートの調査

提出する。(コンクリートおよび型枠施工計画書)
流動化剤は現場添加とする。
レデーミクストコンクリート工場とし、原則的にはJIS A 5308の規定に適合した製品とする。JIS規格外品として製造する場合は、監督員の承諾を受ける。
請負者は、工事開始前にレデーミクストコンクリート工場を選定し、監督員の承諾を受ける。同一打込み区画に2つ以上の工場のコンクリートの打込みは認めない。
工場は、購入しようとするコンクリートについてレデーミクストコンクリートのJIS表示許可を受け、かつコンクリート主任技士常駐の工場とする。
a) JIS R 5210(普通ボルトランドセメント)
b) JIS R 5211(高炉セメント B種)
粗骨材の最大寸法
a) 砂利 10mm
b) 砂利 25mm 砕石(JIS A5005)20mm
c) 人工軽量骨材(JIS A 5002)15mm
骨材は、[骨材のアルカリシリカ反応性試験(化学法)建設省暫定案]または、[セメント骨材のアルカリシリカ反応性試験(モルタルバー法)建設省暫定案]による試験により安全と認められた骨材を使用する。ただし、安全と認められないものを使用する場合はコンクリート中のアルカリ量がNaO換算で3.0Kgf/m³以下のコンクリートを使用する。
レデーミクストコンクリート工場は、公的試験機関の成績表を提出する。
コンクリートに含まれる塩化含有量は、塩素イオン量として0.30Kgf/m³以下とする。請負者は、塩化物量測定器でコンクリートの強度試験の試料採取時に測定し、記録表を監督員に提出する。
試験値は同一試料における3回の測定の平均値とする。なお最初の試験は打込み当初行うものとする。
塩化物量測定器は、(財)国土開発技術研究センターの技術評価を受けたものとする。
不合格の場合の処置
上記の結果不合格となった場合は、次の運搬車から各運搬車ごとに試験を行い、指定値以下であることを確認した後使用するものとする。ただし、この場合連続して10台の運搬車の試験が指定値以下であることが確認できれば、その後はコンクリートの強度試験の試料採取時に測定することとする
塩化物は塩素イオンとして、200ppm以下とする。
また、回収水を用いる場合は、監督員の承諾を受ける。
混和材料は塩化物を含むものは除く。
a) AE減水剤標準形 (JIS A 6204)
b) AE減水剤遅延形 (JIS A 6204)
c) 流動化剤標準形 (JISS 5-T-402)
d) 膨張剤 (JIS A 6202)
調査計画書を提出し、監督員の承諾を受ける。
所定の凝結遅延性を得るためには、流動化剤は標準形とし、ベースコンクリートにAE減水剤遅延形を用いる。
a) 共通事項
水セメント比の最大値
普通コンクリート 65%
軽量コンクリート 60%
単位セメント量の最小値
普通コンクリート 270Kgf/m³
軽量コンクリート 300Kgf/m³
温度補正
適用する。ただレマスコンクリートについては、適用しない。
b) 普通コンクリート(流動化、無収縮)
適用箇所 増設耐震壁
設計基準強度 Fc=180Kgf/cm²
スラブ ベースコンクリート 18cm
流動化コンクリート 18cm
骨材の最大寸法 25mm
単位水量の最大値 170Kgf/m³
混和材料 AE減水剤標準形 流動化剤 膨張剤
セメント量380kgf/m³より大きい場合は、AE減水剤型となり、調査設計を提出し決定する。小さい場合はAE剤又はAE減水剤となり、調査設計を提出して決定する。
膨張剤は、JIS外の為現場にて混入する。

試験

型枠

a) コンクリートの圧縮強度試験
打込み工程毎にテストピースを取る。
b) 他の試験(スランプ、空気量等)は標準仕様書による
c) 膨張率試験
JIS A 6202「コンクリート用膨張材」試験
せき板の種類は、厚さ12mmのコンクリート型わく用合板
適用箇所 解体一設

鉄骨工事

日本建築学会「JASSG」
「鉄骨精度検査基準」
「鉄骨工事技術指針」
鋼材倶楽部「建築鉄骨工事施工指針」

工事監理者の承認を必要とするもの

●製作工場 ●製作要領書 ●工作図 ●施工計画書
●建設省告示第1103号による認定工場
(大臣認定 グレード全鋼連登録Mグレード)
●材料規格証明書または試験成績書
●鋼材 ●高力ボルト □特殊ボルト □スタッドボルト
●社内検査表 □ □
(●印以外の項目の検査結果については、工事監理者に報告すること)
●現寸検査 ●製品検査 ●組立・開先検査
□ □ □

工事監理者が行う検査項目

施工図
鉄骨製作要領書
鉄骨建方要領書

鋼材の材質

溶接材料

接合部の溶接

接合部の溶接

高力ボルトの種類

防錆塗装

鉄骨工事

亜鉛メッキ
床書き原寸図
鉄骨の製作精度及び建方精度
検査基準
検査方法
検査ロット
判定基準
不合格の補正

検査基準
検査方法
検査ロット
判定基準
不合格の補正

接合部の施工

施工計画書
アンカーボルトの材質
接着系アンカーの分類
作業員の資格
試験
検査基準
検査ロット
判定基準
不良個所の補正

グラウト工事

施工計画書
要求条件
セメントの種類
骨材
細骨材の塩分
練り混ぜ水
グラウト材
モルタルの調合
施工会社
設計基準強度
作業員の資格
試験
各試験基準
検査方法
検査ロット
判定基準
不合格の補正

提出する。
流動性が良好で充填しやすい。
被充填物に対する付着性がよく、所定の強度が得られる。

ブリージング現象や砂の分離がない。
多少の膨張性があり、硬化後の体積変化が少ない。
硬化後のモルタルおよび付着部分に不透水性がない。
J I S R 5 2 1 0 (普通ボルトランドセメント)
完全水洗い完全乾場砂 2. 5mm以下 粗粒率F N 2. 0
N a C l 換算で0. 0 4 / m l 以下

飲料用水道水

セメント系無収縮グラウト材(無収縮プレモルタル)
プレミックスタ입とする。
メーカー
小野田セメント(株) プレユーロックス
ポソリス物産(株) マスターフロー540グラウト
電気化学工業(株) デンカプレタスコンター1
適用箇所 鋼板巻き柱 増設耐震壁上部 既存層体主筋部
鉄骨ブレース上部 R Cはり補強部
補強鉄骨小はり上部およびその他補強部分
調査計画書を提出し、監督員の承認を受ける。

上記と同様に耐震補強工事に従事した経験のある者とする
経歴書を提出し監督員の承認を受ける。
a) 流動性試験
J A S S S T - 7 0 1 [プレバクドコンクリート用
注入モルタルの試験方法]
b) 膨張率試験
セックエース
土木学会[プレバクドコンクリートの注入モルタル
のブリージング率および膨張率試験方法]
無収縮プレモルタル
土木学会[膨張コンクリート設計施工指針]
c) 凝結試験
A S T M C 4 0 3 - 6 5 T [ブロックター貫入抵抗計
を用いるコンクリートの凝結時間方法]
d) 圧縮強度試験
J A S S 5 T - 7 0 3 [プレバクドコンクリートの
圧縮強度試験方法]

圧縮強度試験: 供試体は、直径5cm×高さ10cmの円柱型
(モールド)で、JIS A 1132「コンクリート
強度試験用供試体の作り方」の規定に準じて作
成する。
試験は、JIS A 1108「コンクリート強度試
験方法」に準じて行う。
供試体養生方法: 原則として水中養生とする。
練り混ぜ水量: J14ロートで測定する。
(コンステナー)
練りより温度: 棒状温度計で測定する。

原則として1日に1回とする。
(その他の場合は、担当監督職員と協議する。)
材齢7日・28日圧縮強度用で、各3個×2=6個とする。

圧 縮 強 度: 3個の平均値かつ、設計基準強度=30N/mm²
以上とする。
練り混ぜ水量: J14ロートの流下時間とし、判定基準値は各々の
(コンステナー) メーカー仕様とする。
練りより温度: 10~35℃の範囲とする。

各材料試験に関して、不合格が生じた場合は担当監督職員と協議
する。
又、施工に関して予期せず型枠解体後、躯体と無収縮モルタルと
の打継ぎ部に隙間が発生した場合、担当監督職員と協議の上、エポ
キシ樹脂又は無収縮モルタルを使用し、注入等により躯体との一
体化を図る。

塗 装 工 事

防火材料
素地ごしらえ
鉄面錆止め塗料の種類
合成樹脂調合ペイント
塗の塗料種類
塗装業者
塗装の略号

屋内の壁及び天井の塗装仕上げは防火材料又は建築基準法に基づく
基材同等の設定表示にあるものとする。
(17.1.3)

木部 不透明塗料塗り (※ A種 ・ ※ B種 ・) (17.2.2~7)
透明塗料塗り

鉄面 種類 (・ A種 ・ B種 ※C種)
2液型ポリウレタンエナメル、常温乾燥型ふっ素樹脂エナメル塗
りの場合はB種

亜鉛メッキ面 鋼製建具 種類 (※ A種 ・ B種 ・ C種)
鋼製建具以外種別 (・ A種 ※ B種 ・ C種)

鉄面錆止め塗料の種類 屋内の見え隠れ部分でA種とする箇所 ・ (17.3.1)(表17.3.1)

合成樹脂調合ペイント 屋外 ・ 1種 ※ 2種 (17.4.1)
塗の塗料種類 屋内 ※ 1種 ・ 2種

※ 日本塗装工業会の会員
・ 監督員の承認する塗装業者

OP 合成樹脂調合ペイント塗り
EP 合成樹脂エマルジョンペイント塗り
TEP 合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り
GEP 艶有合成樹脂エマルジョンペイント塗り
MP 多彩模様塗料塗り
VP 塩化ビニル樹脂エナメル塗り
AE アクリル樹脂エナメル塗り
FE フタル酸樹脂エナメル塗り
CE 塩化ゴム系エナメル塗り
CL クリヤーラッカー塗り
UC ウレタン樹脂ワニス塗り
OS 油性ステイン塗り
JFE 常温乾燥形ふっ素樹脂エナメル塗り
2PE 2液形ポリウレタンエナメル塗り

解体はつり工事

施工計画書
目荒し
注意事項

提出する。
騒音、粉塵、床下物危険防止等および既存部分に有害な
損傷を与えないようにし、充分考慮して施工するものとし
工法については監督員の承認を得て決定する。
既存部分の表層コンクリートをつつきノミ等であばたにな
るように削り取る施工をいう。 既存部材表層のペースト
部分や、コンクリートの劣化部分等を除去して、既存コン
クリートの健全部を露出させること。
ジャンカ等がある場合は、不良コンクリートは完全に撤去
すること。

a) 写真
下記の施工前、施工中、施工後の写真は必ず撮ること。
その他は監督員の指示による。
鉄骨ブレースおよび増設耐震壁と既存解体との接合部
鉄骨建方、 コンクリート打設、 モルタル圧入
鉄骨ブレース、 増設耐震壁、 鋼板巻き柱

原則として公認の試験所にて行なう。
指定している工法およびメーカーと同等以上と認められる
場合は、監督員の承認を得て変更することができる。

備考

平成11年度春野中学校大規模改築事業
及び耐震補強(屋内運動場)工事設計図

三 建 設 計 有 限 会 社 登録高一6号
高 知 市 蜀 島 2-2-2 TEL 883-1761
一 級 建 築 士 第 6 2 5 6 2 公 文 淳 視

図面名称
耐震補強仕様書(2)
NO. A — 29

5-2 仕上げ材の除去及びコンクリートのはつり

1) 既設仕上げ材の除去

補強工事に先立ち内装材及びコンクリート表面の仕上げ材を除去する。
この時不要な部分を傷つけないために溝切りカッター等で水平または垂直に養生する。

2) 既設コンクリートの表面の処理及びはつり

- ① 新しくモルタルまたはコンクリートを打ち継ぐ部分のコンクリート表面は、別表に準じて、適切な目荒らしまたは、はつりを行う。
- ② シアコッターをもうける場合は設計図書に記された寸法に出来るだけ近かつ下回らないようはつり面は出来るだけ凹凸がないようにする。

打ち次ぎ面表面処理

項目	はつり深さ	範囲
品質	0.5~1.0cm	3/4~全体

5-3 鉄筋及び鉄骨工事

- 1) 使用材料

鉄筋	SD295A規格相当品	鉄骨	SS400規格相当品
アンカー	SD295A規格相当品		

2) 鉄筋の定着

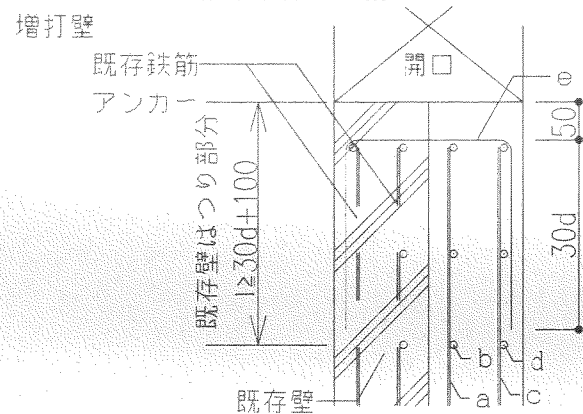
新しく鉄筋コンクリート部材を増設する増設部分の鉄筋は既設の架構いはいその主筋に有効な方法で定着する。

3) 鉄筋の継手

設計図に指示がない場合は重ね継ぎ手とする。

4) 配筋

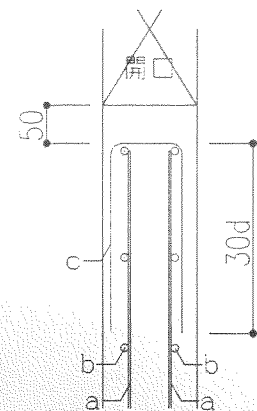
- ① 増打壁及び増設壁の配筋順序は下図とする。



- a 内側 縦筋
 - b 内側 横筋
 - c 外側 縦筋
 - d 外側 横筋
 - e かんざし筋(小口ふさぎ筋)
- 壁筋の径、ピッチに準ずる。

・開口部がない場合の配筋順序は a~dとする。

増設壁

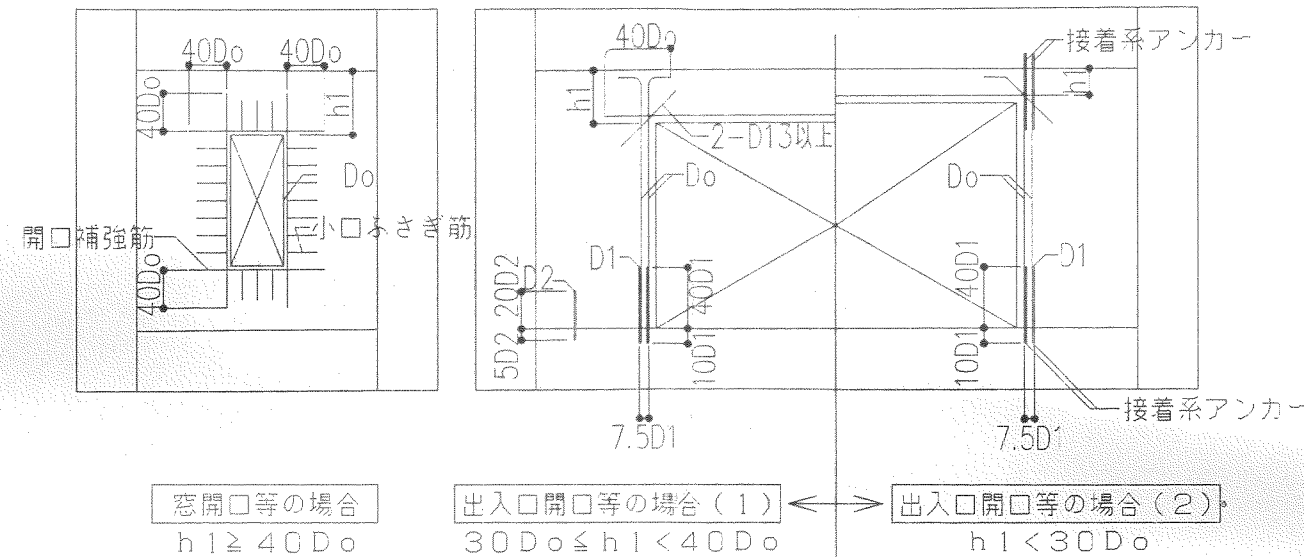


- a 縦筋
 - b 横筋
 - c かんざし筋(小口ふさぎ筋)
- 壁筋の径、ピッチに準ずる。

・開口部がない場合の配筋順序は a, bとする。

② コーナー補強筋は下図とする。

開口補強筋径(Do)の1サイズ上を開口補強アンカー径D1とする。
(開口補強筋がダブルの場合は接着アンカーの本数は開口補強筋の1/2とする。)

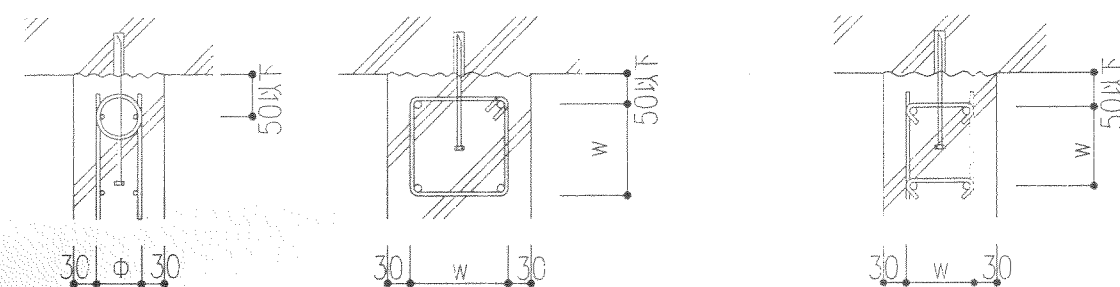


小口ふさぎ筋 壁筋と同サイズ、同ピッチとする。

5) 割裂防止筋

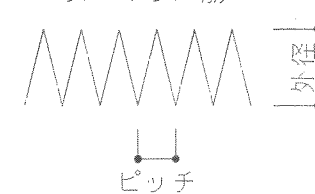
- ① 割裂防止筋(試当工法に○を付ける。)

- ・ スパイラル筋の規格
スパイラル筋 H O O P □ - D 1 0 @ 1 0 0
主筋 4 - D 1 0
- ・ フープ筋の規格
H O O P □ - D 1 0 @ 1 0 0
主筋 4 - D 1 0
- ・ 梯子筋の規格
D 1 0 @ 1 0 0
補強筋 2 - D 1 0



・ スパイラル筋 形状は下記による。

スパイラル筋



壁厚	鉄筋径	外径	ピッチ
150	D6	70	35
180	D6	80	40
200	D6	100	50
250	D10	120	60
300	D10	170	85

5-4 あと施工アンカー

① 材料

a) 接着系アンカー

接着系アンカーは、カプセル型の有機系とし、アンカーメーカーについては監督員と協議する。
アンカー筋は、原則ナット付き異形棒鋼とする。
アンカー筋の素材強度は、次の試験方法に基づいて定められている各メーカーの品質管理基準により保証されている値以上とする。

(財)日本あと施工アンカー協会(略称JCAA)の耐震改修用素材強度標準強度
試験方法に基づく値がその規定値を満足しているものとする。

b) 金属系アンカー

金属系アンカーの本体はJISG31C1, 3123, 3445, 4805の規格を満足する物もしくはこれ同等またはそれ以上の品質を有するものとし、アンカーメーカーについては監督員と協議する。

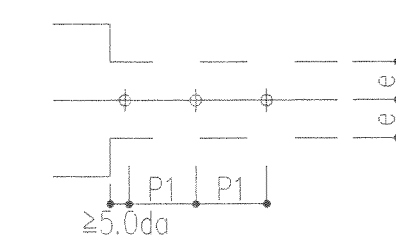
接合筋は原則ナット付異形棒鋼とする。

c) あと施工アンカーメーカーの採用については監督員と協議する。

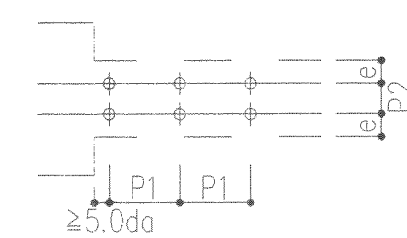
② あと施工アンカーの埋め込み深さ、長さ、規格は下図とする。

あと施工アンカーの間隔

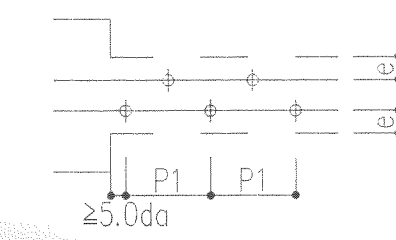
a) 単列に配置する場合



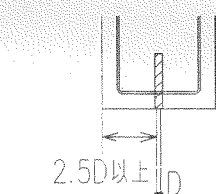
b) 複列に配置する場合



c) 千鳥に配置する場合



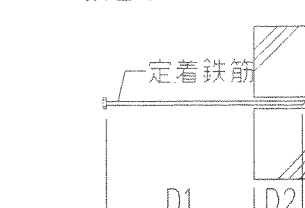
da: アンカー径
P1 ≥ 7.5daかつ30cm以下
P2 ≥ 5.5da
P3 ≥ 4dc
e ≥ 2.5da



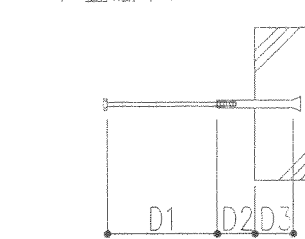
採用するアンカーの外径に対し、へりあき長さを
躯体端面より2.5倍以上とすると共に、主筋より
内側にアンカーを設置する。

あと施工アンカーの打込長および定着筋の定着長

a) 接着系アンカー



b) 金属系アンカー



		D: アンカー径
		長さ
突出長さ	一般部	20D
D1	開口補強筋	40D
埋込有効長さ	一般部	7.5D以上
D2	開口補強筋	10D以上

		D: 接合筋径 da: アンカー本体径
		長さ
接合筋		20D
突出長さD1		
アンカー本体		5da
突出長さD2		
埋込有効長さ		5da
D3		

特記事項
接合筋 SD295A
接合筋はD10以外ナット付き
異径筋とする。

- ③

アンカーホールは、水その他の不純物を十分に除去し溶剤を注入しなければならない。
- ④

あと施工アンカーの施工にあたって、不良な箇所は不良な既存コンクリートを除去し、エポキシモルタル等で補修の上、あと施工アンカーを施工する。また、ダメ穴、又は既存鉄筋に当たった場合にはエポキシモルタル等で補修する。
- ⑤

あと施工アンカーの施工は、J C A A の技術資料（施工要領等）を参考にする。
- ⑥

あと施工アンカー技術者資格等

a) あと施工アンカーは、専門施工会社の責任施工とする。

b) あと施工アンカーの施工は、下記①と②の技術資格を有する者で施工および施工管理等を行うものとし、資格証明書の写しを提出し監督員の承認を得る。

①

あと施工アンカーの施工者

a

第1種あと施工アンカー施工士

b

あと施工アンカー主任技士

②

あと施工アンカー工事全般の管理技術者

a

あと施工アンカー技術管理士

b

あと施工アンカー主任技士

上記資格制度は、平成8年度に資格制度が確立した経緯があるため有資格技術者の不足が予想される。資格者の確保が充分できない場合は、あと施工アンカーメーカーによる技術講習、施工実技実習等により、メーカーの資格証を認定・証明を受けている者と同等とみなす。但し、監督員との協議のうえ承認を得ること。

なお、メーカーの認定資格者は、異なるメーカーの工事では施工できないものとする。

⑦

あと施工アンカーの固着力検査

固力検査は、全数の打音検査による固着度確認の他に引張試験による固着試験を行う。試験方法は、J C A A の耐震改修用あと施工アンカーの試験方法による。

引張試験は、降伏点強度にて固着力を試験する。試験本数は下記のとおりとし、試験箇所は監督員と協議のうえ決定する。

試験本数

原則、下向き、横向き、上向き各方向別に本数の0.5%以上かつ3本以上について実施する。
- 5-5

鉄骨工事

1)

鉄骨工事は原則として工場加工とする。

2)

鉄骨の制作工場は建設省告示第1103号に基づくMグレード以上の認定工場とする。

3)

床書き原寸図は作成する。

4)

さび止め塗料は、J I S K 5 6 2 2 (2 種) の規格品で、刷毛又はローラー塗りを工場1回、現場搬入後1回の2回とする。

5)

溶接部の検査

b

完全溶け込み溶接部は超音波探傷検査を行う。

検査は溶接部の100%を行う。
- 5-6

コンクリート工事

1)

材料

コンクリート Fc180kgf/cm 以上 スランプ 18以下

水セメント比 - 水セメント比 最大65% 単位セメント量 最小値 300kgf/m³

2)

材料試験

・

テストピースは打設1回毎 現場養生 標準養生共 1、4週試験各々3本毎とする。

3)

打ち込み

・

コンクリート打ち前には、せき板打ち継ぎ面は充分水で洗い流し、乾燥させてならない。

・

打ち継ぎ面は水平になるように注意する事。

・

増設壁または打ち増しする部分と上部架構とを一体化する必要があり、高さ20cmを残し無収縮モルタルの圧入を行う。
- 4)

躯体コンクリート

・

打ち込み区画は、建物内でのコンクリートの運搬方法、打ち込み、締固めに要する時間、練り混ぜ開始から打ち込み完了までの時間の限度を考慮して、工程に無理が生じないように定めるものとし、試験回数等は次のとおりとする。

a

リ-ミックスコンクリートの種類

1類

b

単 位 セ メ ン ト

300kgf/m³以上

c

練り混ぜ開始から打ち込み完了時間

1時間

d

試 験 回 数

コンクリート打設1回毎、かつ補強壁1枚毎1回以上

e

1 回 の 供 試 体 数

材齢7日用、28日用その他必要に応じて。
標準・現場養生各3個

f

補強壁の型枠最小在置期間

原則7日間

5)

養生

・

躯体が薄い場合または小さい場合は乾燥による性能低下を防ぐため、コンクリート打ち込みより7日間以上湿润状態を保つ事。

6)

打増し

・

外部打放し面のコンクリートの打増しは、20mmとする。
- 5-7

型枠工事

1)

材料

木製型枠	コンクリート打放し仕上	同左以外
種 別	B種	J A S 規格品12mm
材 質	南洋材又は複合材	南洋材又は複合材
表面塗装	無し	無し
備 考		

2)

施工

・

目違いの出来ない様、モルタルがはみ出さないように入念に施工の事。

・

振動機の使いやすいうようにセパレーターの配置を検討する事。
- 5-8

補強用モルタル工事

1)

材料

①

モルタルの圧縮強度は補強コンクリートの設計基準を下回らないものとする。

②

コンシステンシーは、打ち込み箇所及び打ち込み方法に応じて密実な打ち上がり状態が得られる範囲で、できるだけ硬練りとする。

③

調合はJ I S R 5 2 1 0 のフロー試験によるモルタルのコンシステンシーに応じ下表を標準とする。

フロー値(mm)	セメント：細骨材（重量比）
180未満	1 ： 3
180以上240未満	1 ： 2.5
240以上	1 ： 2

2)

モルタルの打ち込み

①

上部から流し込むか、下部から圧入方法とし均一、密実な仕上がりが得られるようにする。

②

打ち込みまたは吹き付けに先立ち、既設コンクリート面及び給水性のせき板表面は、十分に、吸水した状態とする。

③

養生は、コンクリートと同様に扱う。
- 5-9

グラウト工事

1)

材料

・

コンシステンシーは、注入箇所及び注入方法に応じて定める。

・

グラウトミキサーは、均一なグラウトモルタルが得られるものとする。

・

運搬はグラウトモルタルが過度に分離しないような方法による。
- 2)

注入・圧入

・

グラウトモルタルは、注入または圧入により打ち込む。

・

注入または圧入に先立ち、既設コンクリート表面及び吸水性のせき板表面は、十分に吸水した状態とする。

・

注入または圧入は適当な圧力で中断しないように行う。

・

空気抜きを設け、グラウトモルタルが空気抜きにでてくること確認する。
（10mm程度の管／1m当り）

・

型枠は、グラウトモルタルの漏出の無いように組み立てる。

・

注入または圧入の圧力に十分に抵抗できる剛性を持ち、かつグラウトモルタルの膨張圧を適切に拘束出来るものとする。

・

型枠の取り外しは、グラウトモルタルが十分に硬化し、かつ型枠による膨張圧の拘束が不要になってから行う。（おおむね7日～10日とする）

・

養生はコンクリート養生によるほか、膨張性混和材を用いた場合には、特に入念な湿润養生を行う。
- 5-10

補強壁設置に伴う既存仕上材の除去およびコンクリートの撤去等工事

1)

施工内容

①

補強工事に先立ち、設計図に基づきコンクリート壁、土間等および内外装材、モルタル等の仕上材を除去する。

②

モルタル等塗仕上材およびコンクリート躯体を撤去する場合は、カッターで切込みを付けてから撤去する。なお、躯体を撤去する場合は、両面からカッターで切込みを付けてから撤去する。

2)

留意事項

①

除去及び撤去に際しては、既設柱梁等構造部材及び仕上材に損傷を与えないよう充分に注意する。なお、コンクリートのハツリは最小限にとどめるような工法とする。

②

増設する部材に接する既存コンクリートは、充分に目荒らしを行い増設部分との一体化を行う。なお、目荒らしは0.5～1.0cm程度の凹凸を、打継ぎ面の3/4～全体にわたってつける。

③

はつり工事は既設構造躯体に悪影響を与えない方法で丁寧に行うこと。（電気ピック等を用いる）

④

シアコッターを設ける設計の場合は、設計図に示された寸法に出来るだけ近くかつ、下回らないようにするとともに、ハツリ面はできるだけ凹凸がないようにする。

5-11

検査・試験・結果・報告事項

1)

下記項目について試験結果を報告しなければならない。

①

コンクリート強度

②

現場 ケミカルアンカー引抜試験

③

グラウトモルタル強度試験

④

鉄筋引張試験

⑤

エキポシ樹脂性能表（あと施工アンカー用）

⑥

カーボンファイバー成績表

5-12

グラウト 部分詳細

既存梁

コンクリート投入口

200

型枠

壁厚

普通コンクリート（無収縮）

外部振動機叩き締め

ウレタン系コーキング（速乾性）

空気抜

200

既存梁

無収縮モルタル圧入

ウレタン系コーキング（速乾性）

モルタル圧入口

壁厚

レイタンス等除去水湿し

型枠

(1) 普通コンクリート打設要領

既存梁

コンクリート投入口

200

型枠

壁厚

普通コンクリート（無収縮）

外部振動機叩き締め

ウレタン系コーキング（速乾性）

空気抜

200

既存梁

無収縮モルタル圧入

ウレタン系コーキング（速乾性）

モルタル圧入口

壁厚

レイタンス等除去水湿し

型枠

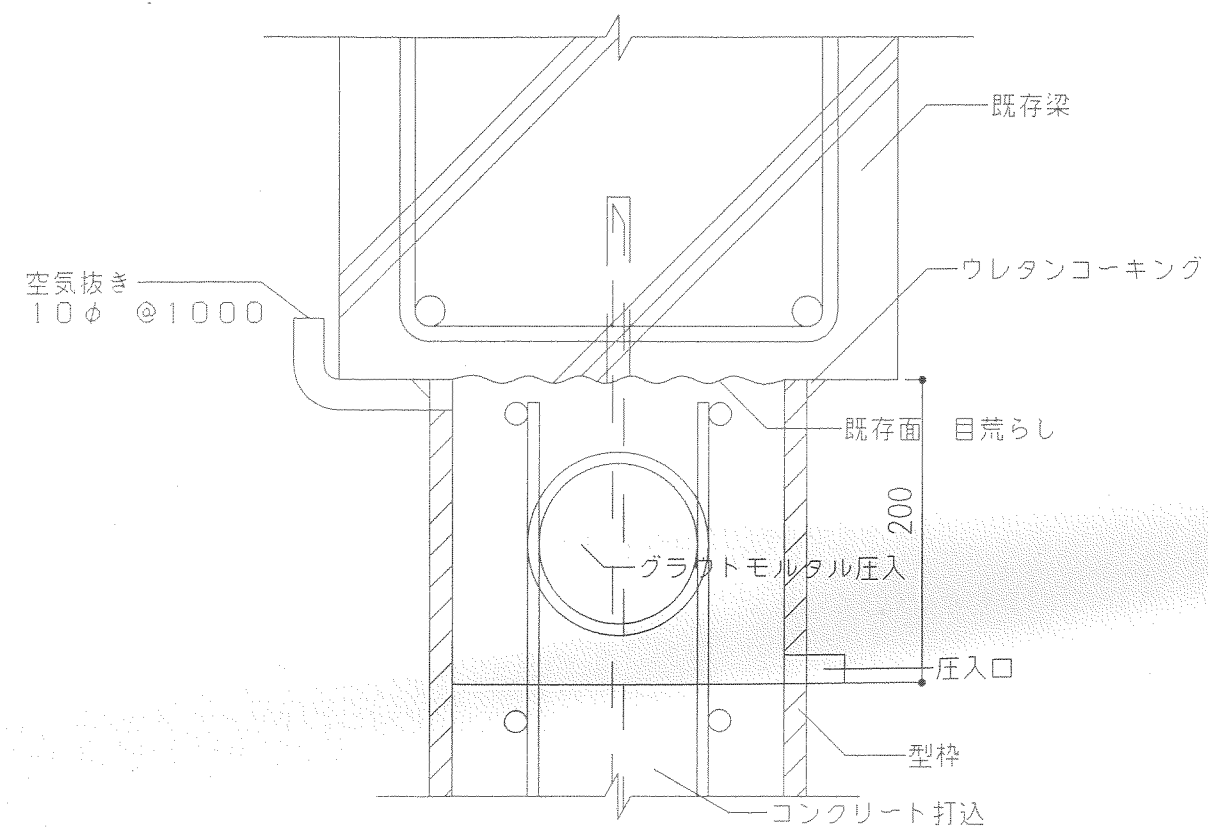
(2) 無収縮モルタル圧入要領

備考

平成11年度春野中学校大規模改築事業
及び耐震補強（屋内運動場）工事設計図

三 建設 計 有 限 会 社 登録高一6号
高知市葛島2-2-2 TEL 883-1761
一級建築士第62562 公文淳視

図面名称 改修工事特記仕様書（3）
NO. A — 32



備考

平成11年度春野中学校大規模改造事業
及び耐震補強(屋内運動場)工事設計図

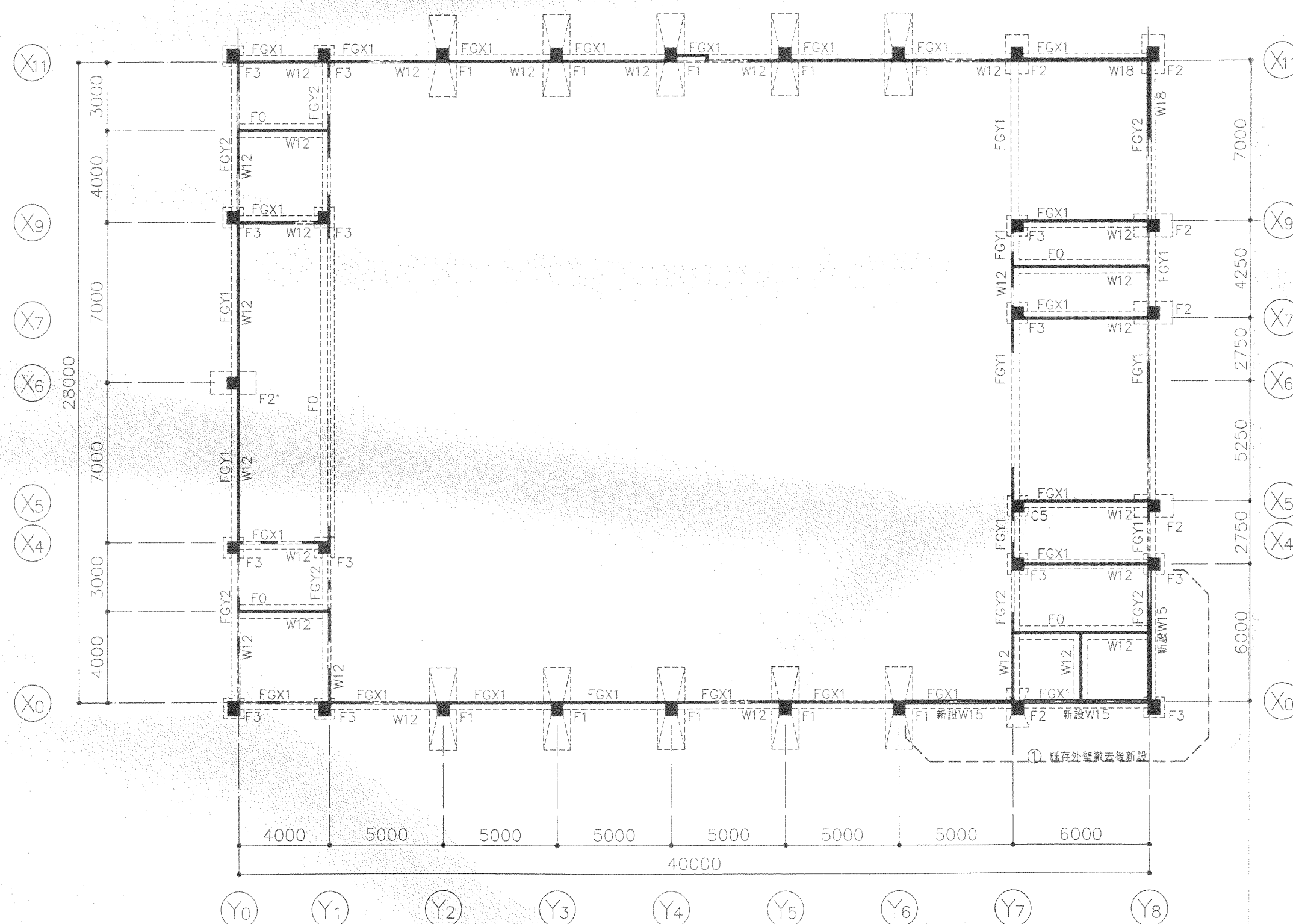
三建設計有限公司 登録高-6号

高知市 葛島 2-2-2 TEL 883-1761
一級建築士 第62562 公文淳視

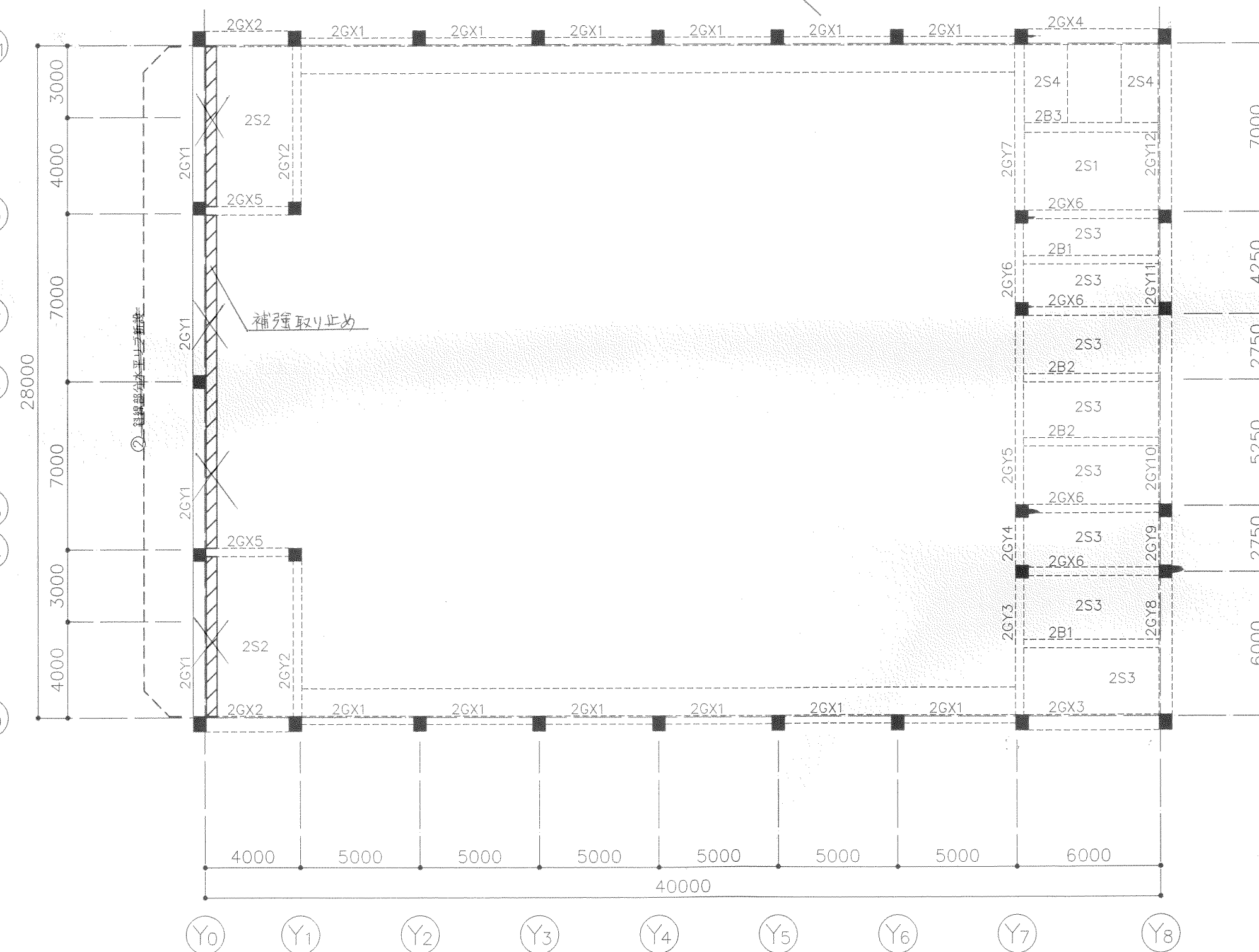
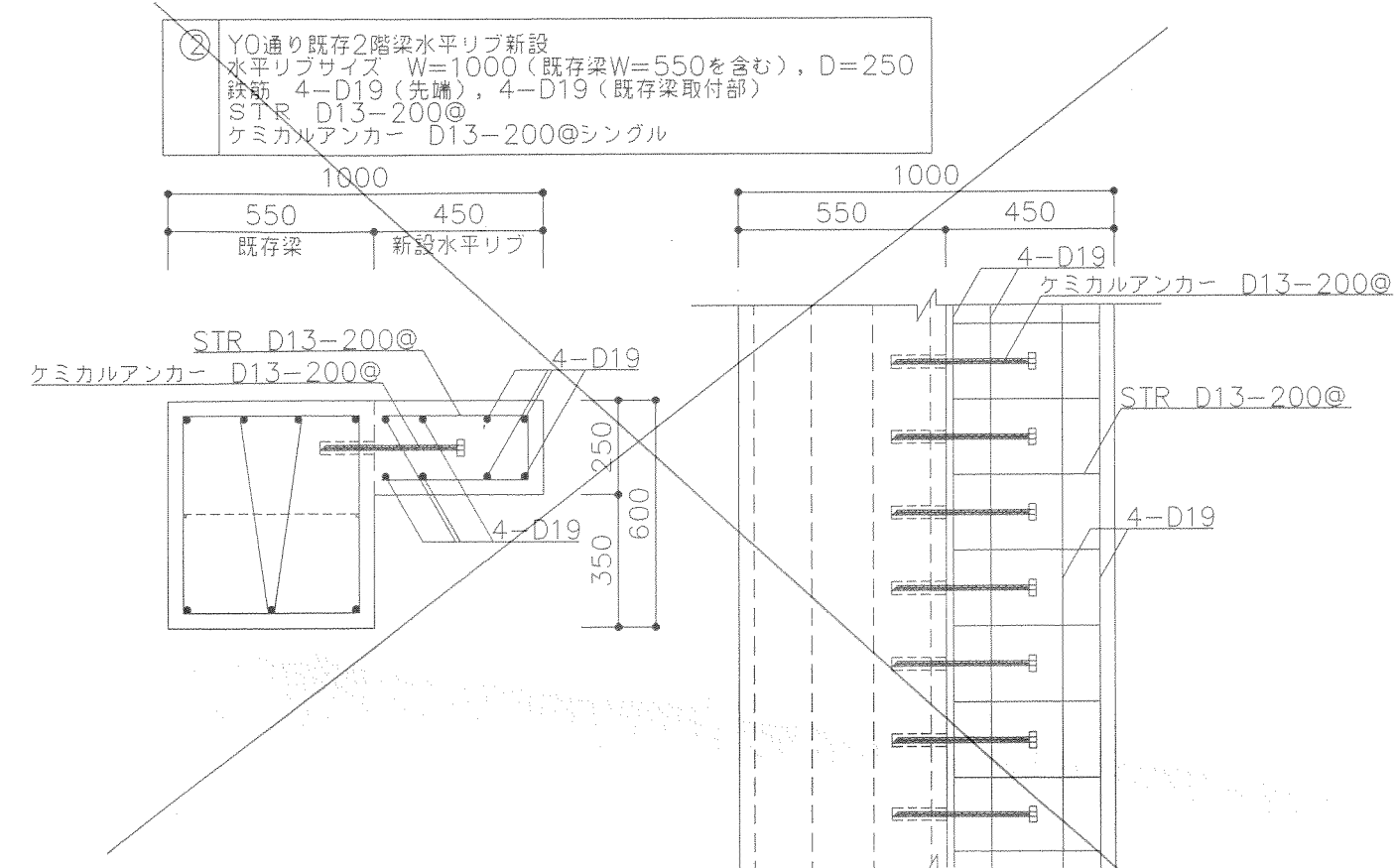
図面名称 改修工事特記仕様書(4)

NO. A-33
年度 月 日 担当 製図

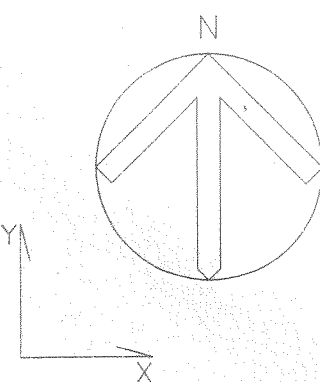
①	既存外壁 不同沈下による構造クラック改善の為、撤去後新設 既存開口部 上壁 W=120、新設壁 W=150 鉄筋 D10-2000 タテ×ヨコ ケミカル 6φ 70φ 150φ シングル スパル 6φ 70φ 150φ 既存開口部 廊下の上壁新設時に新設 ※新設開口部サイズは既存サイズに合わせる。 開口部周 補強 鉄筋 1- <u>10</u> タテ、斜筋 1- <u>10</u> ヨコ D10 D10
---	--



基礎伏図 $S=1:200$



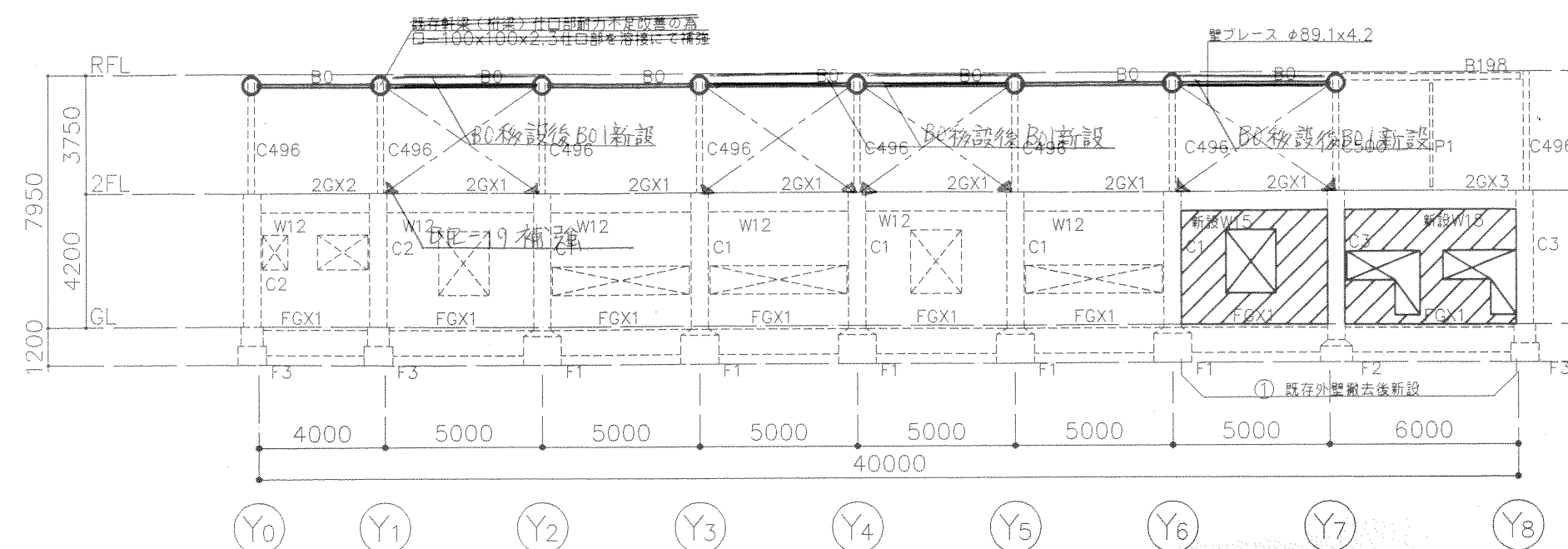
2階床梁伏図 S=1:200



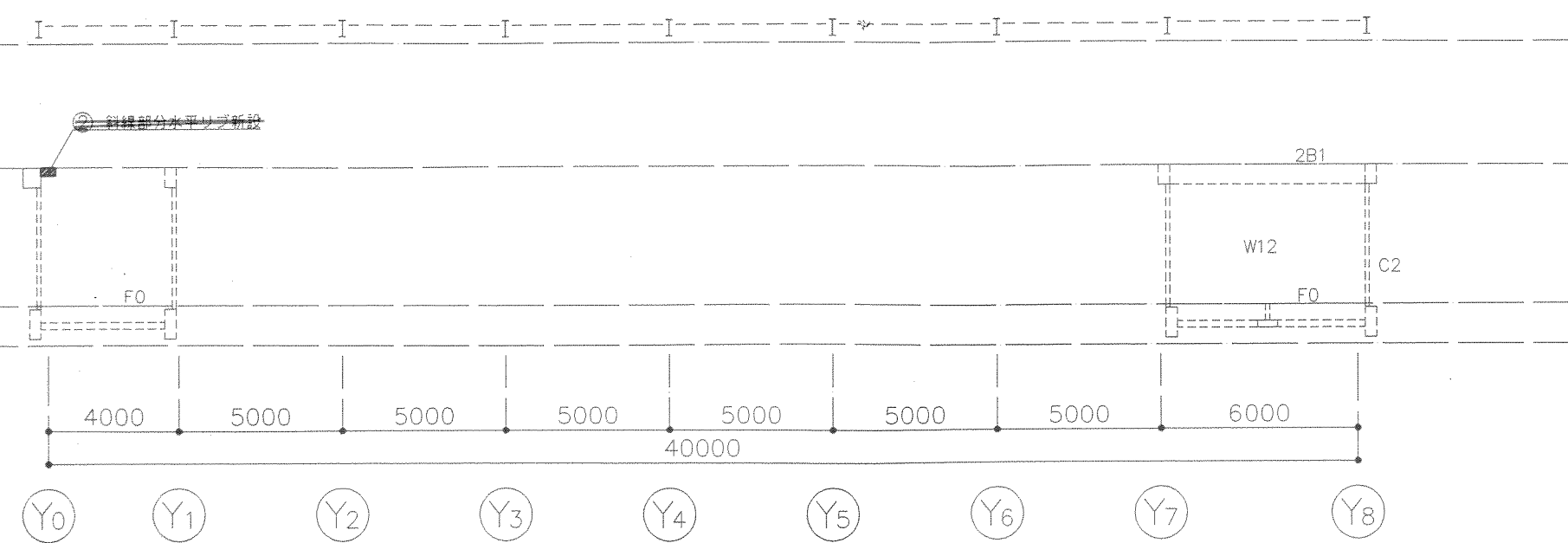
備考	

小屋伏図	S=1:200
------	---------

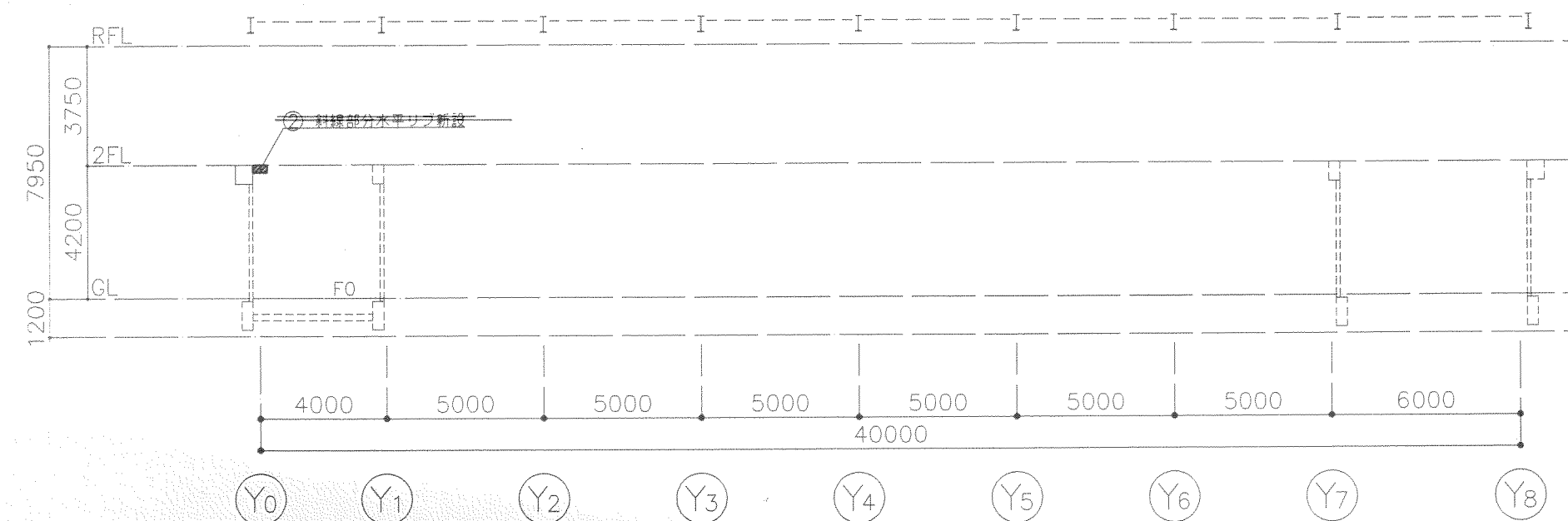
三 建 設 計 有 限 会 社		登録高-6号	図面名称 鉄骨耐震補強伏図	
高知市葛島2-2-2		TEL 883-1761	縮尺 S=1:200	NO. A—35
一級建築士第62562		公文淳視	年 月 日 担当 製図	



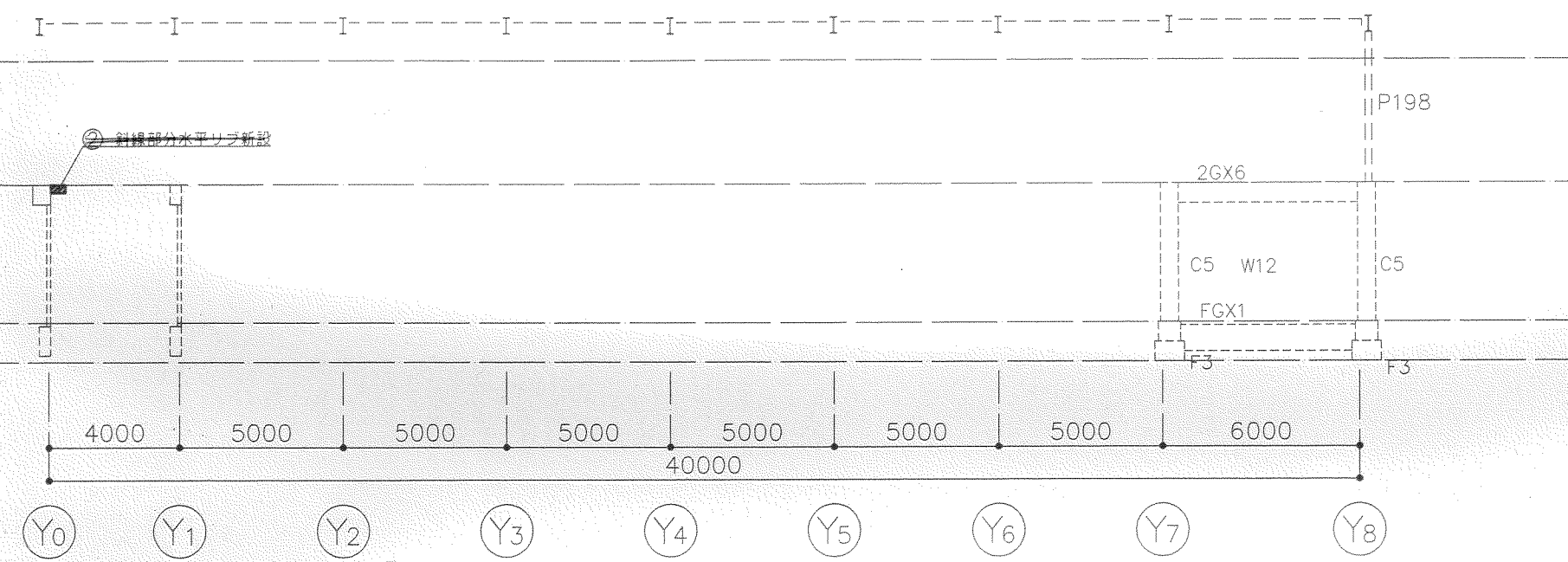
X0通り軸組図 S=1:200



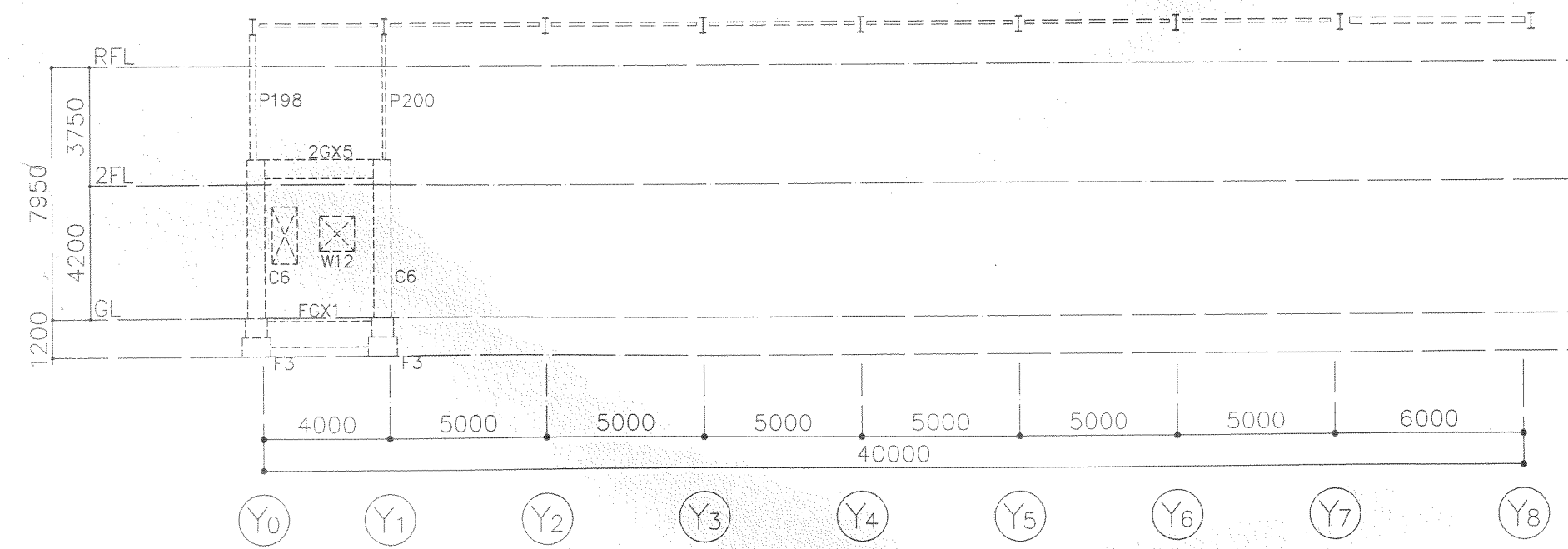
X1通り軸組図 S=1:200



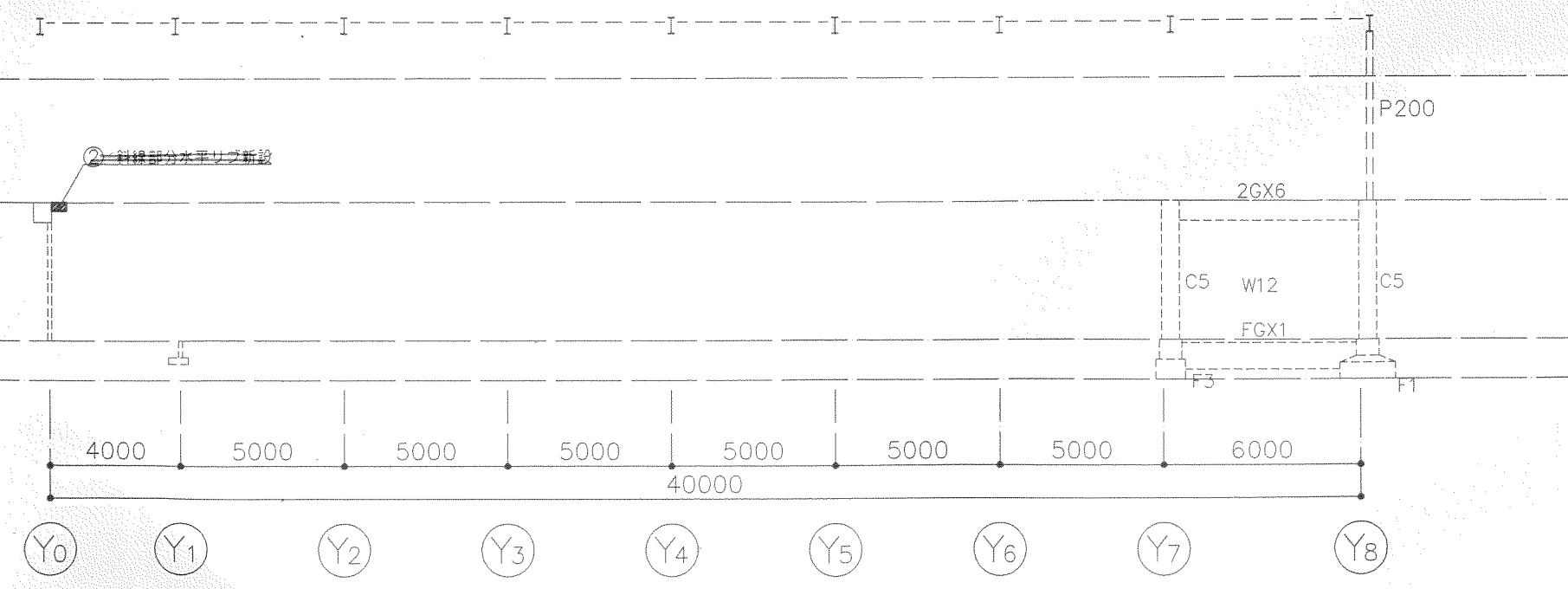
X2通り軸組図 S=1:200



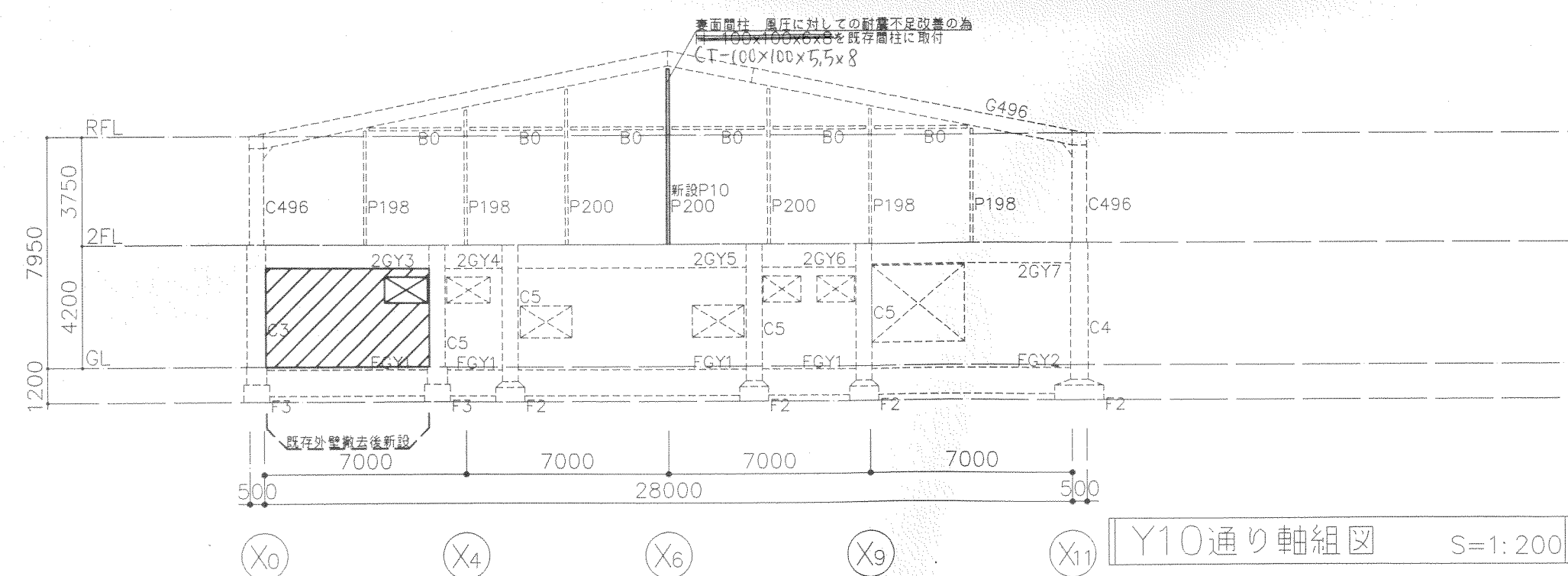
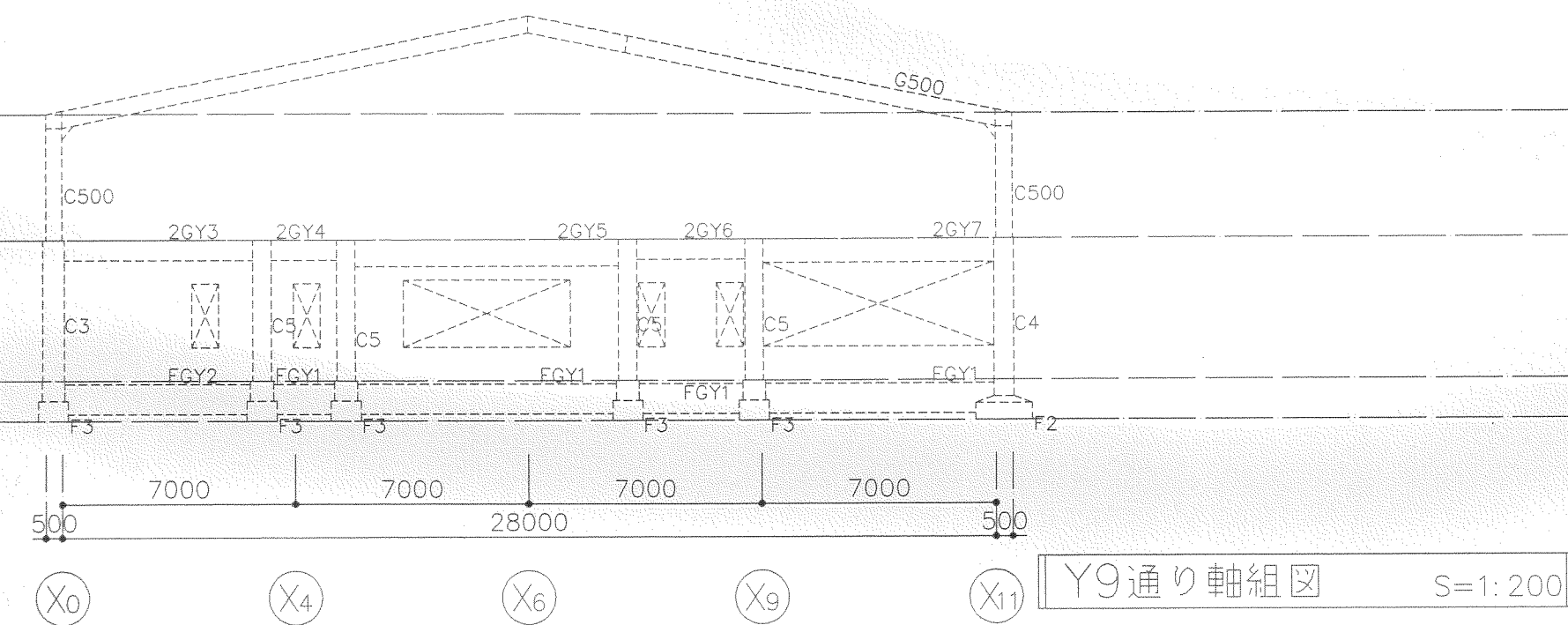
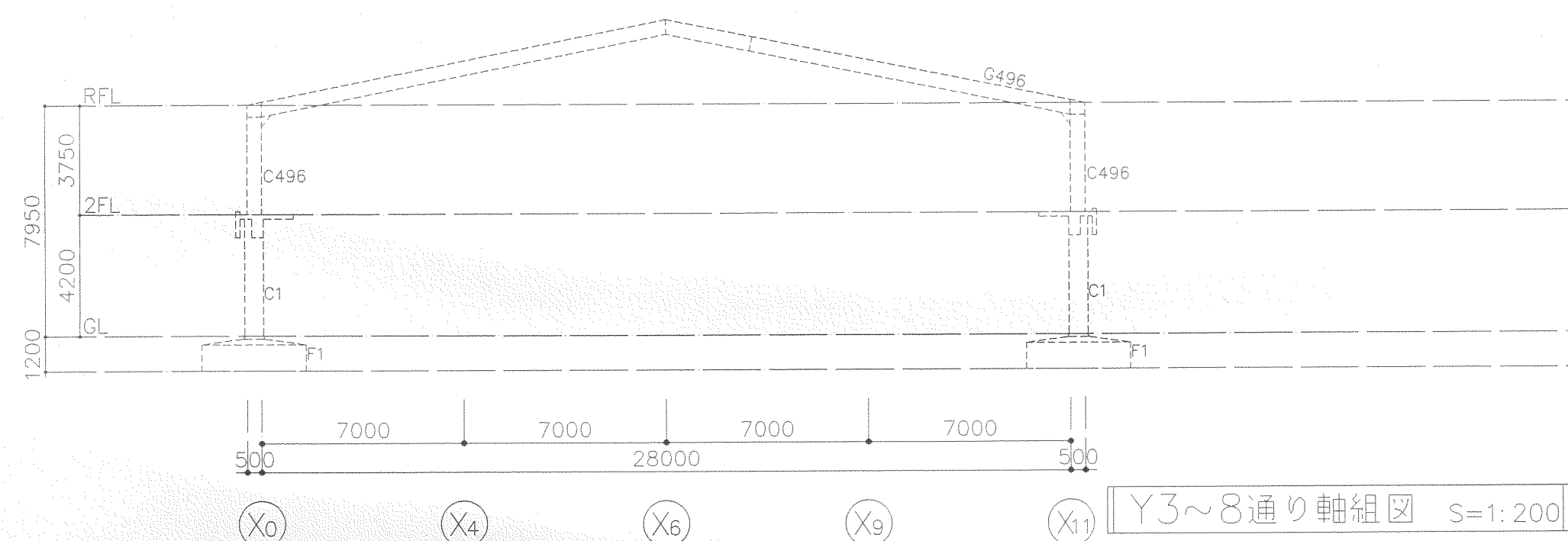
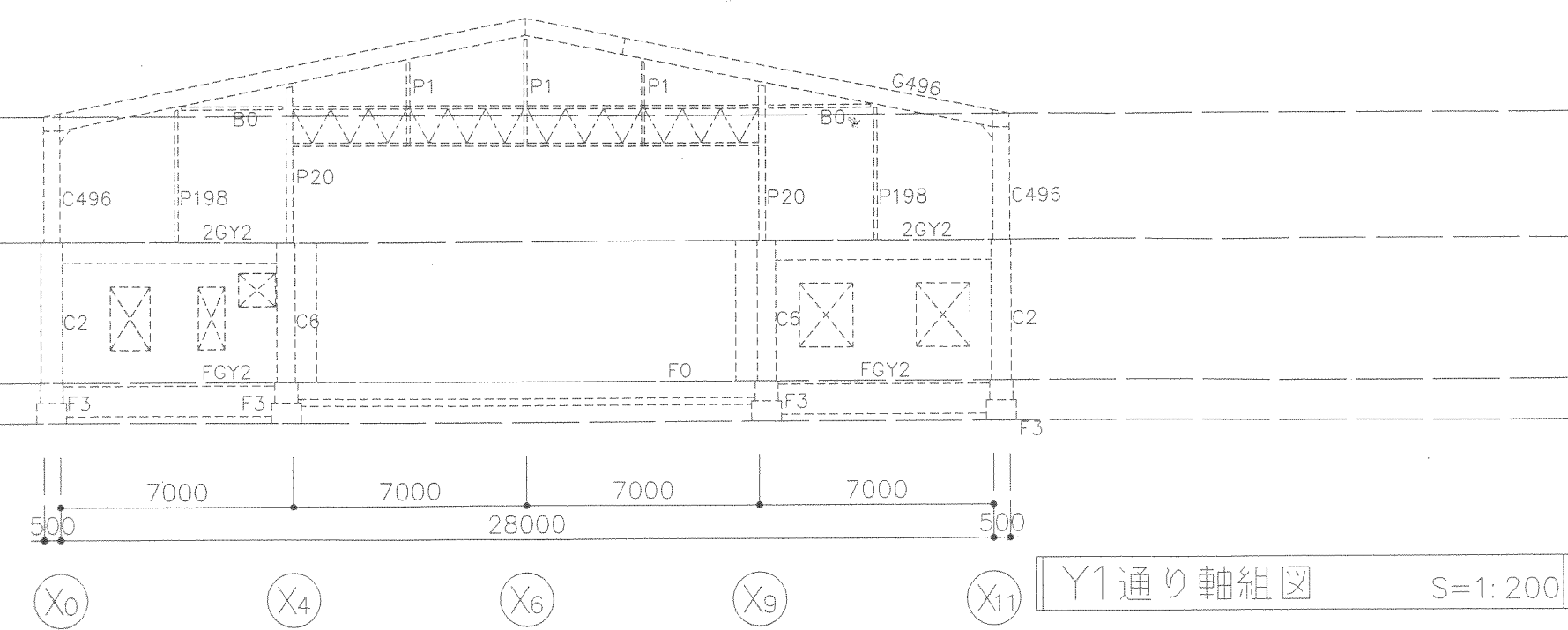
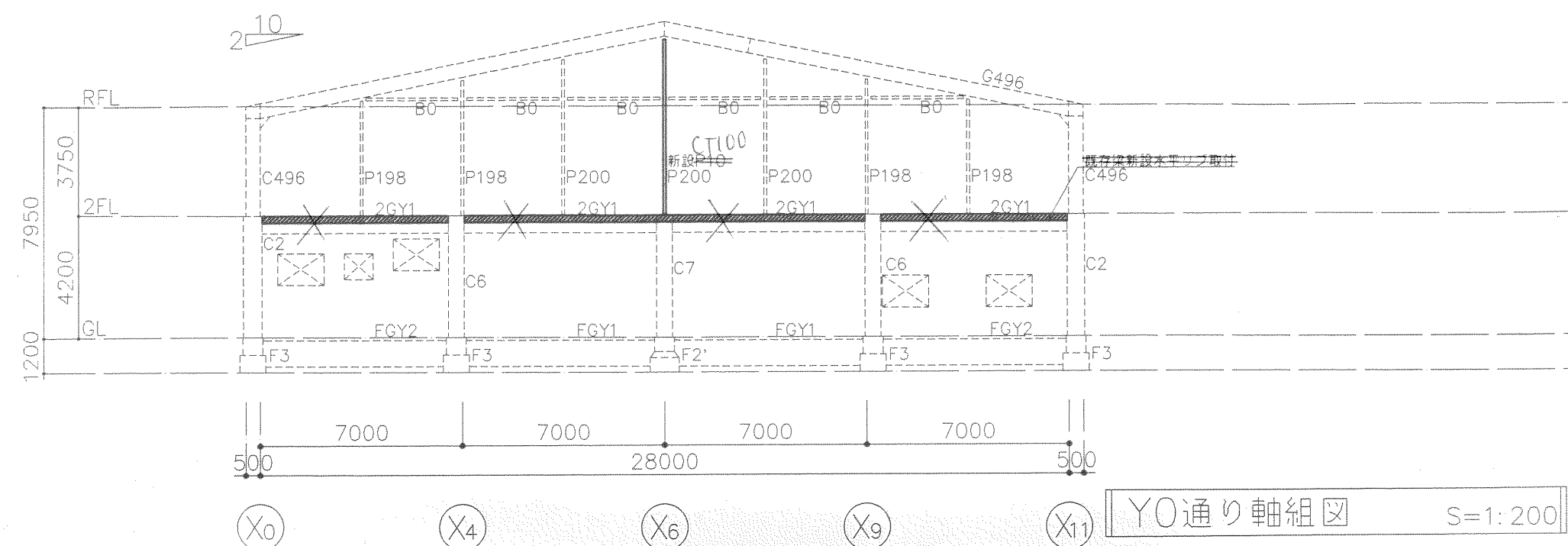
X3通り軸組図 S=1:200



X4通り軸組図 S=1:200



X5通り軸組図 S=1:200



あと施工アンカー D13 (SD295A)

仕様
 接着系アンカーはカプセル型の有機系のもの（メーカーより素材強度が保証されているもの）とする。R-12を使用

形状
 接着系アンカー筋は、先端斜めカット45°で、頭部はねじ切り加工としナット付とする。

品質
 アンカー筋は、極端な錆、油等の付着がないナット付き異形棒鋼を使用する。

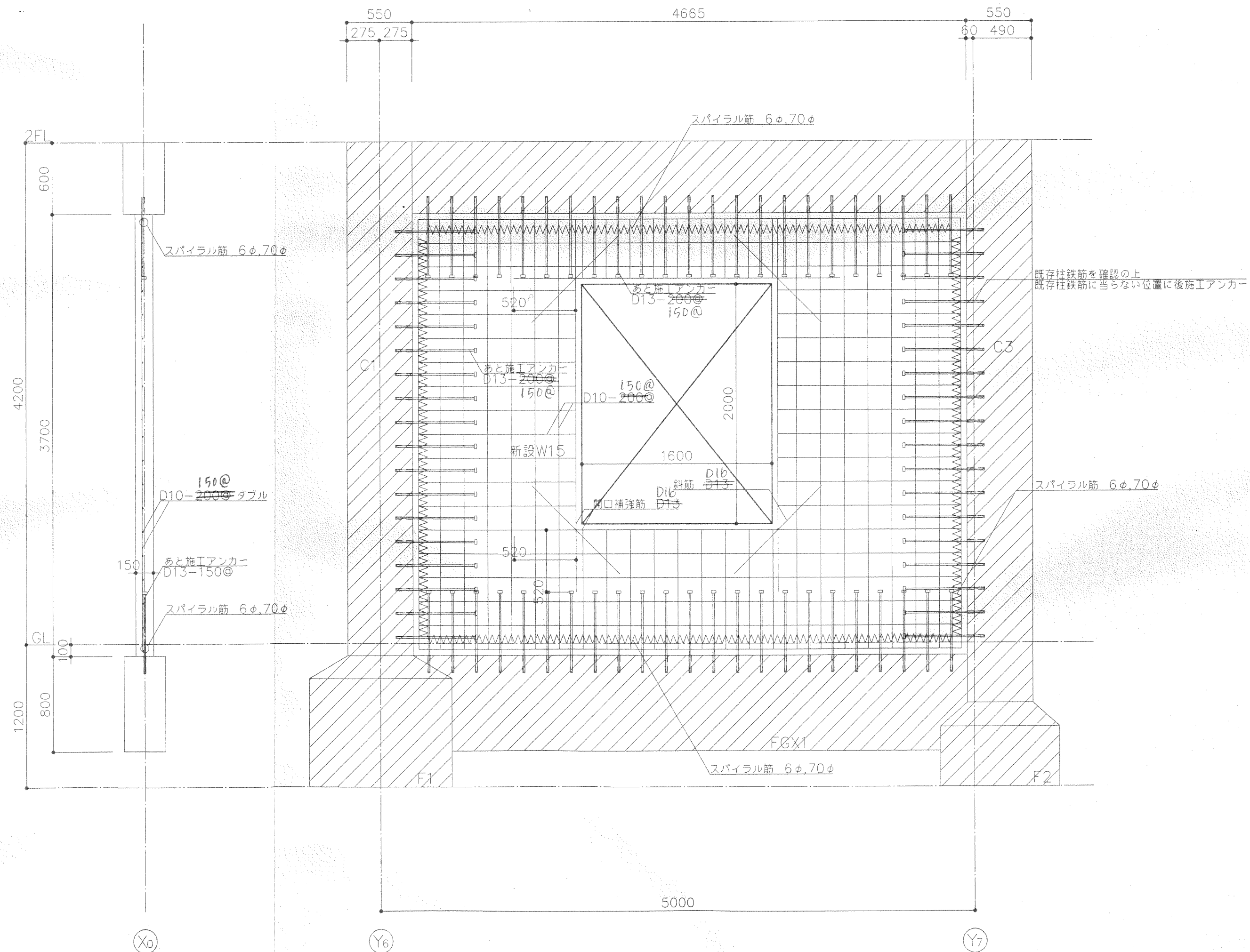
姿図

有効長=650
 全長=685

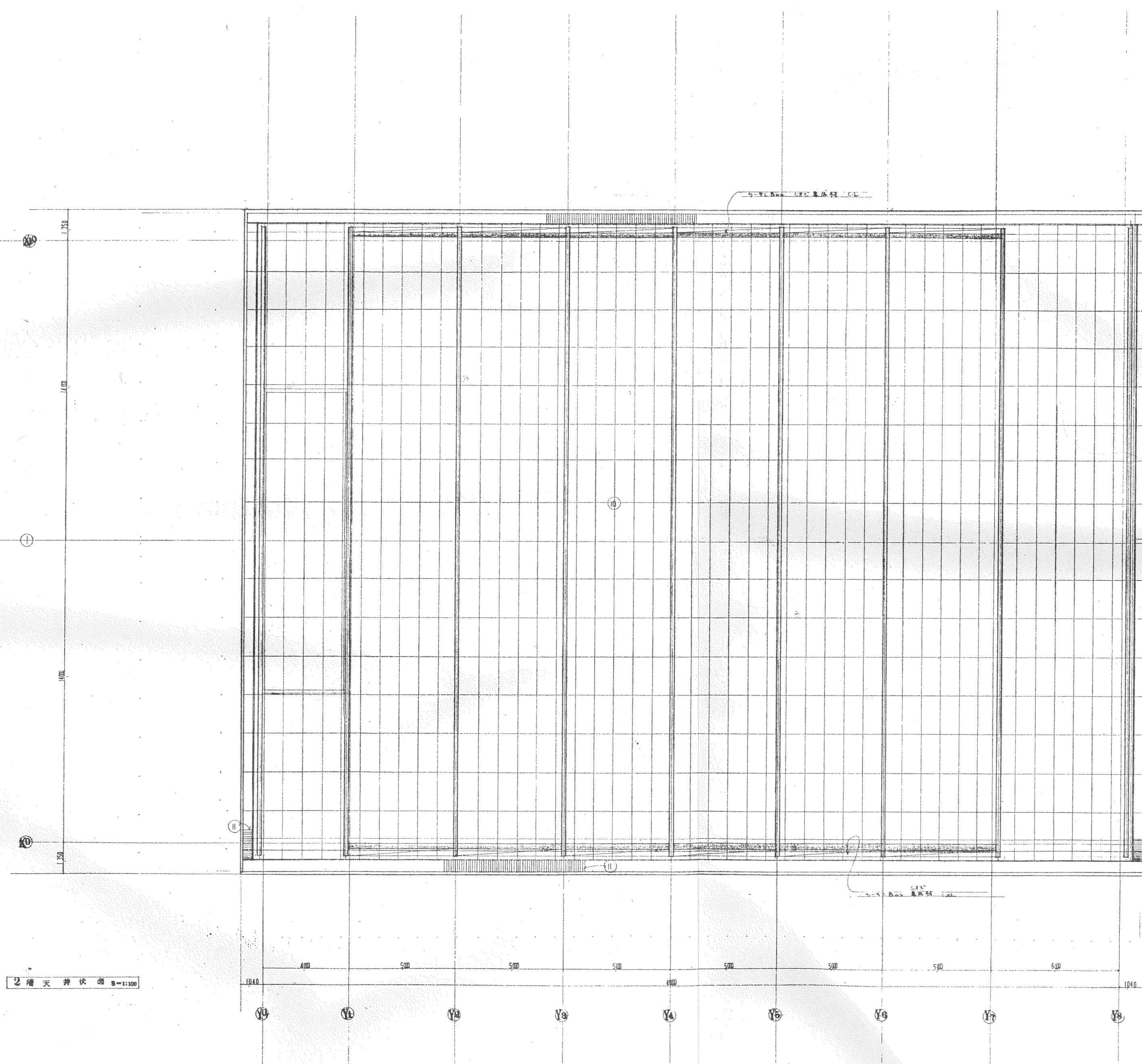
埋込有効長=130
 145

定着長=520 (40d)

※ 後施工アンカーの埋込有効長は、10d以上を確保する事。

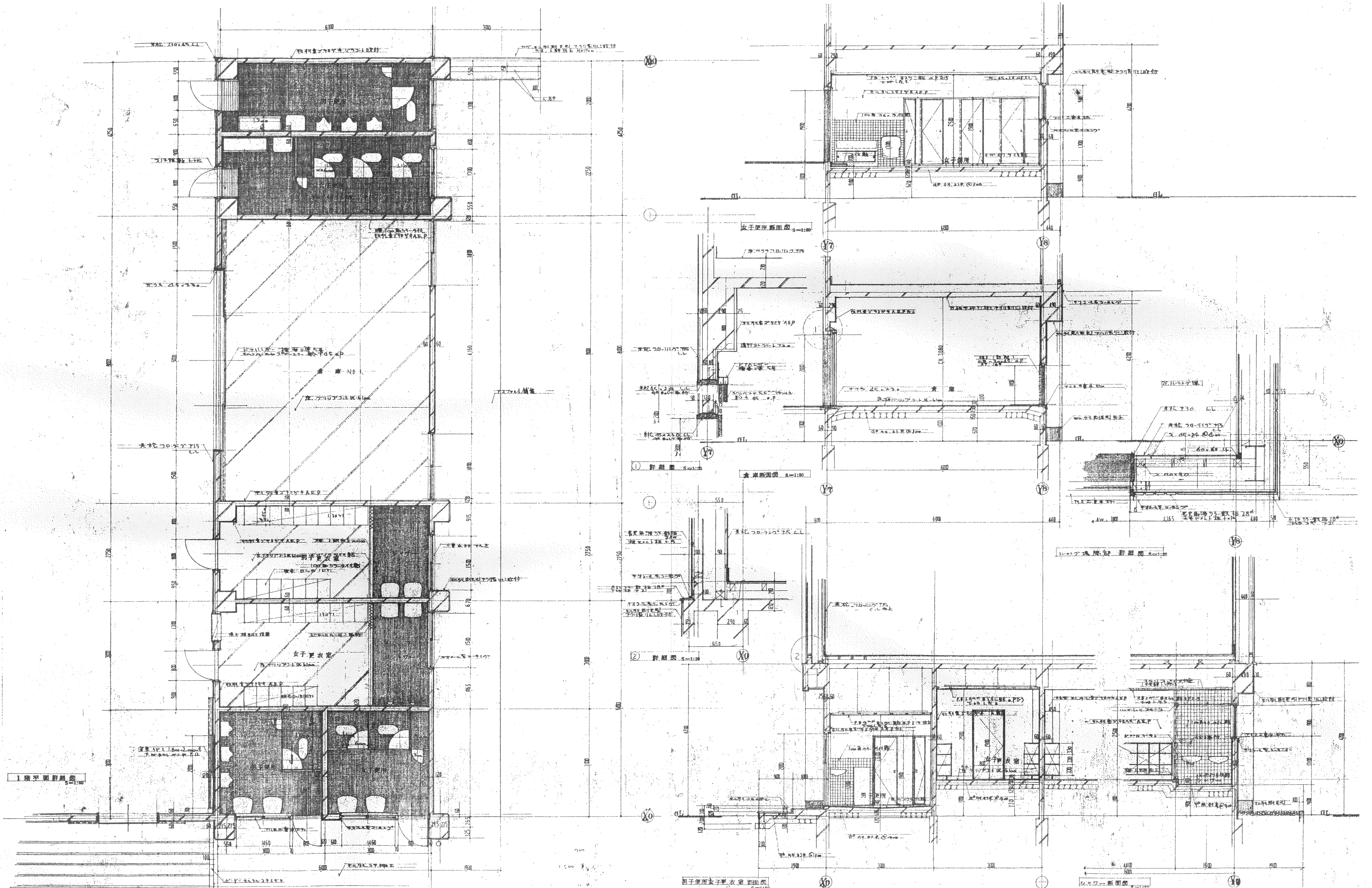


補強詳細図 S=1:30

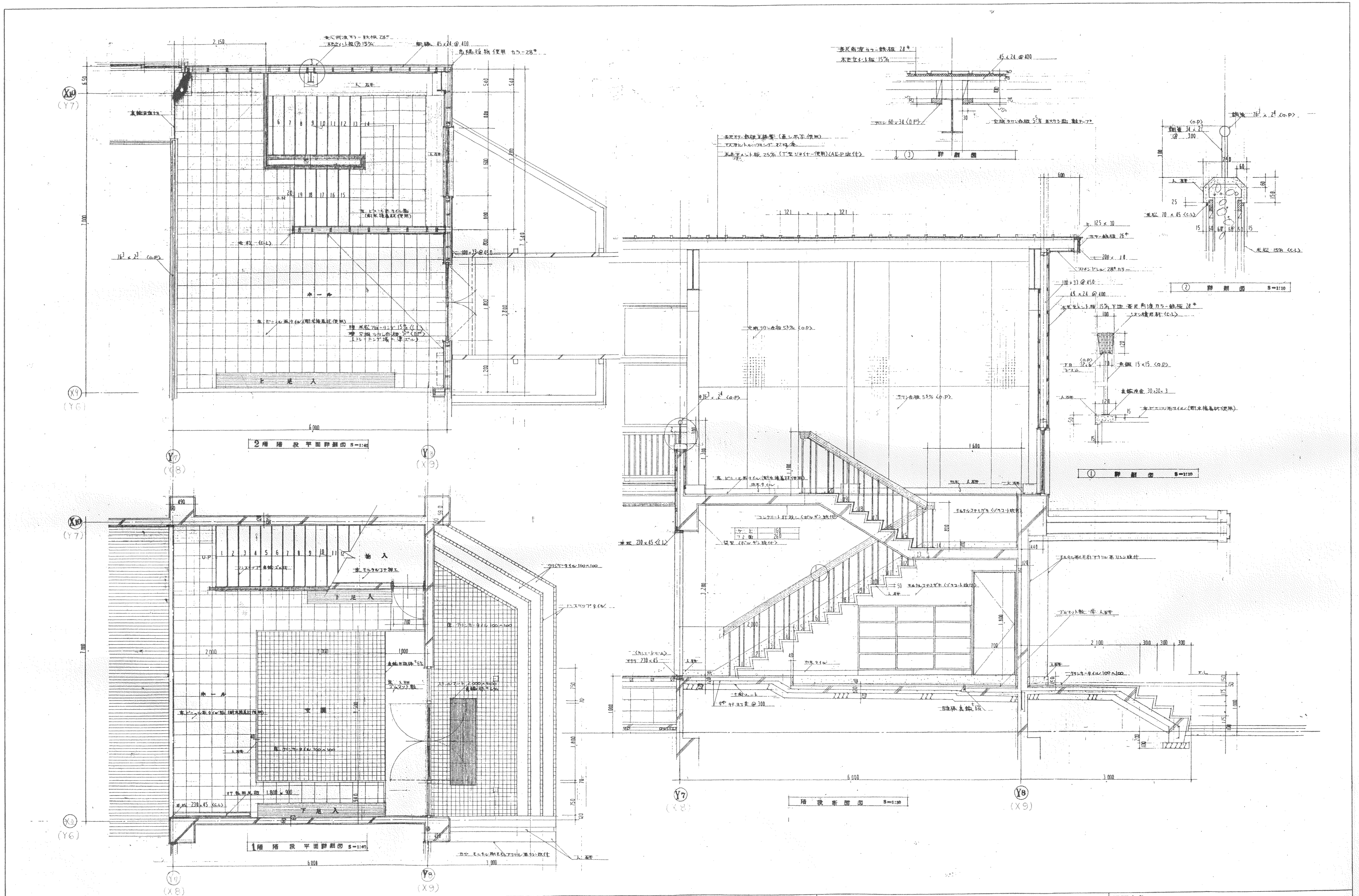


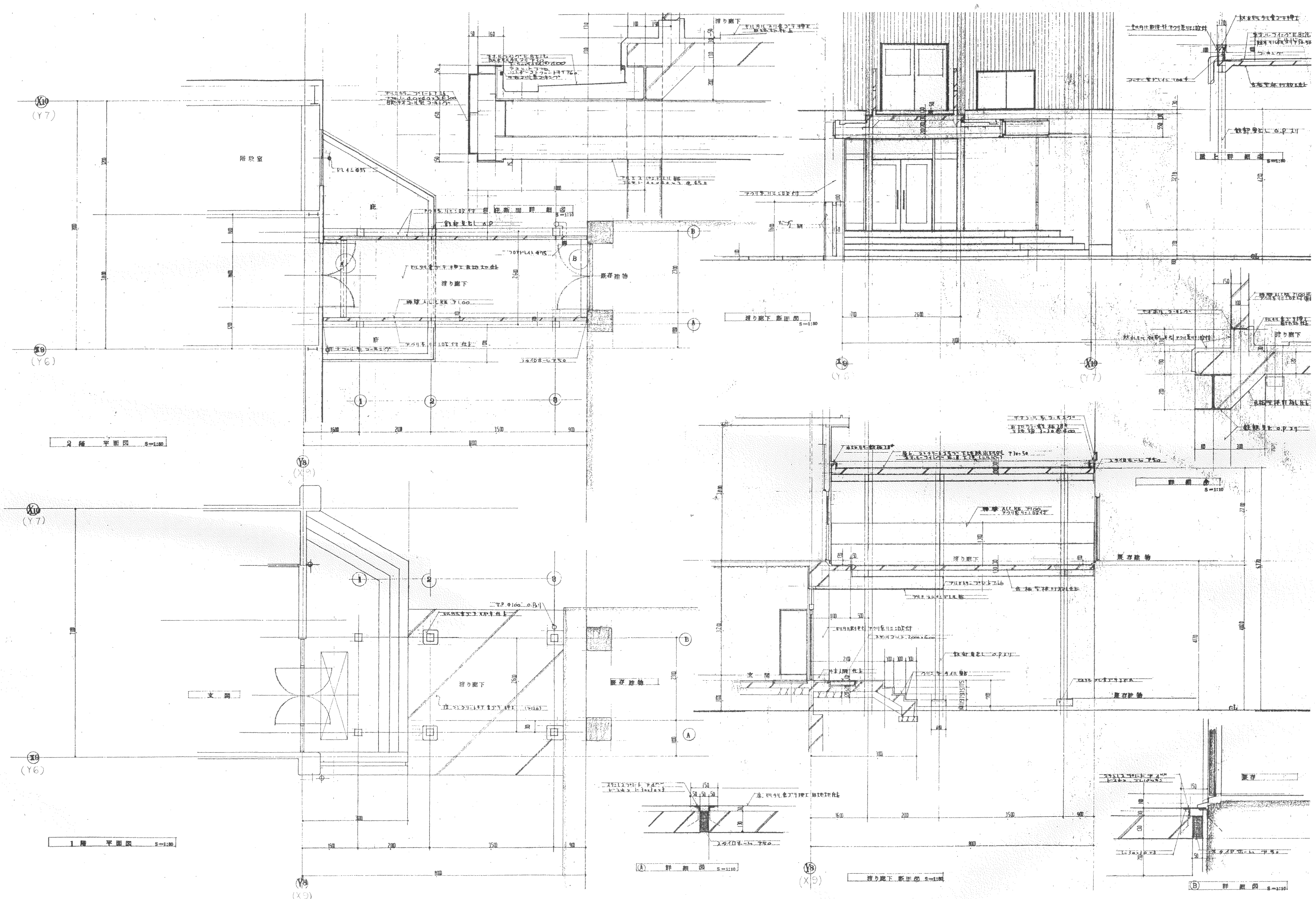
仕上表	
①	床面仕上げ（床板）
②	床面仕上げ（床板）
③	床面仕上げ（床板）
④	床面仕上げ（床板）
⑤	床面仕上げ（床板）
⑥	床面仕上げ（床板）
⑦	床面仕上げ（床板）
⑧	床面仕上げ（床板）
⑨	床面仕上げ（床板）
⑩	床面仕上げ（床板）
⑪	床面仕上げ（床板）

備考	平成11年度春野町立春野中学校体育館 大規模改修及び耐震補強	工事設計図	三建設計有限公司 高知市 葛島 2-2-2 一級建築士第62562	登録高-6号 TEL 83-1761 公文簿視	図面名称		NO. 参 2
					縮尺	年 月 日 担当	

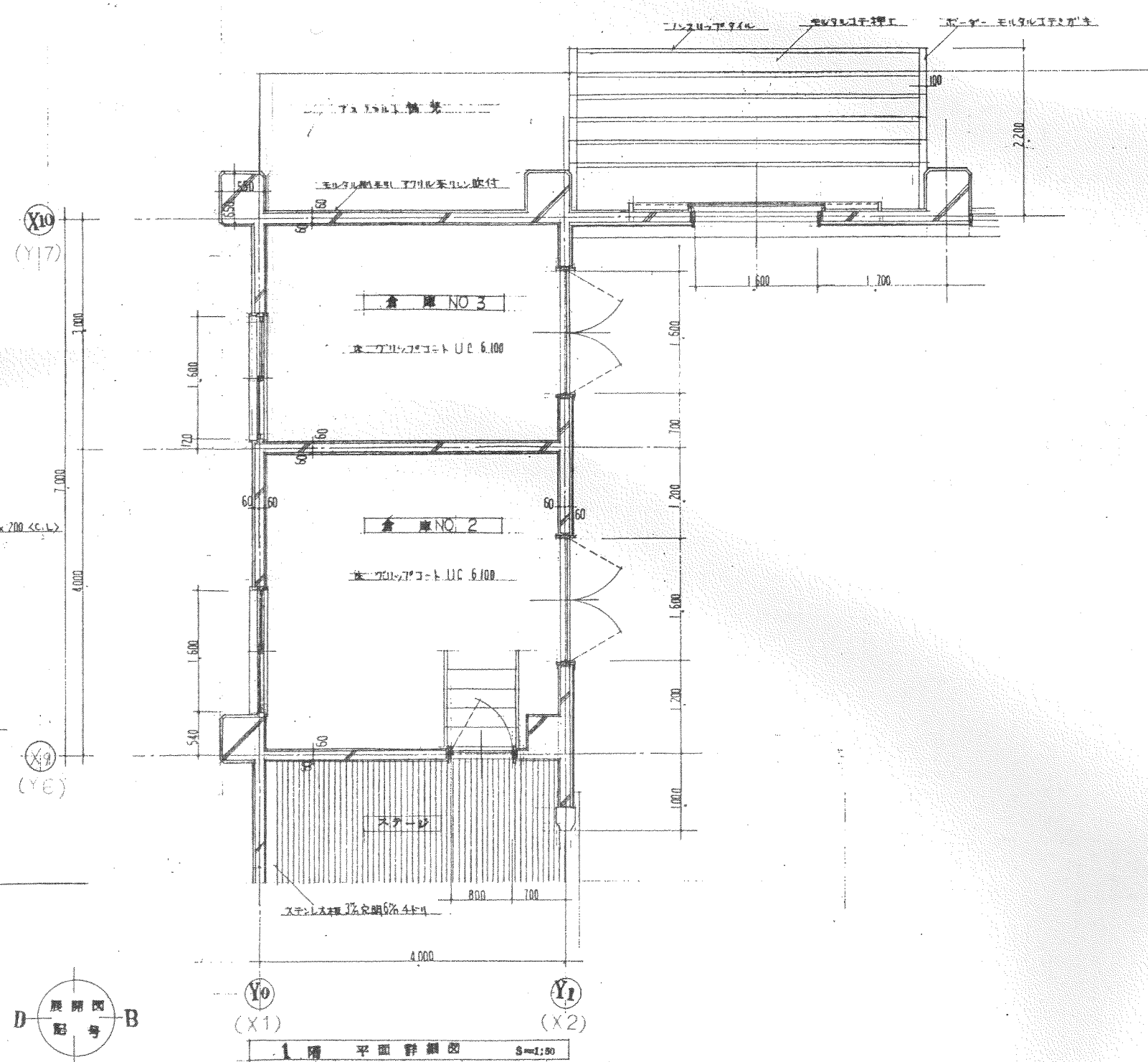
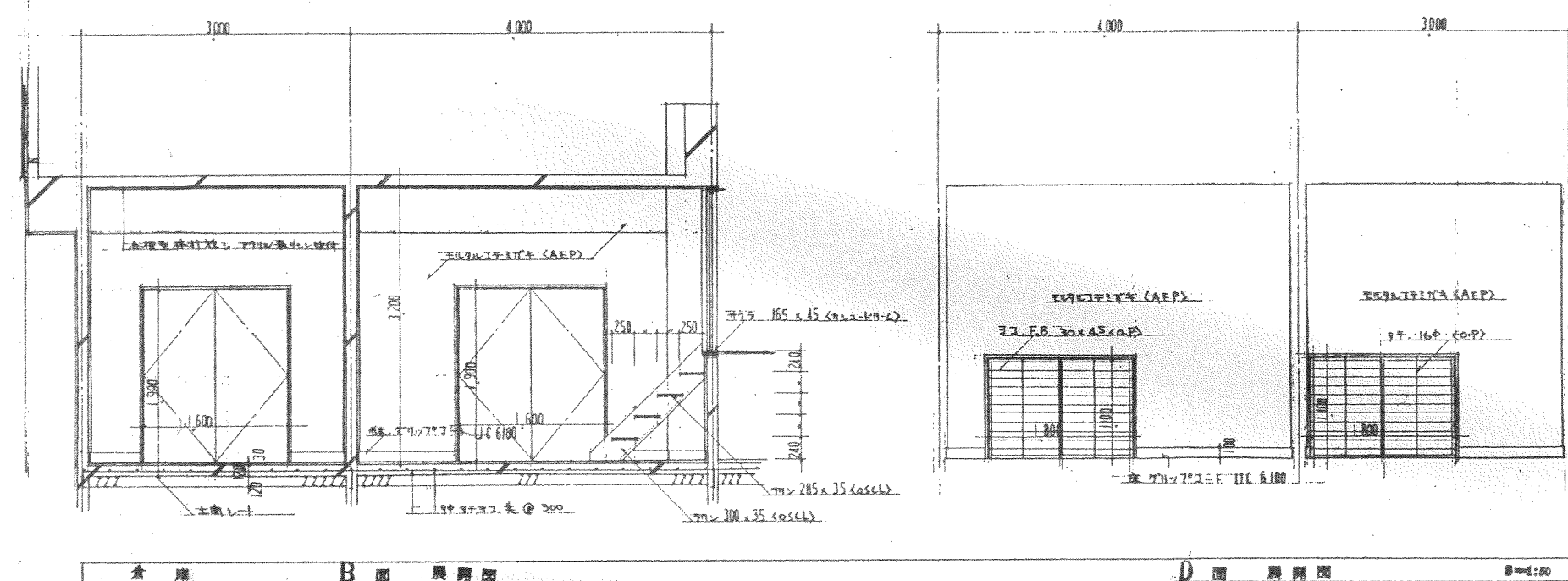
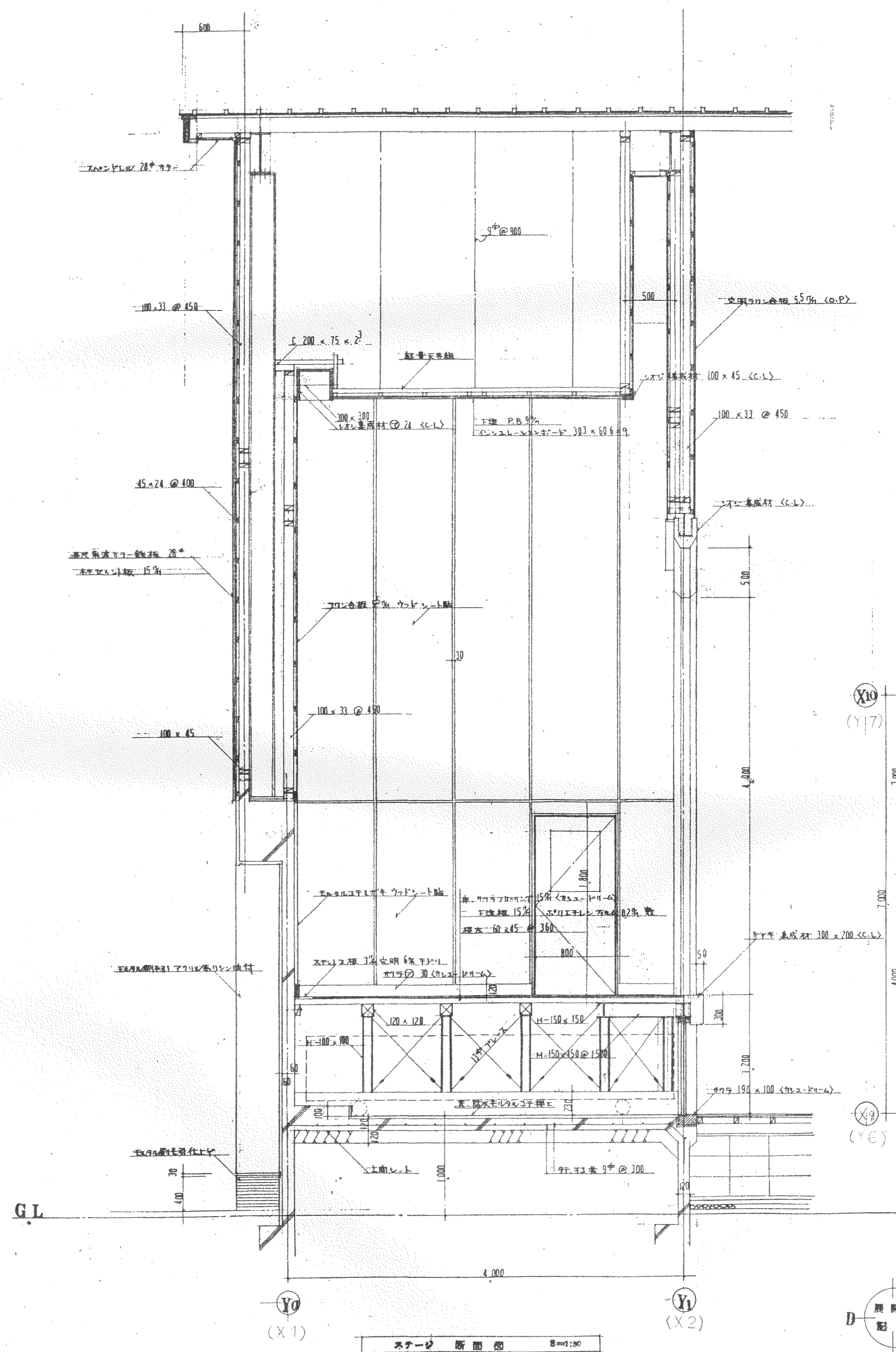


備考	平成11年度春野町立春野中学校体育館 大規模改修及び耐震補強	三建設計有限公司 登録高-6号	図面名称
	工事設計図	高知市葛島2-2-2 一級建築士第62562	図尺
		TEL 83-1761 公文洋規	年 月 日 担当 製図 NO. 参 4

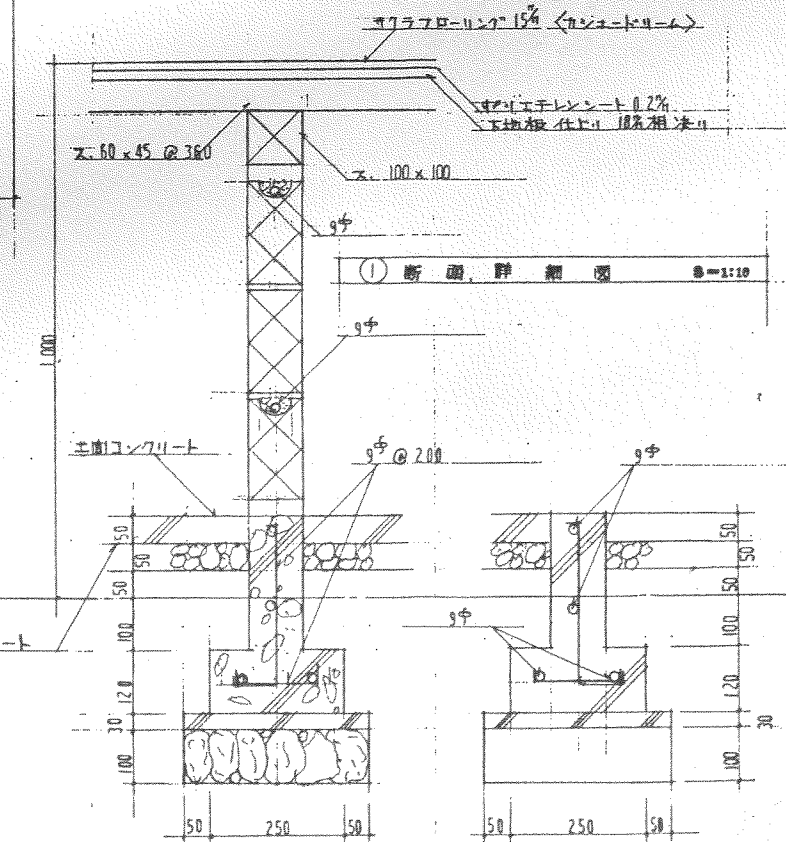
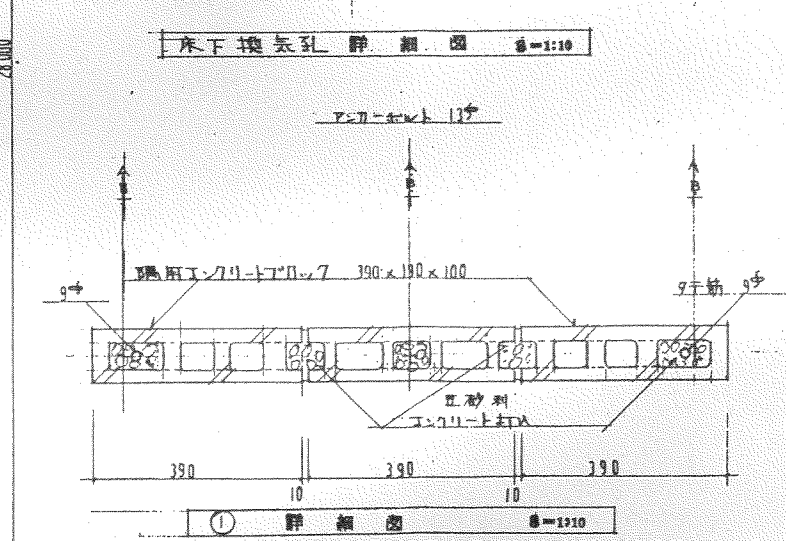
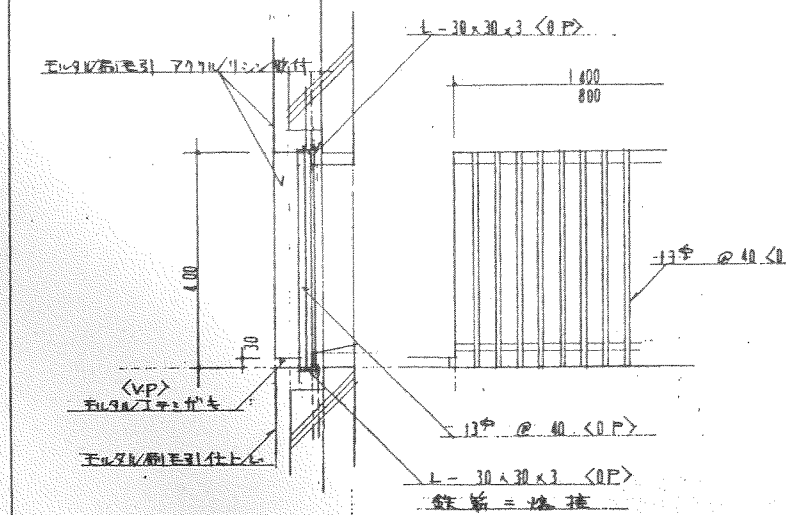
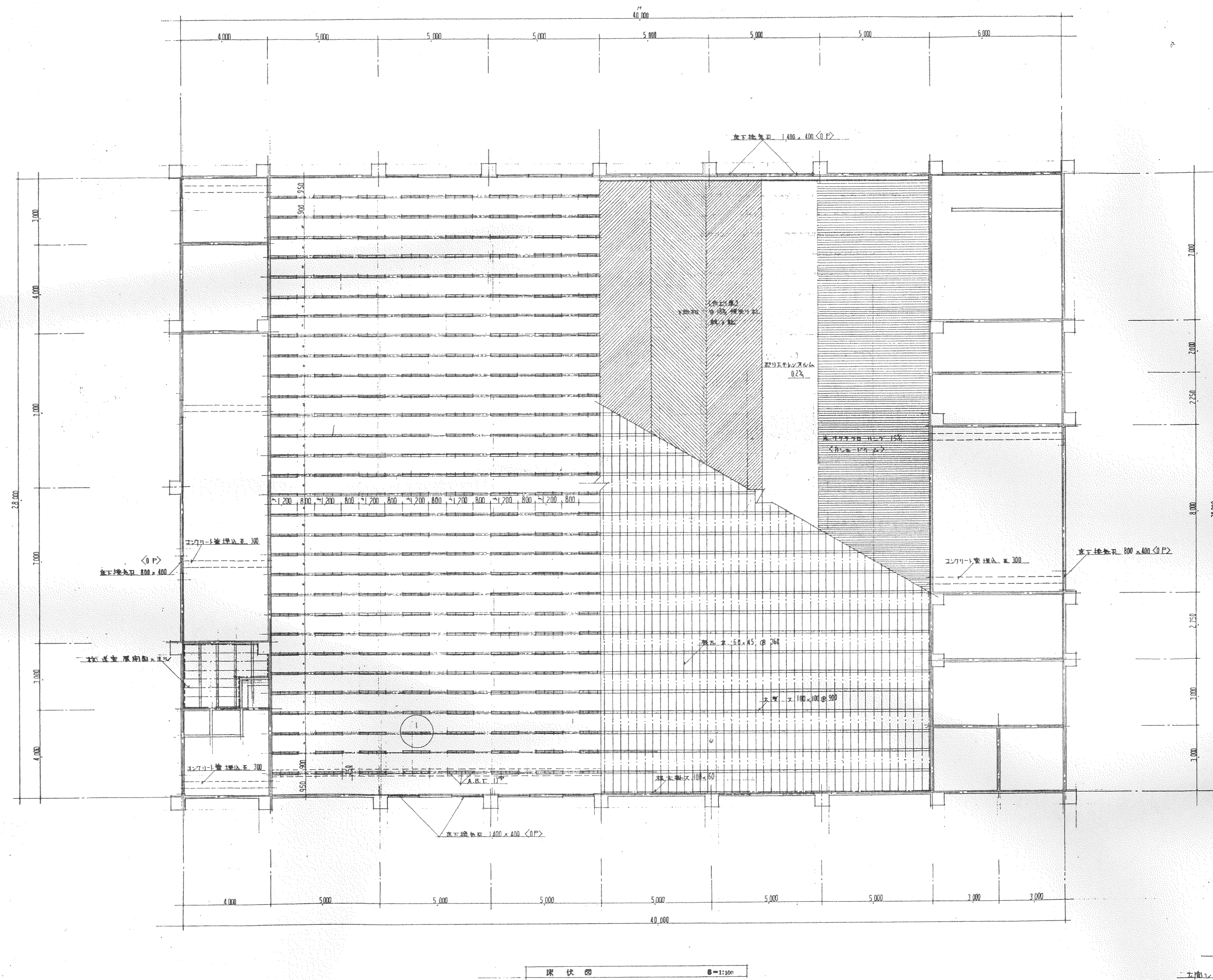




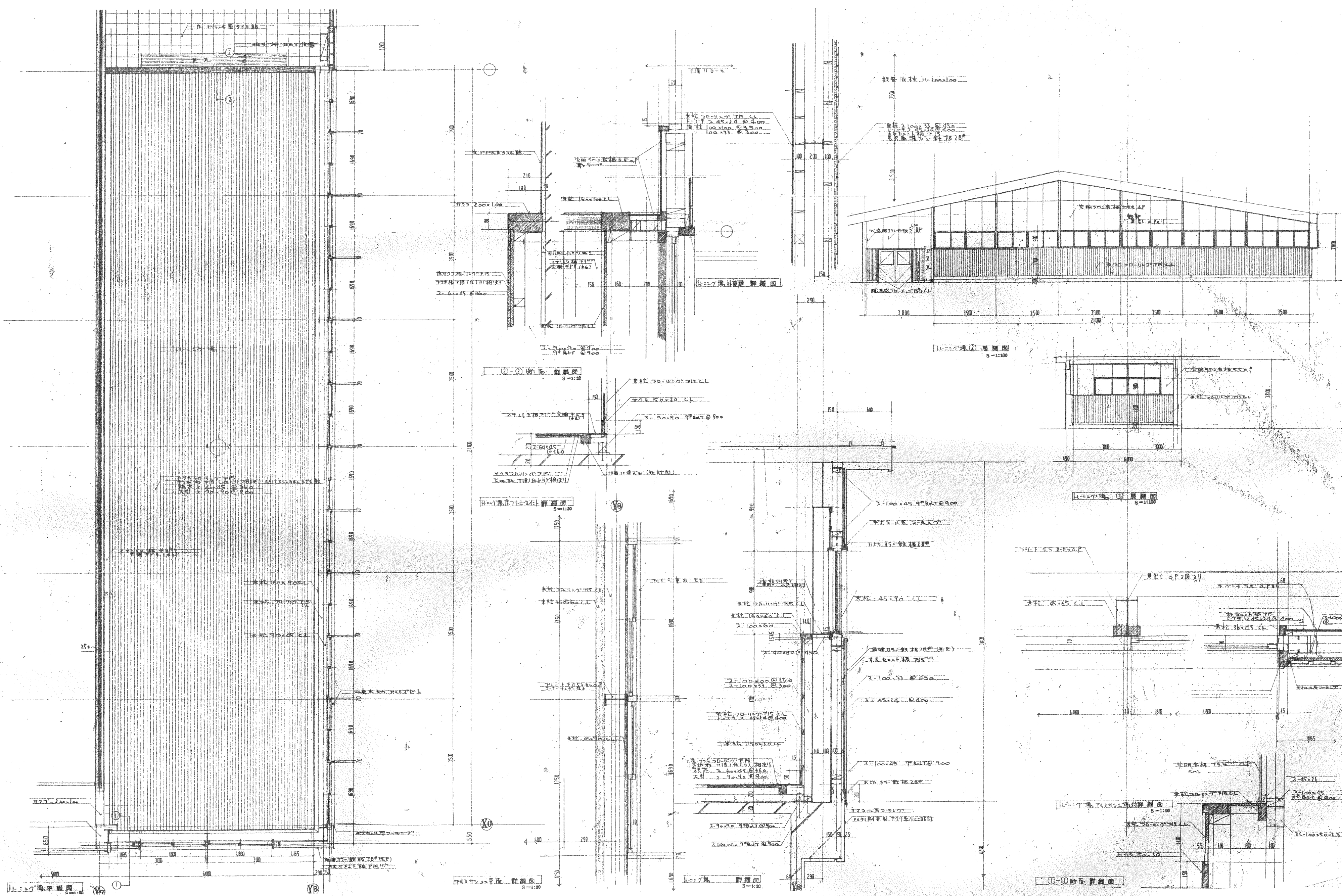
備考	平成11年度春野町立春野中学校体育館 大規模改修及び耐震補強	三建設計有限会社 高知市葛島2-2-2 一級建築士第62562	登録高-6号 TEL 83-1761 公文 淳 視	図面名称
	工事設計図		縮尺 年月日 担当 製図	NO. 巻 6



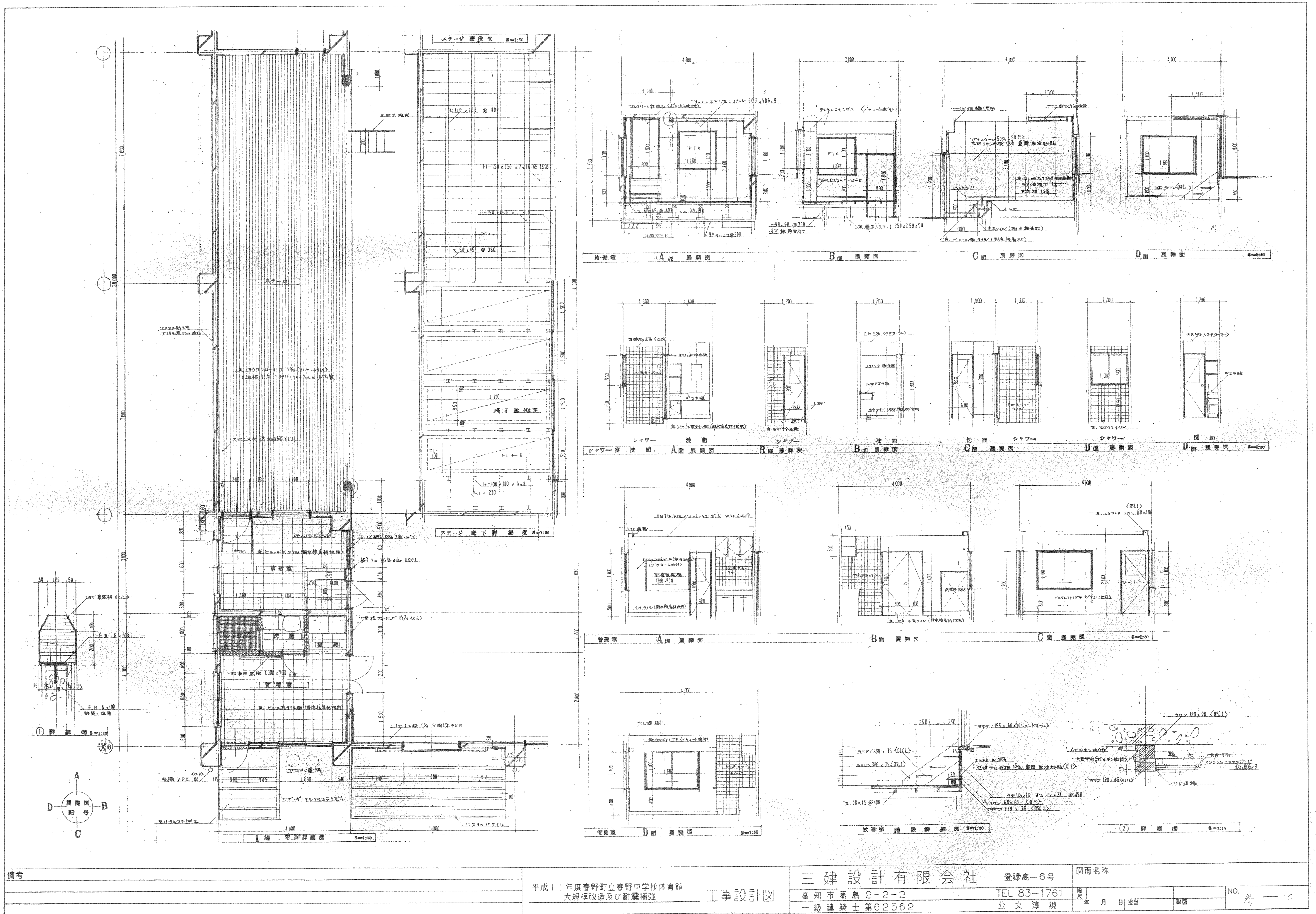
備考	平成11年度春野町立春野中学校体育館 大規模改造及び耐震補強	工事設計図	三 建 設 計 有 限 会 社		登録高-6号		図面名称		
			高 知 市 葛 島 2-2-2	TEL 83-1761	種 別		NO.	41 チ	— 7
			一 級 建 築 士 第 62562	公 文 津 規	年 月 日 担 当	図 面			

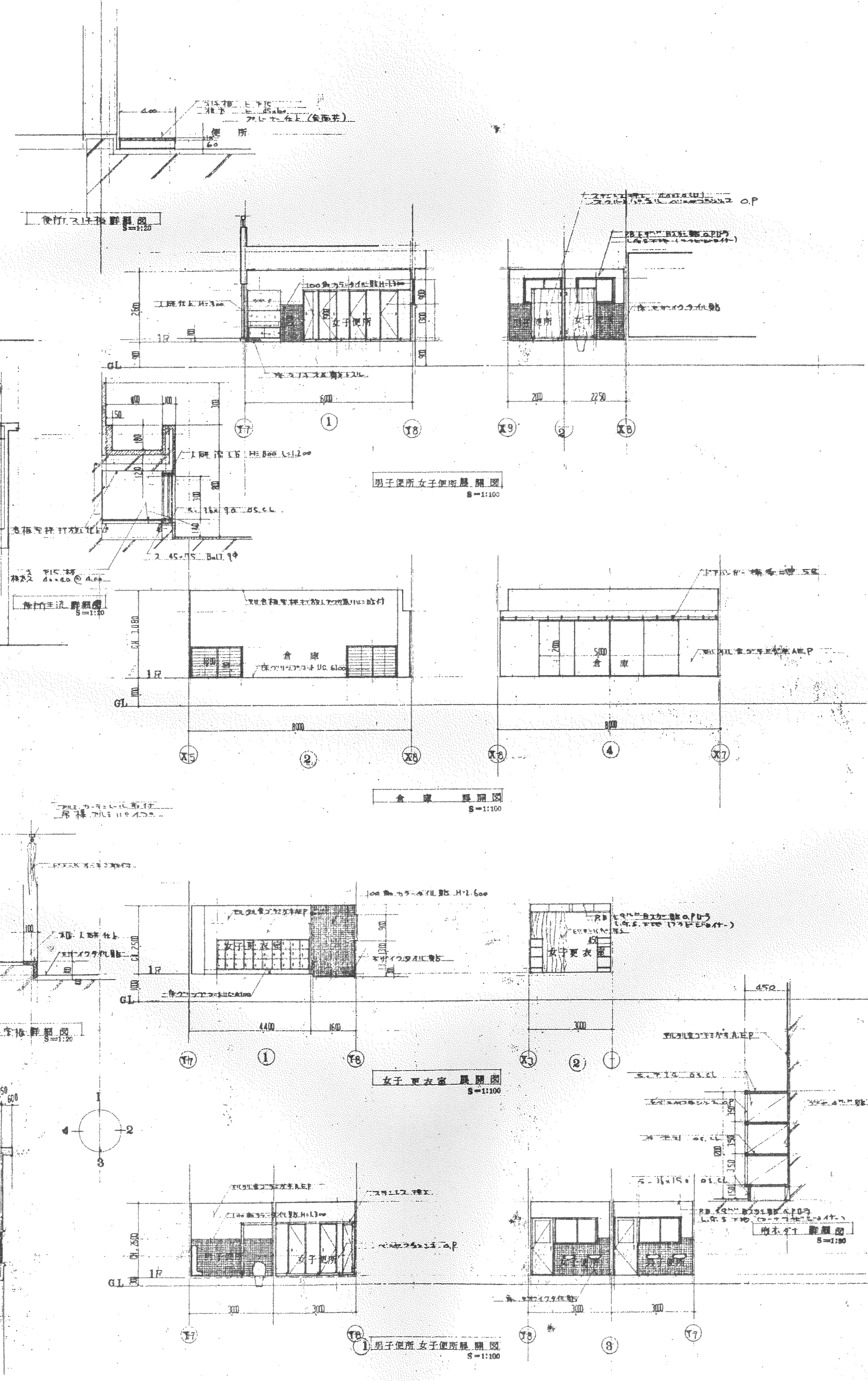
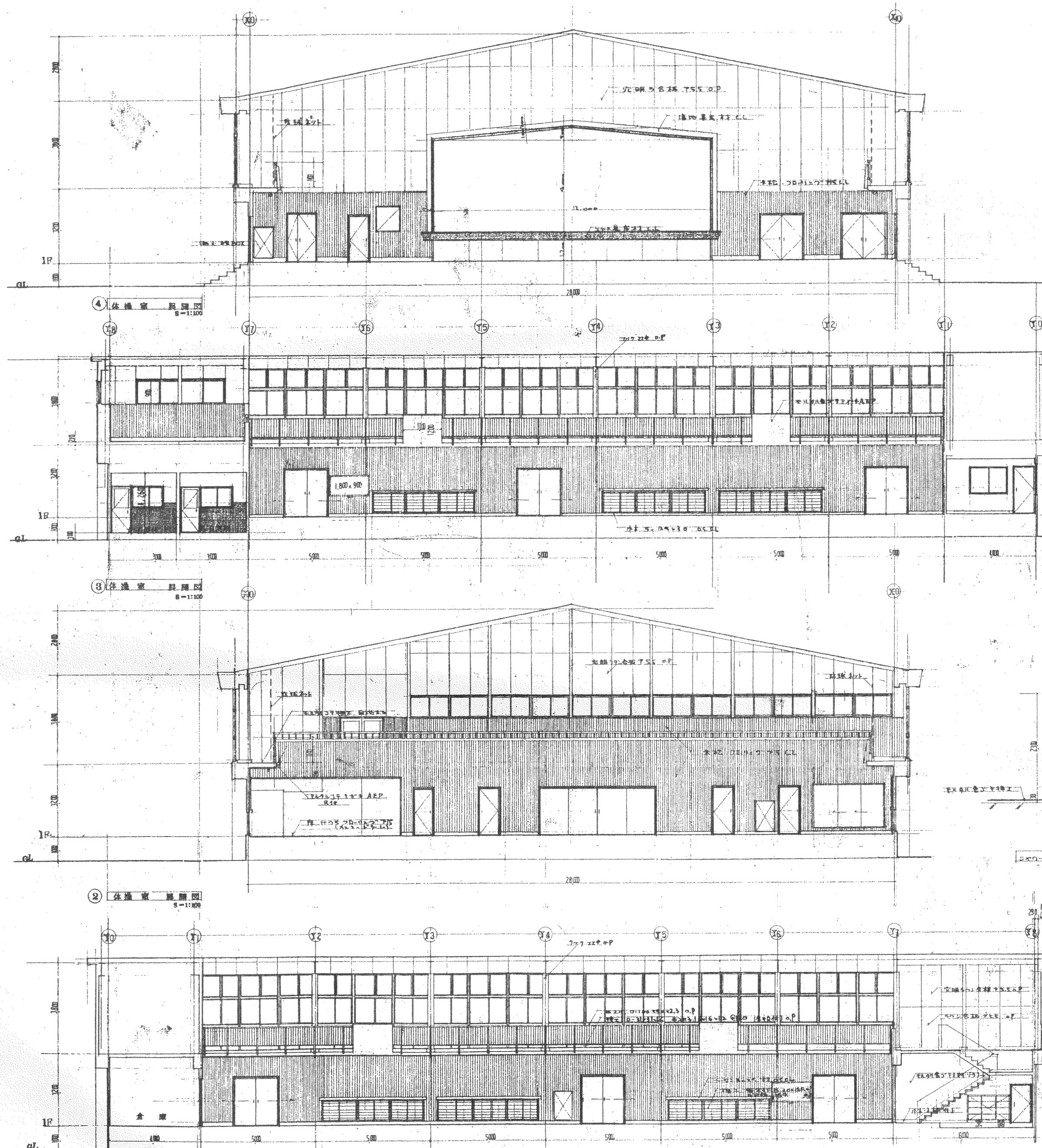


備考	平成11年度春野町立春野中学校体育館 大規模改造及び耐震補強	工事設計図	三建設計有限公司 登録高-6号		図面名称		
高知市 葛島 2-2-2			TEL 83-1761	縮尺		NO.	— 9
一級建築士第62562			公文 淳規	年 月 日 担当	製図		

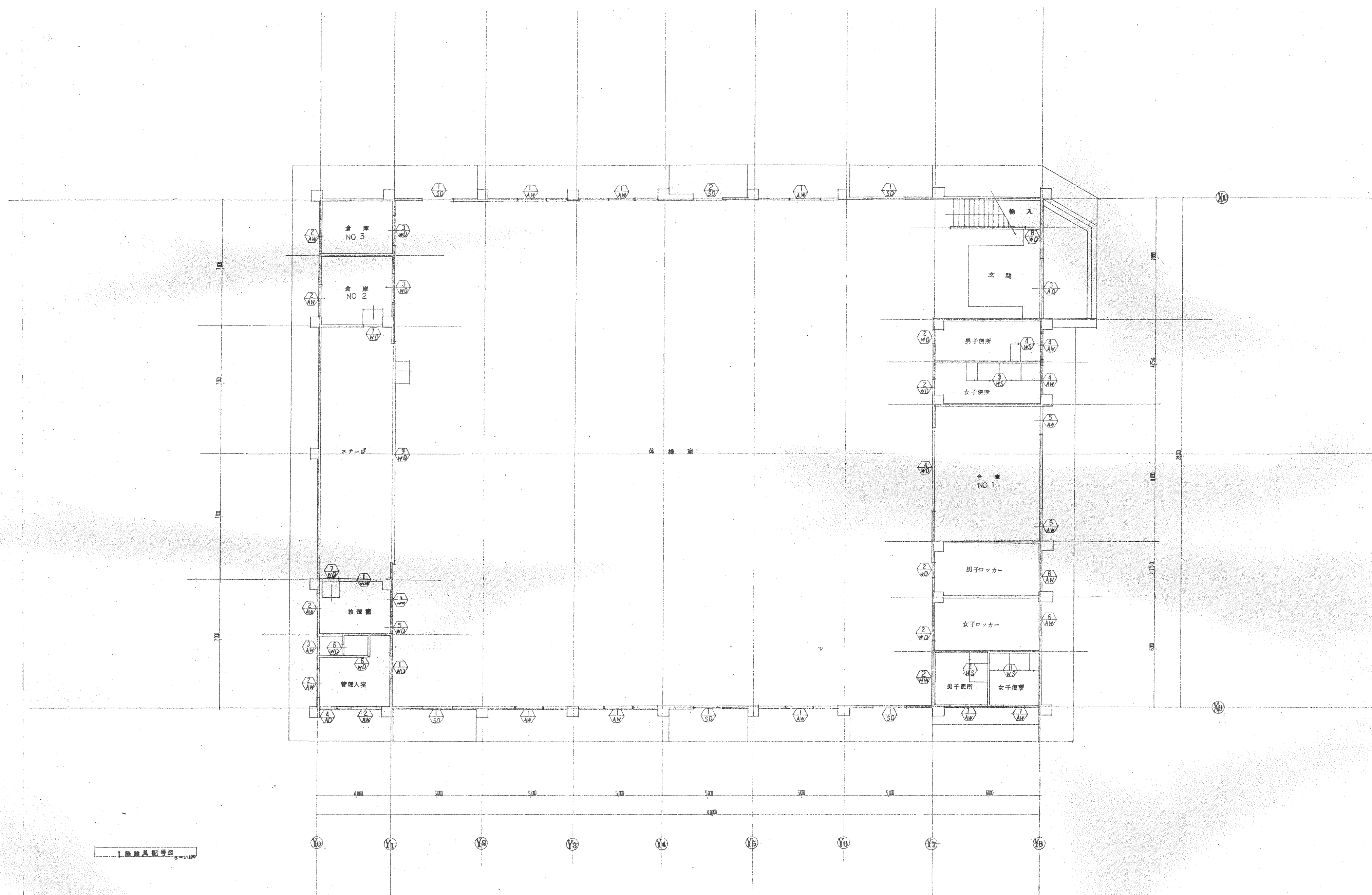


備考	平成11年度春野町立春野中学校体育館 大規模改修及び耐震補強	三建設計有限公司 登録高-6号	図面名称
	工事設計図	高知市葛島2-2-2 一級建築士第62562	TEL 83-1761 公文淳視
		年 月 日 通当	NO. 2-9



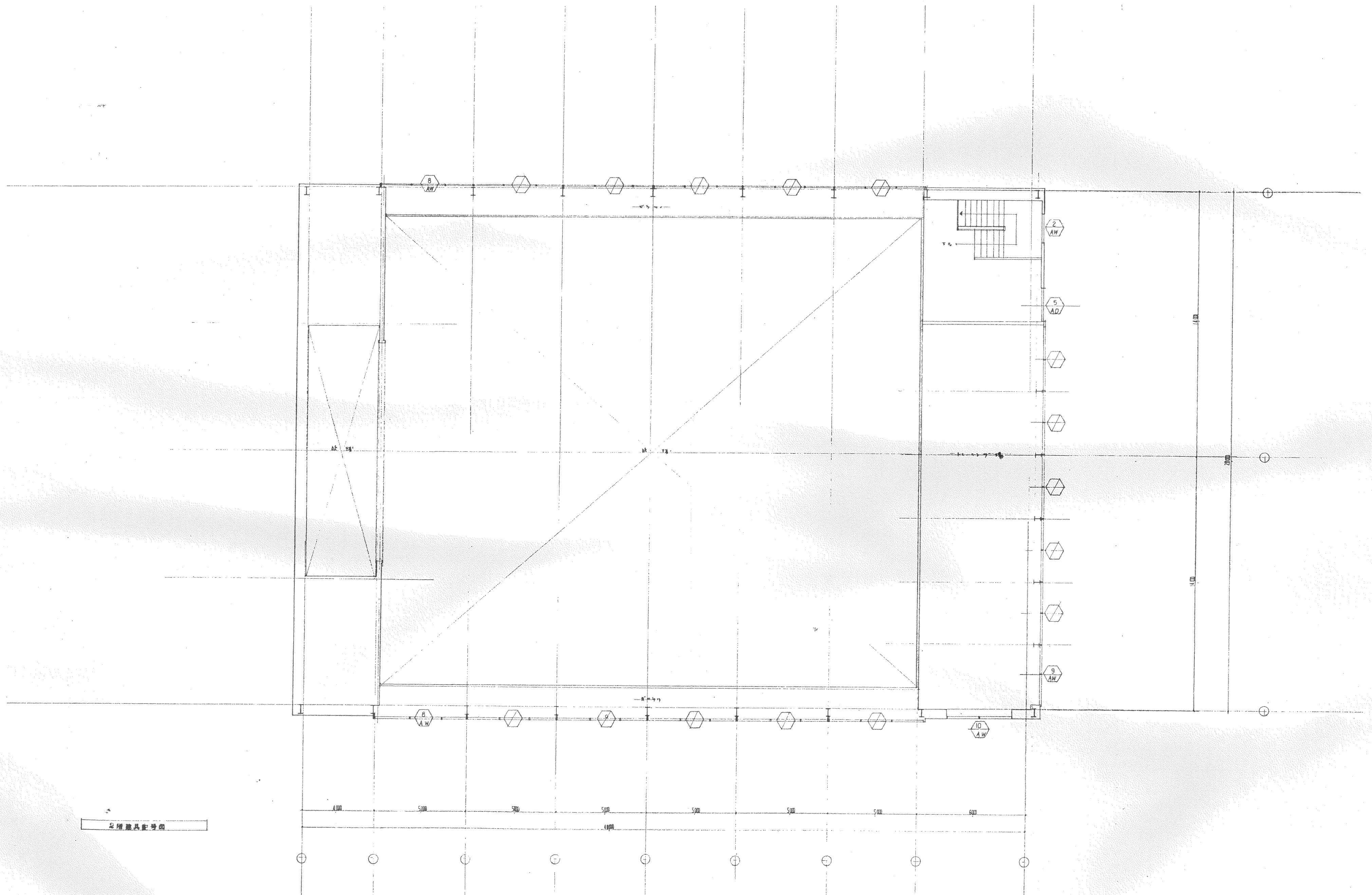


備考	平成11年度春野町立春野中学校体育館 大規模改造及び耐震補強	三建設計有限公司 登録高-6号	図面名称
	工事設計図	高知市基島2-2-2 一級建築士第62562	NO. 11
		TEL 83-1761 公文 津 視	年 月 日 担当 製図



1 階建具配置図 5=1:100

備考	平成11年度春野町立春野中学校体育館 大規模改造及び耐震補強	三建設計有限会社	登録高-6号	図面名称
	工事設計図	高知市 葛島 2-2-2	TEL 83-1761	縮尺 年 月 日 担当 製図 NO. 12
		一級建築士第62562	公文 淳 視	



2階建具配分図

備考

平成11年度春野町立春野中学校体育館
大規模改修及び耐震補強

工事設計図

三建設計有限会社

登録高-6号

高知市葛島2-2-2
一級建築士第62562

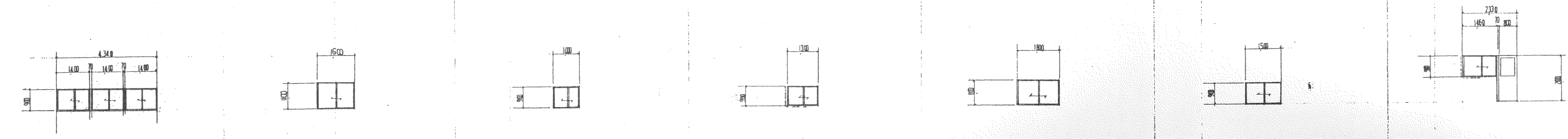
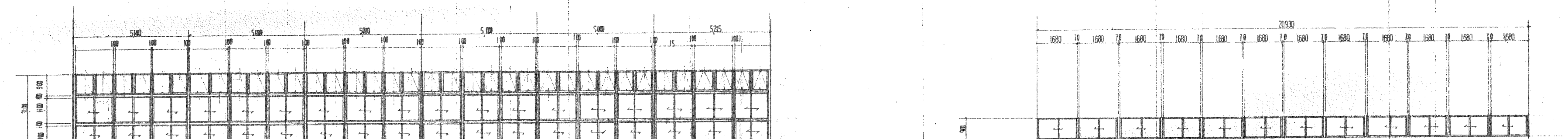
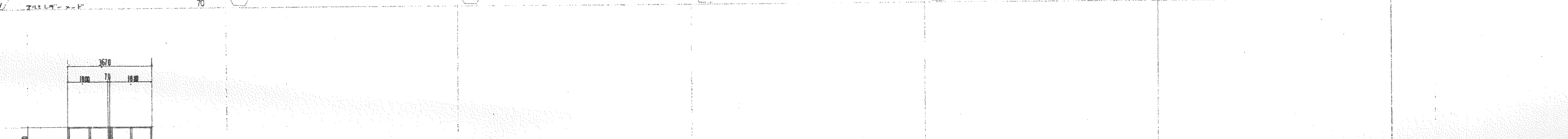
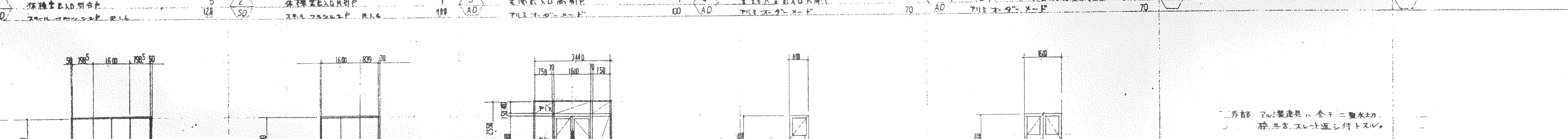
TEL 83-1761
公文簿視

図面名称

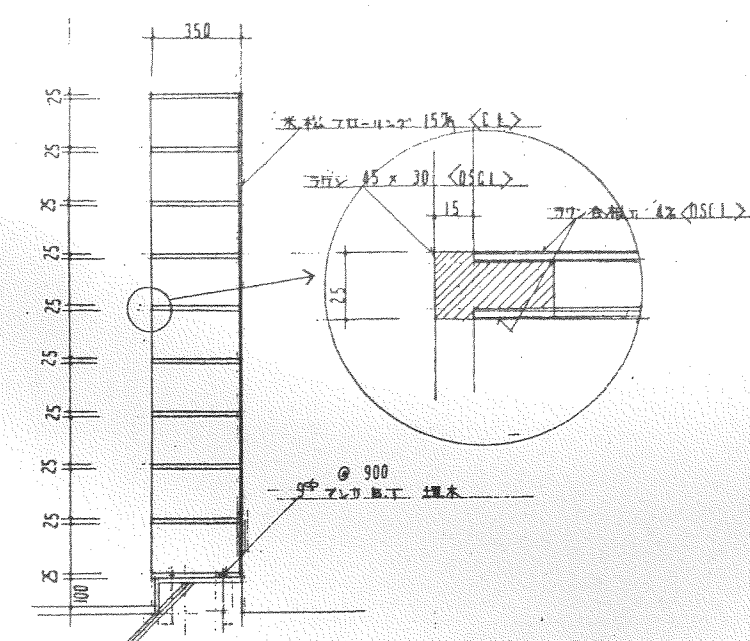
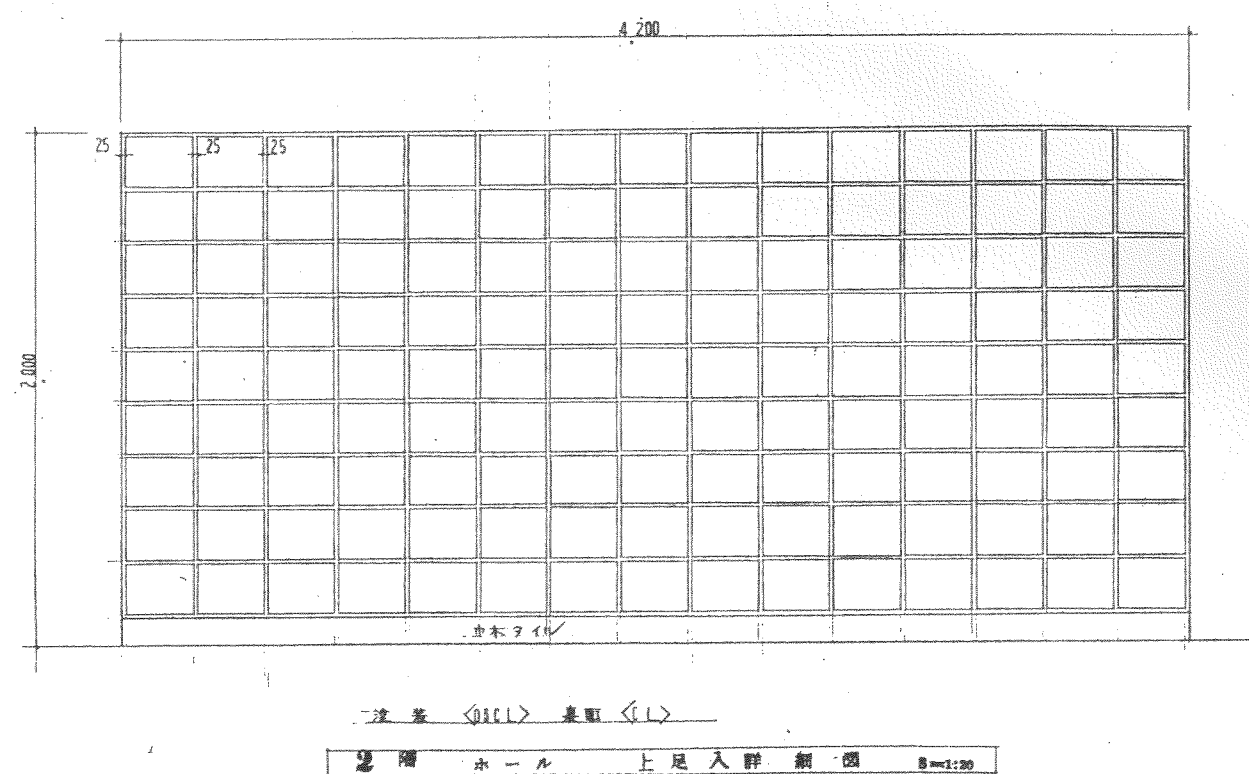
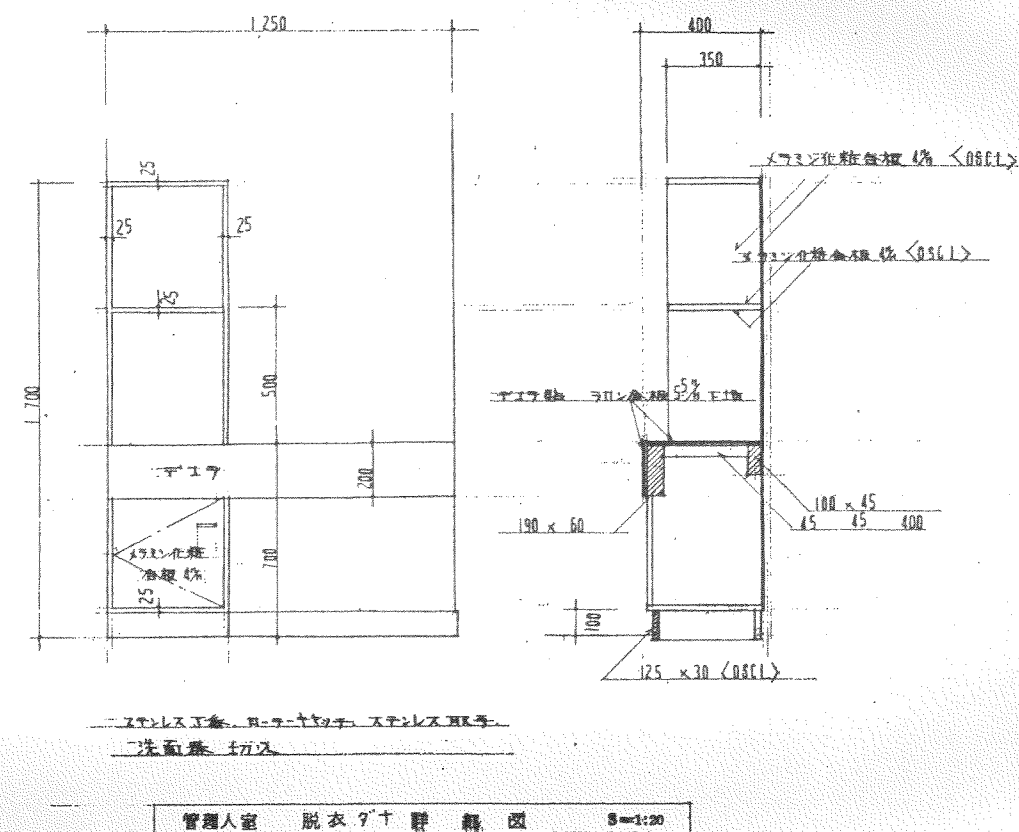
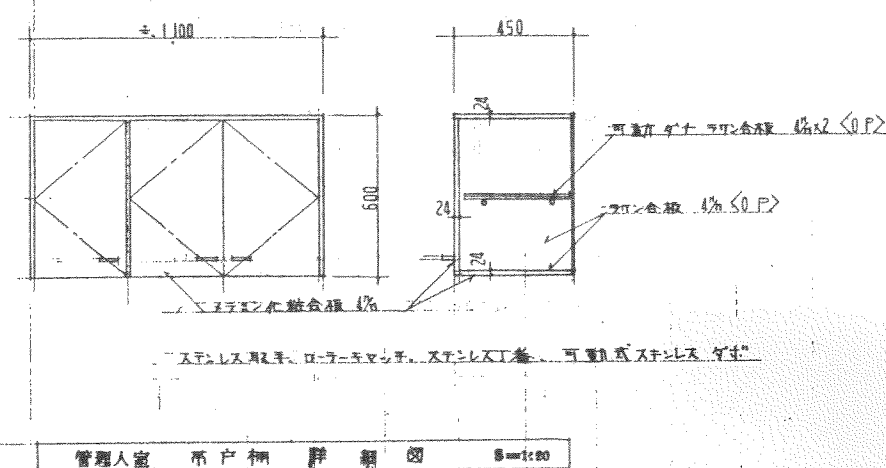
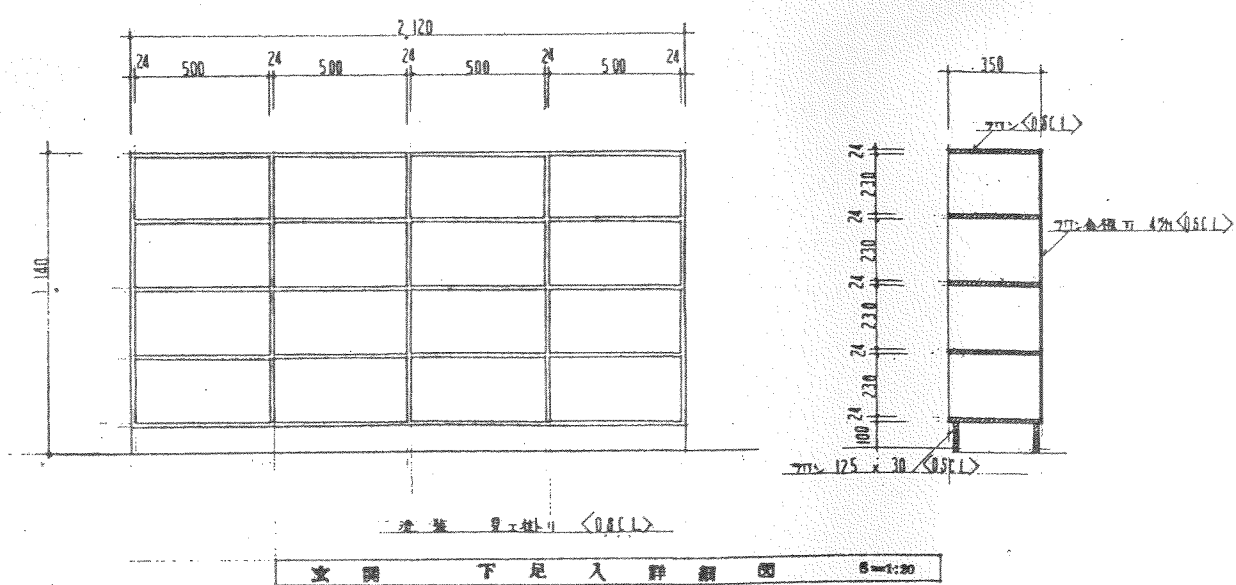
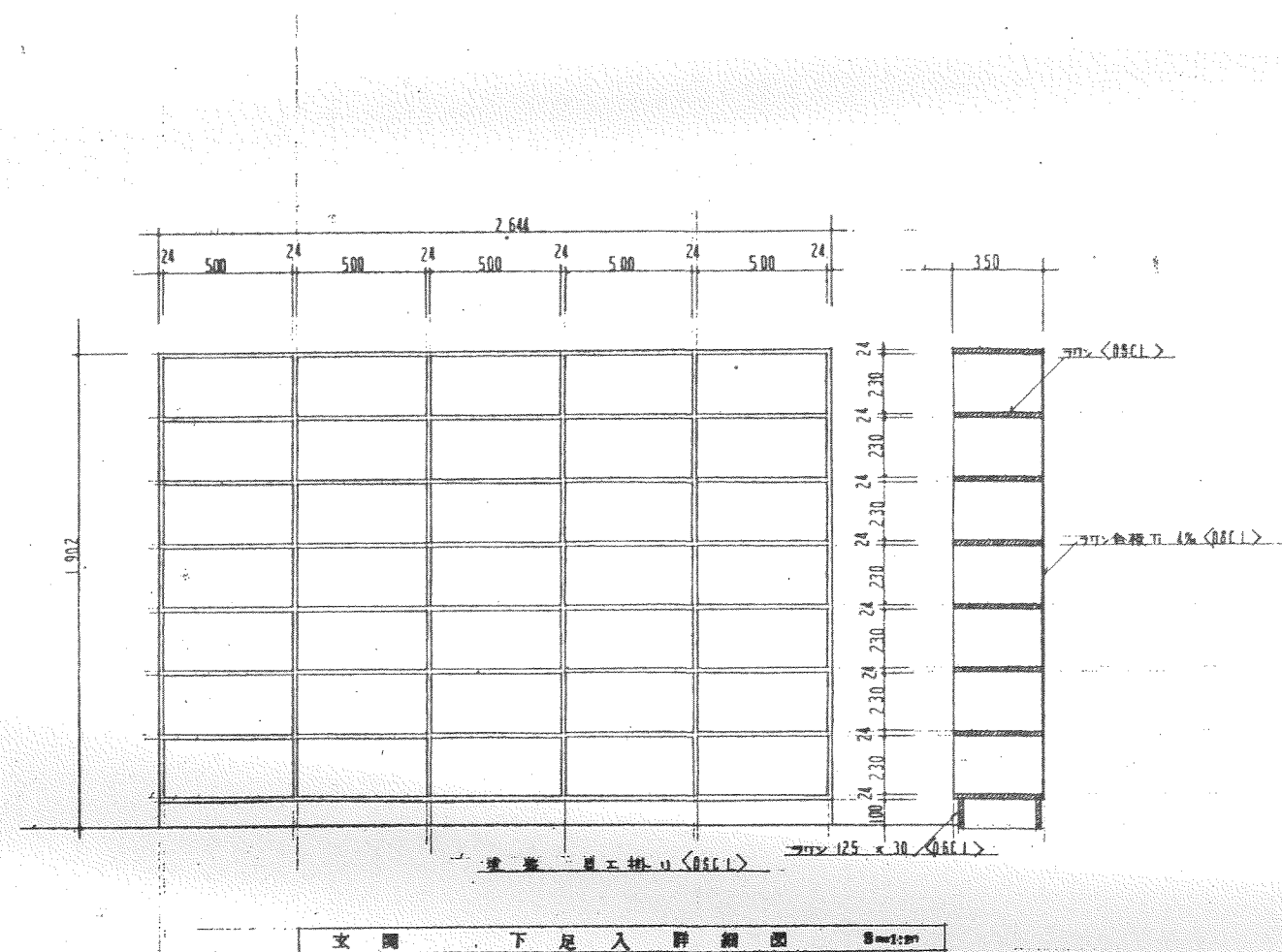
縮尺
年 月 日 相当

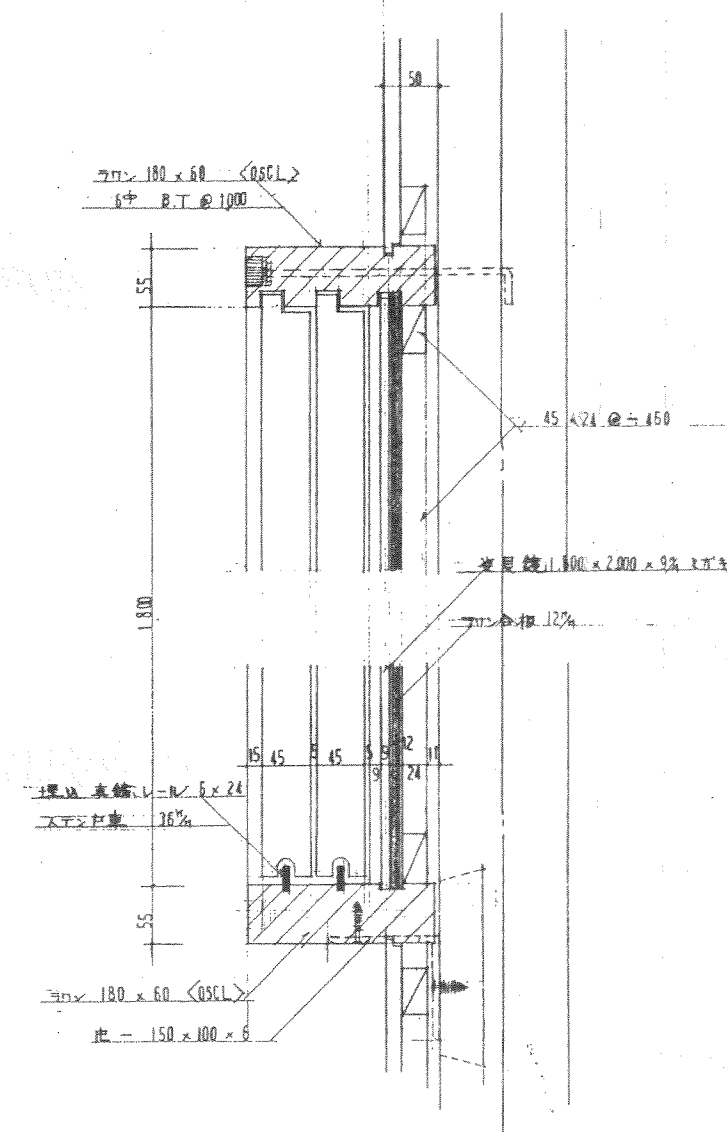
製図

NO. 13

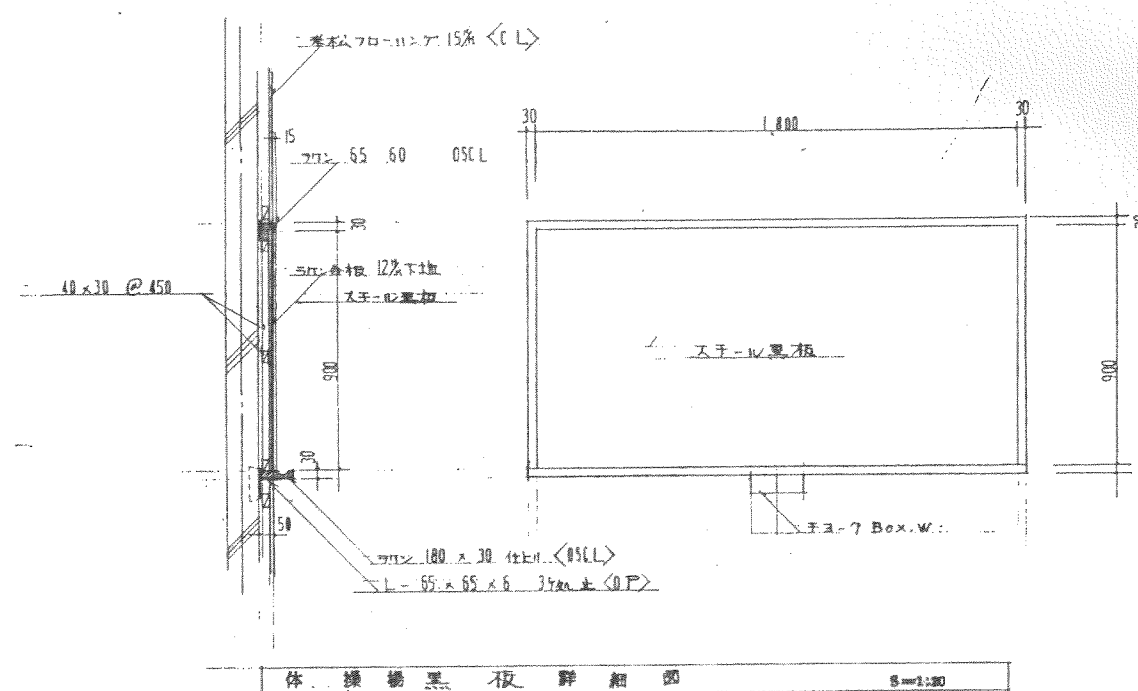
⑤	材質	見	①	AW	保線室用窓	70	②	AW	客用入室用窓(客用室)	70	③	AW	客用入室用窓(客用室)	70	④	AW	客用入室用窓(客用室)	70	⑤	AW	客用入室用窓(客用室)	70	⑥	AW	客用入室用窓(客用室)	70	⑦	AW	客用入室用窓(客用室)	70	⑧	AW	客用入室用窓(客用室)	70
	形状寸法																																	
	金物	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿																																
	ガラス	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿																																
⑥	材質	見	⑧	AW	保線室用窓	2	⑨	AW	客用入室用窓(客用室)	100	⑩	AW	客用入室用窓(客用室)	70	⑪	AW	客用入室用窓(客用室)	70	⑫	AW	客用入室用窓(客用室)	70	⑬	AW	客用入室用窓(客用室)	70	⑭	AW	客用入室用窓(客用室)	70	⑮	AW	客用入室用窓(客用室)	70
	形状寸法																																	
	金物	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿																																
	ガラス	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿																																
⑦	材質	見	⑩	AW	保線室用窓	70	⑪	AW	客用入室用窓(客用室)	70	⑫	AW	客用入室用窓(客用室)	70	⑬	AW	客用入室用窓(客用室)	70	⑭	AW	客用入室用窓(客用室)	70	⑮	AW	客用入室用窓(客用室)	70	⑯	AW	客用入室用窓(客用室)	70	⑰	AW	客用入室用窓(客用室)	70
	形状寸法																																	
	金物	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿																																
	ガラス	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿																																
⑧	材質	見	⑪	SD	保線室用窓	5	⑫	SD	客用入室用窓(客用室)	128	⑬	SD	客用入室用窓(客用室)	128	⑭	SD	客用入室用窓(客用室)	128	⑮	SD	客用入室用窓(客用室)	128	⑯	SD	客用入室用窓(客用室)	128	⑰	SD	客用入室用窓(客用室)	128	⑱	SD	客用入室用窓(客用室)	128
	形状寸法																																	
	金物	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿																																
	ガラス	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿																																

外部 2階建 全タテ窓水切。
窓、スリット窓、付トラス。





断面詳細図 1:5



体操楊黑板詳細図	3冊1:20
----------	--------

NO. $\frac{4}{12}$ — 17

1. 工事場所

2. 工事種目

1) 項目は、番号に○印のついたものを適用する。
2) 特記事項のうち選択する事項は○印のついたものを適用する。ただし、○印のない場合は※印を適用する。

三建設計有限会社

機 材 名	メーカー名	機 材 名	メーカー名	機 材 名	メーカー名	機 材 名	メーカー名	機 材 名	メーカー名
電線管類・同付属品	JIS マーク表示品	換 気 扇	㈱日立製作所 松下電器産業㈱ 三菱電機㈱ 東芝ライテック㈱	電磁開閉器類 JISC8325（交流電磁開閉器） JEM1038（交流電磁接触器） に適合するもの	㈱東芝 ㈱戸上電機製作所 ㈱日立製作所 富士電機製造㈱ 松下電工㈱ 三菱電機㈱ ㈱明電舎	非常警報装置（非常ベル）	非常警報設備認定業務 委員会の認定証票が貼 付されたもの	舞台照明装置	㈱松村電機製作所 R D S ㈱ 松下電工㈱ 丸茂電機㈱
IV電線・VVケーブル	JIS マーク表示品					火災報知装置	日本消防検定協会の検 定合格証票を貼付され たもの		
CV・CVVケーブル	河村電線工業㈱ 京三電線㈱ 昭和電線電纜㈱ 住友電気工業㈱ 大電 ㈱ 大日本電線㈱ タツタ電線㈱ ㈱帝国電線製造所 東日電線㈱ 西日本電線㈱ 日立電線㈱ 藤倉電線㈱ 古河電気工業㈱ 矢崎総業㈱ ㈱河合電線製造所	指示電気計器 JISC1102（指示電気計器） JISC1103（配電盤用指示電気計器寸法）に適合す るもの	JIS マーク表示品			テレビ共聴機器	D X アンテナ㈱ 東芝ライテック㈱ 松下電器産業㈱ マスプロ電工㈱ 八木アンテナ㈱	音響・映像装置	松下通信工業㈱ 松下電器産業㈱ T O A ㈱ ソ ニ ー ㈱ ヤマハ ㈱ パイオニア ㈱ 日本ビクター ㈱
		保護継電器	立石電機㈱ ㈱東芝 日新電機㈱ 光商工 ㈱ ㈱日立製作所 富士電機製造㈱ 三菱電機㈱ ㈱明電舎						
		水位継電器	春日電機㈱ 立石電機㈱ ㈱日立製作所 松下電工㈱ 三菱電機㈱						
通信ケーブル	沖電線 ㈱ 京三電線 ㈱ 昭和電線電纜 ㈱ 住友電気工業 ㈱ 大電 ㈱ 大日本電線 ㈱ タツタ電線 ㈱ ㈱帝国電線製造所 東日電線 ㈱ 西日本電線 ㈱ 日立電線 ㈱ 藤倉電線 ㈱ 古河電気工業 ㈱ 矢崎総業 ㈱	高圧交流遮断器 電圧7.2KVにおいて遮断電流28KA以下のもの JISC4603（高圧交流遮断器） JEC-181（交流遮断器） に適合するもの	㈱東芝 日新電機 ㈱ ㈱日立製作所 富士電機製造 ㈱ 三菱電機 ㈱ ㈱明電舎	高圧用変圧器 JISC4304（配電用6KV油入変圧器） JBC204（変圧器） に適合するもの	大阪変圧器 ㈱ 四国変圧器 ㈱ ㈱東芝 ㈱日立製作所 富士電機製造 ㈱ 松下電器産業 ㈱ 三菱電機 ㈱ ㈱愛知電機工作所 ㈱明電舎 利昌工業 ㈱	ハンドホール蓋	二宮産業 ㈱ 福西鋳物 ㈱ 長谷川鋳工所 ㈱ 大阪ドレネジ工業 ㈱ 第一機材 ㈱ カネソウ ㈱ ㈱小島製作所		
		高圧交流遮断器 電圧7.2KVにおいて遮断電流12.5KA以下のもの JISC4603（高圧交流遮断器）に適合するもの	㈱愛知電機工作所 川崎電気 ㈱ ㈱正興電機製作所	自家発電装置 付属する配電盤を含む	日本内燃力発電設備協 会の認定証票が貼付さ れたもの	避雷針	大阪避雷針工業 ㈱ 東京避雷針工業 ㈱ 日本避雷針工業 ㈱		
		高圧交流遮断器 電圧7.2KVにおいて遮断電流12.5KA以下のもの JISC4603（高圧交流遮断器）に適合するもの		消防用蓄電池設備	蓄電池設備認定委員会 の認定証票が貼付され たもの	インターホン・ナースコール	アイホン ㈱ ケアコム ㈱ 松下通信工業 ㈱ 東芝ライテック ㈱		
耐火・耐熱ケーブル	耐火・耐熱電線認定業 務委員会の認定を受け ている旨の表示をした もの	配線用遮断器 JISC8370（配線用遮断器）に適合するもの	寺崎電気産業 ㈱ 〇テンパール工業 ㈱ ㈱東芝 ㈱日幸電機製作所 ㈱日立製作所 富士電機製造 ㈱ 三菱電機 ㈱ 〇松下電工 ㈱	蓄電池・整流装置 消防用及び非常用照明器具に組み込みとなるもの以 外で電力及び通信設備に使用するもの	新神戸電機 ㈱ 日本電池 ㈱ 古河電池 ㈱ 松下電器産業 ㈱ 湯浅電池 ㈱	電話交換機	財電気通信端末機器審 査協会の認定品		
配線器具類	JIS マーク表示品	漏電遮断器 JISC8371（漏電遮断器）に適合するもの		放送装置（一般） 消防用以外のもの	東亜特殊電機 ㈱ 東芝ライテック ㈱ 日本ビクター ㈱ 松下通信工業 ㈱	ホーム分電盤	松下電工 ㈱ 東芝ライテック ㈱ 日東工業 ㈱ テンパール工業 ㈱ 河村電器産業 ㈱ ㈱内外電機製作所		
非常用照明器具	日本建築センターの防 災性能評定マークが貼 付されたもの			電気時計	㈱ティ・アイ・シー・シチズン ㈱服部時計店 松下電工 ㈱	盤 類	㈱伊藤電機製作所 共栄電機工業 ㈱ 光電設 ㈱		
誘導灯	誘導灯認定委員会の認 定証票が貼付されたも の	高圧限流ヒューズ JISC4604（高圧限流ヒューズ） JEM1348（高圧コンデンサー用ヒューズ） に適合するもの	エナジーサポート ㈱ ㈱東芝 富士電機製造 ㈱ 三菱電機 ㈱	自動閉鎖装置	日本建築センターの防 災性能評定マークが貼 付されたもの				
蛍光灯・白熱灯	JIS マーク表示品	高圧気中負荷開閉器 JISC4605（高圧交流負荷開閉器） JISC4607（引はずし装置付高圧交流負荷開閉器） に適合するもの	上記4社の外 ㈱大垣電機製作所 ㈱戸上電機製作所 ㈱弾電機製作所 日本高圧電気 ㈱ ㈱明電舎	非常放送装置	非常放送設備委員会の 合格証が貼付されたも の				
H I D灯	岩崎電気 ㈱ 東芝ライテック ㈱ 日立電池 ㈱ ㈱日立製作所 松下電工 ㈱ 三菱電機 ㈱								

電気設備機材指定表

平成11年度春野中学校大規模改造事業
及び耐震補強（屋内運動場）

課長	補佐	班長	技監	係
三建設 有限会社				

凡 例

照明器具

	照明器具（撤去、新規取替）
	照明器具（撤去清掃後、再取付）
	照明器具（既存のまま）
	既存コンセント（撤去清掃、再取付）
	既存壁スイッチ（撤去なし）
	既存コンセント（撤去なし）
	既存配線（棒線は芯数を表す）
	新設配線
	VVF1.6 及び VVF2.0 （棒線は芯数を表す）
・新設配線、立上げ・立ち下げ等露出部分はメタルモール配管とする。	
・開口部、器具取付部の補強工事は建築工事とする。	
・改修部の壁スイッチ及び壁埋め込みコンセントは全て撤去・新規取替とする。（新金プレート共）	
・照明器具、コンセント等のシンボル未記入部分は本改修に含まず。撤去等の工事はしない。	

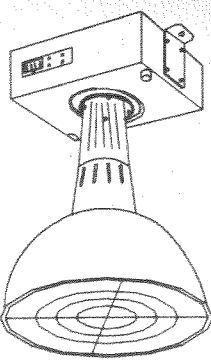
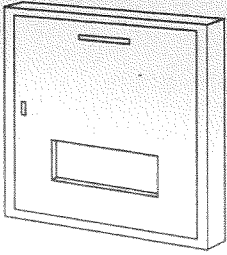
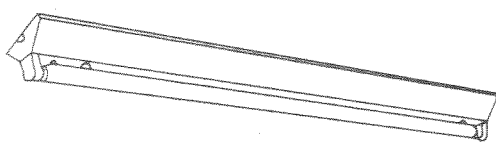
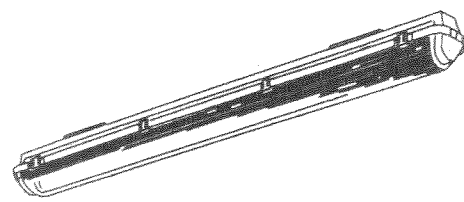
TEL、TV、インターホン、放送設備

・TEL端子、TV端子、インターホン、スピーカー、アッテネータ は全て既存品撤去・清掃後再取付とする。	
	既存配線（再使用）
	新設配線（棒線は芯数を表す）
・新設配線、立上げ・立ち下げ等露出部分の必要箇所はメタルモールにて保護する。	

注記

・火災報知機器は全て既存再使用とする。	
	既存配線（再使用）

(参考型番)

A	MF400L-J/BU-P	200V	8台用セレクトSW x6回路
安定器内臓 ガード、オートリフター付		オートリフター操作盤	
			
HH400, HA4000HC-P200, GAH40, CSE1000		SWB6-2	
B1	FL40Wx2	笠付き	
B2	FL40Wx2	笠付き ガード付き	
			
B1: FH4542E 1EG B2: FH4542E 1EG , GAF31			
C1	FL40Wx1		
C2	FL20Wx1		
			
C1: KV4321E 1EG C2: KV2251A 1H			
D	FL40Wx1	WP	
			
AUG 329 004			

備考

平成11年度春野中学校大規模改造事業
及び耐震補強（屋内運動場）工事設計図

三 建 設 計 有 限 会 社

登録高-6号

図面名称

凡例・照明器具姿図

高 知 市 葛 島 2-2-2

TEL 83-1761

縮尺

NO.

一 級 建 築 士 第 6 2 5 6 2

公 文 淳 視

年

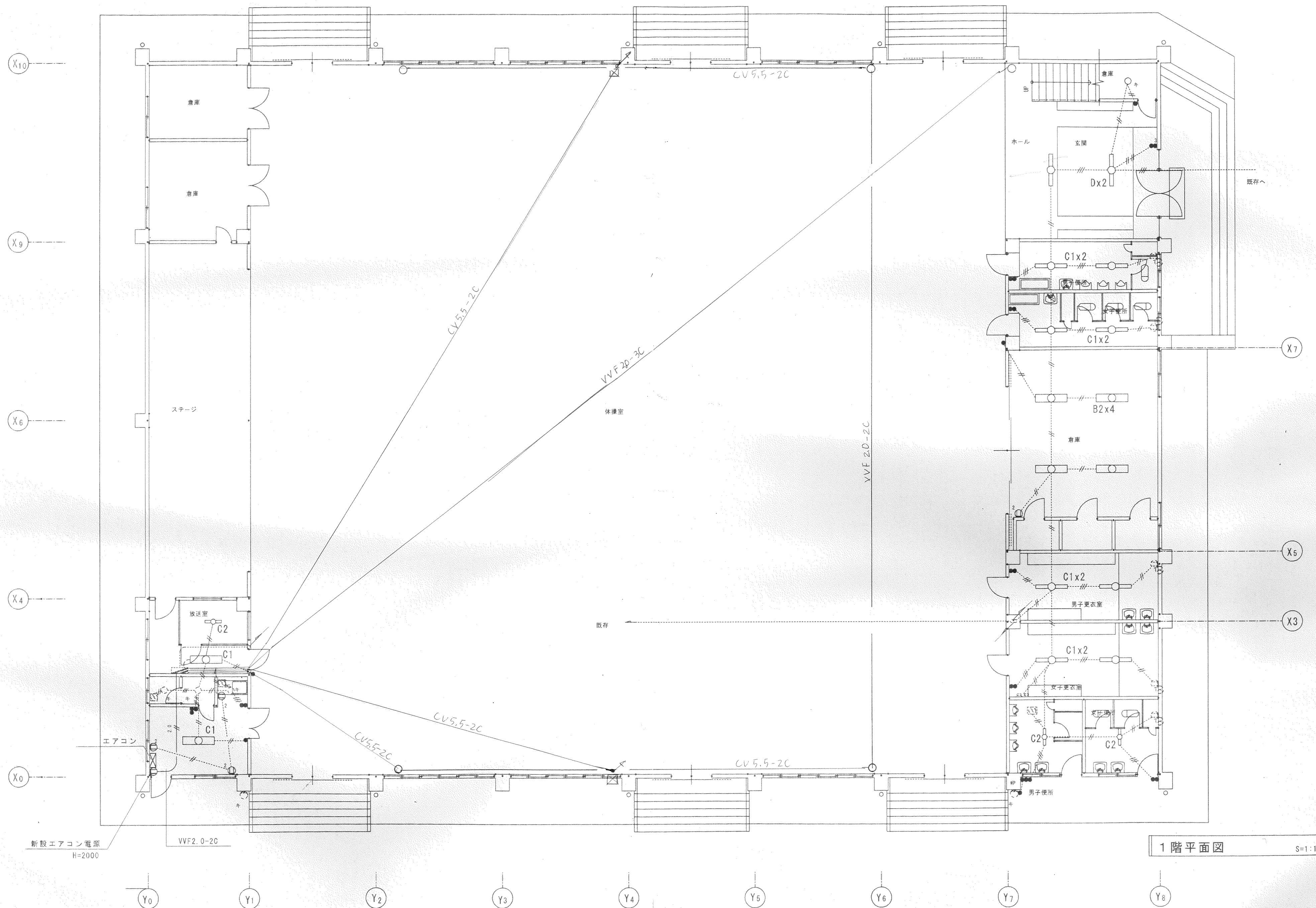
月

日

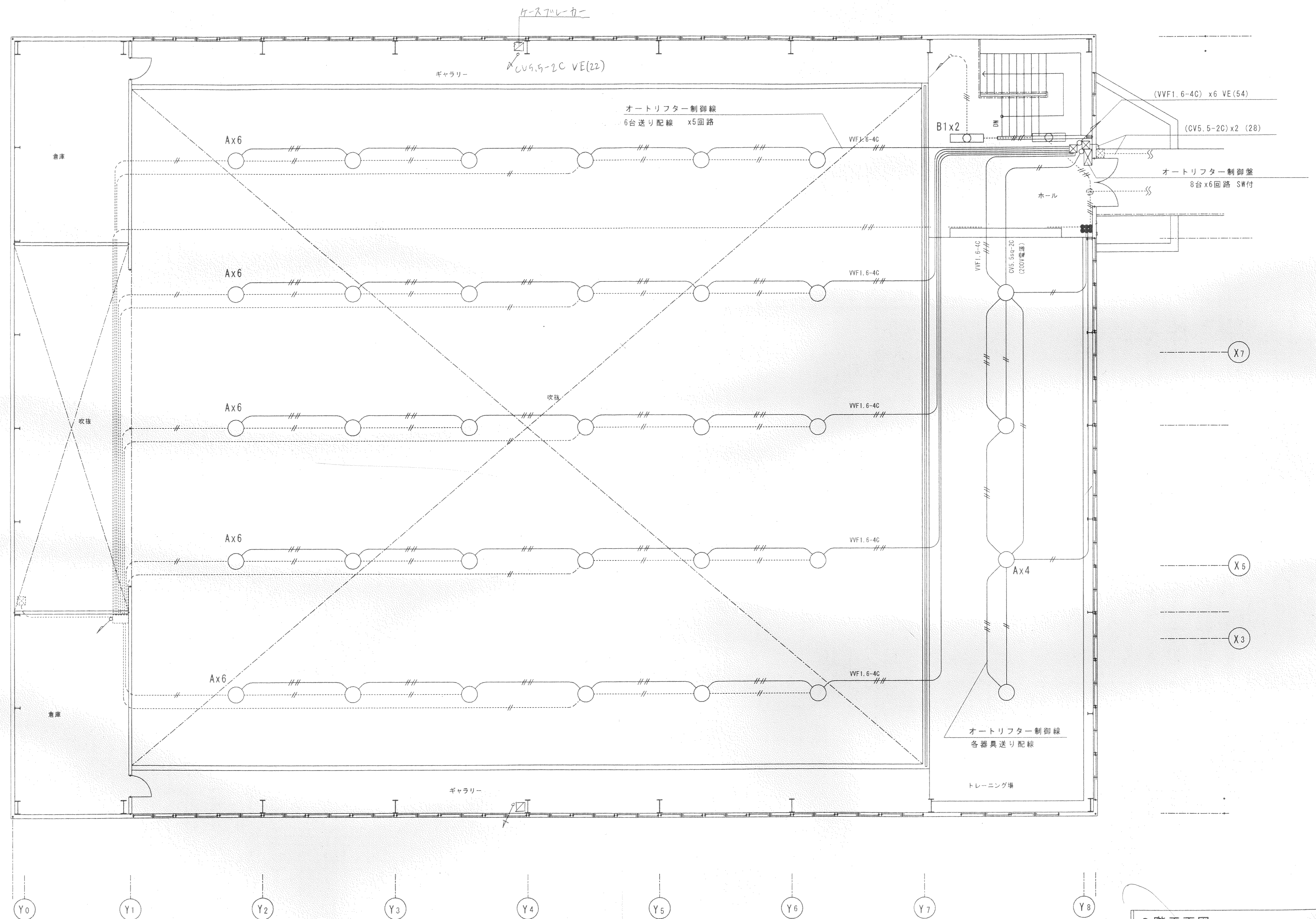
担当

製図

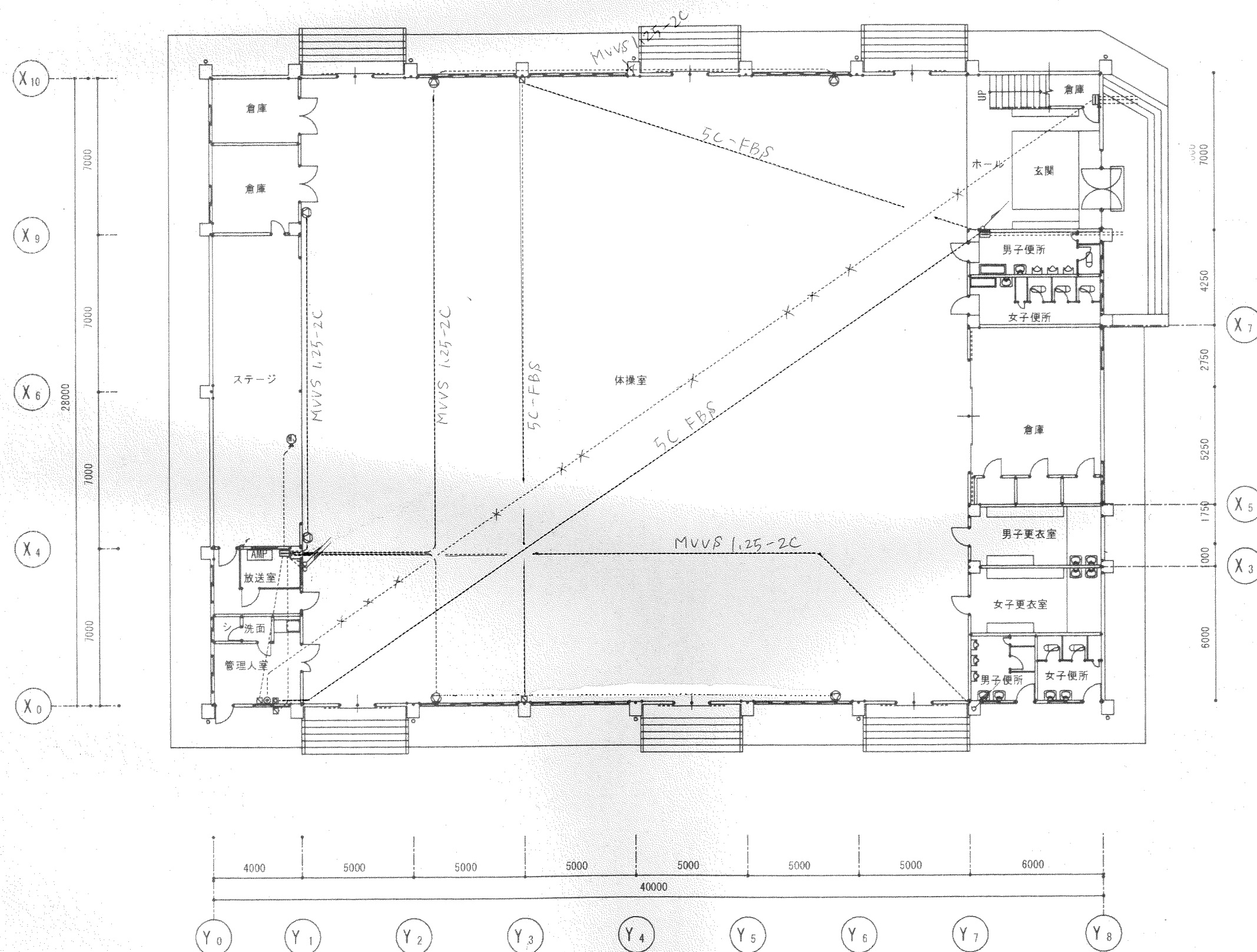
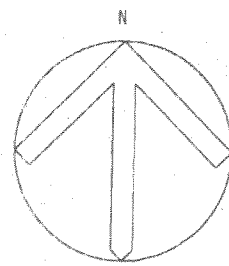
E-3



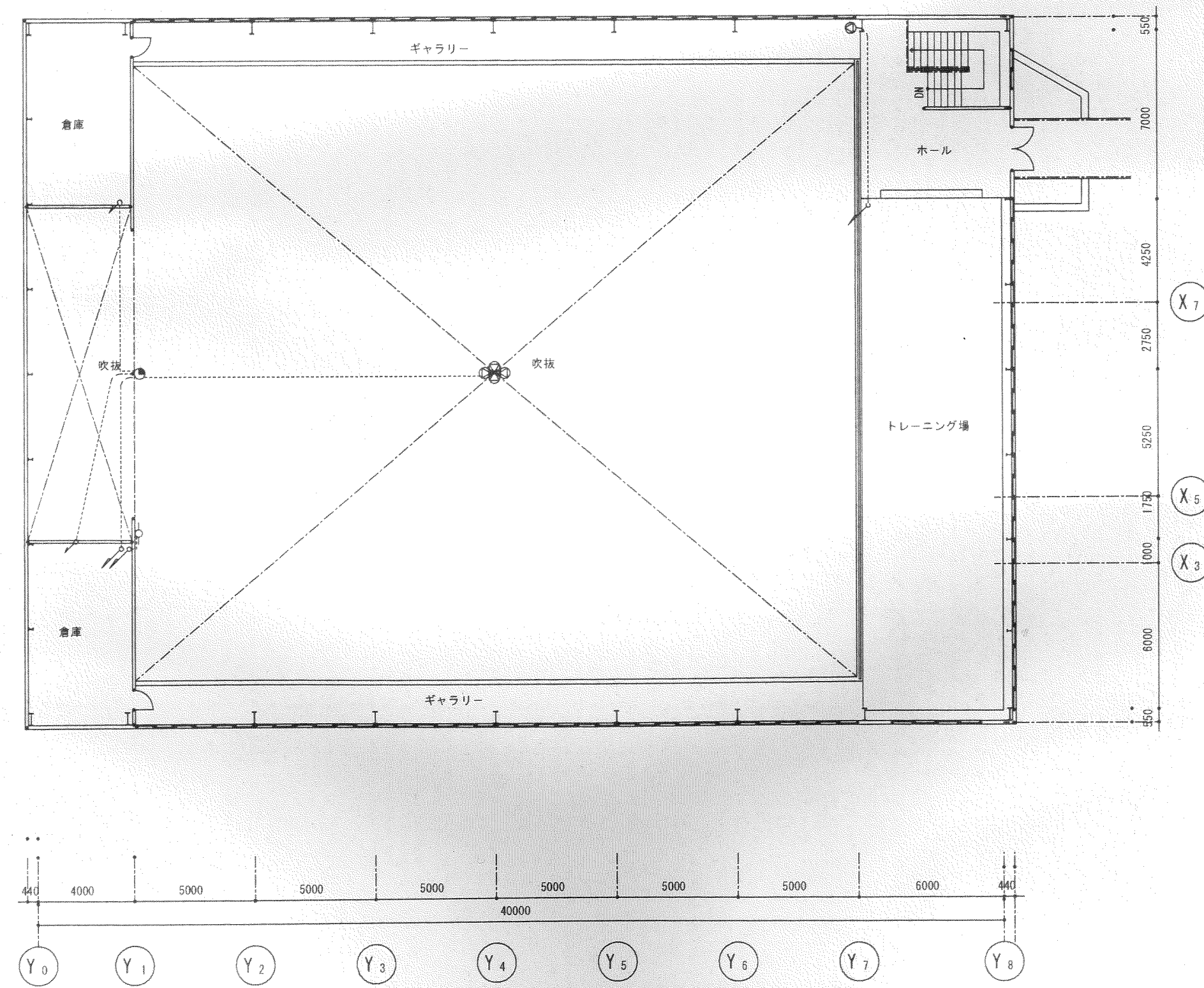
1階平面図 S=1:100



2階平面図 S=1:100

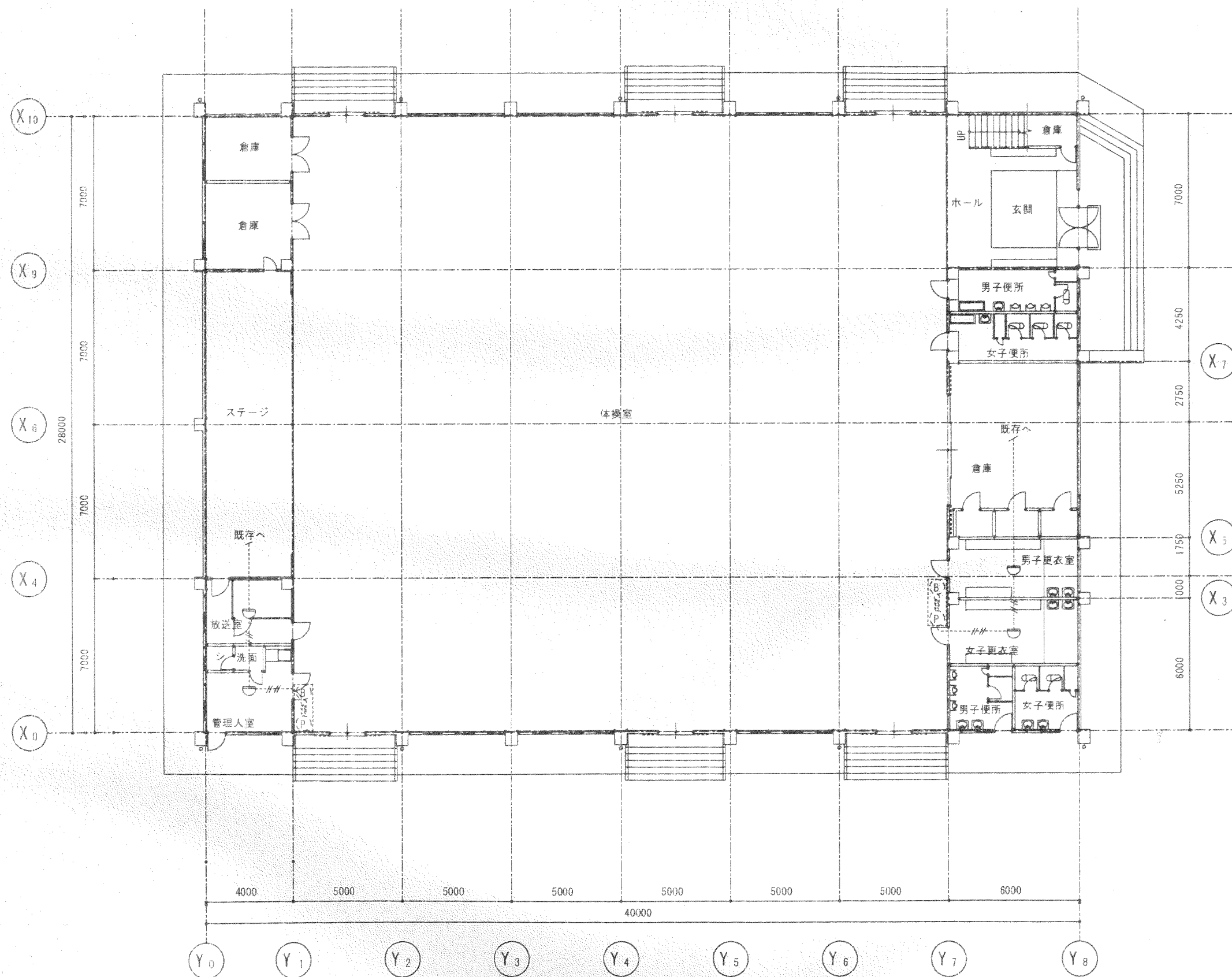
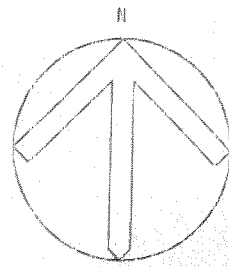


1 階平面図 S=1:200



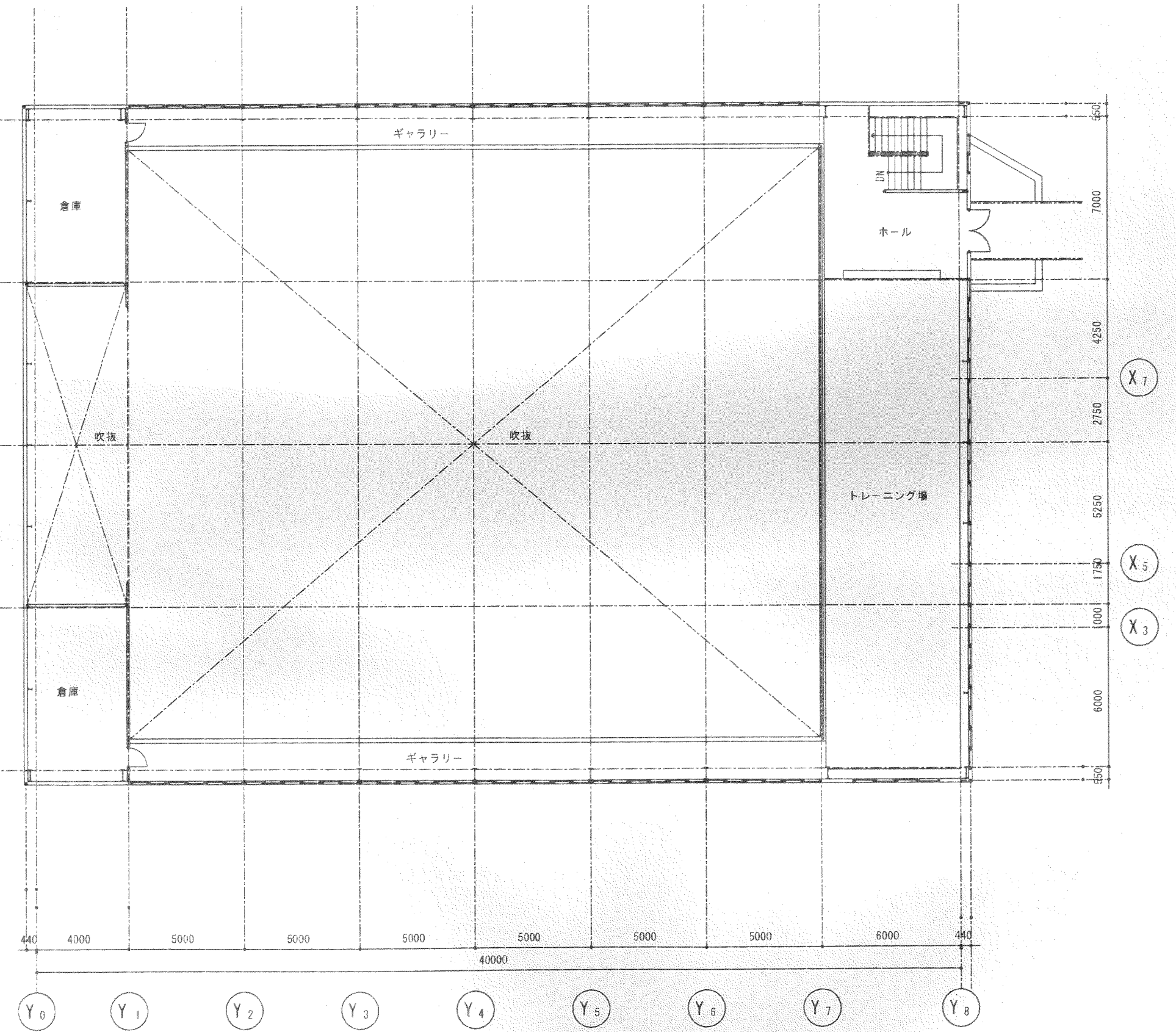
2 階平面図 S=1:200

備考	平成11年度春野中学校大規模改修事業 及び耐震補強（屋内運動場） 工事設計図	三建設計有限公司 登録高-6号 高知市葛島2-2-2 TEL 83-1761 一級建築士第62562 公文淳視	図面名称 TV, TEL, インターホン, 放送設備図 縮尺 S=1:200 年 月 日 担当 製図 NO. E-6
---------------	--	---	--



1階平面図

S=1:200



2階平面図

S=1:200

備考

平成11年度春野中学校大規模改造事業
及び耐震補強（屋内運動場）工事設計図

三建設計有限公司

登録高-6号

図面名称

各階火災報知設備図

高知市葛島2-2-2

TEL 83-1761

縮尺 S=1:200

NO.

一級建築士第62562

公文淳視

年月日担当

製図

E-7

書 様 仕 記 特

工事

種 目	項 目	特 記 仕 様	(●) 印 を 付 け た も の を 適 用 す る)
● 一 般 共 通 様	地 中 埋 設 標 埋 設 表 示 テー 残 土 処 分 埋 設 深 さ (管) 埋 設 管 の 保 護 砂 土 間 配 管 の 支 持 所 り 工 事 他 工 事 と の 取 合 い	○ アスファルト舗装部分にあっては鉄製埋型 () 箇所とし、その他の部分はコンクリート製100φ () 箇所とする。 ○ 排水、通気管を除く管を埋戻す場合は、GL-200mm程度の深さに埋設表示用アルミなどのテープを埋設する。 ○ 構内敷ならし ○ 構内指示の場合にたいせき ● 構外敷出 ○ 一般敷地300mm以上、車道通路750mm以上、重車車道1,000mm以上、公道は1,200mm以上。 ● 排水、通気管を除く管には、管の周囲100mm程度に保護砂(機械設備工事施工要領による。)を入れる。 ○ 一階土間コンクリート下部配管は鉄筋9mmにスラブ筋に支持する。 ○ 床下吊配管施工とする。(○給水 ○給湯 ○ガス ○排水) ○ 既存のコンクリート床、壁等の配管貫通部の穴あけは、原則としてダイヤモンドカッターによる。梁は折らない。 ● 鉄筋コンクリート部の貫通箇所及び開口部の補強は別途工事。(スリッパ及び箱入れは本工事) ○ 天井及び壁貫通部の下部補強は別途工事。(仕上材の切込みは本工事) ● ポリエチレンフォーム保温材を使用する場合で床下及び暗室内の保温は保温筒十粘着テープ+アルミガラスクロスとしても良い。 ○ 多湿ヶ所の天井内は一般と同じ保温仕上げとする。 ○ グラスウール保温筒、防水紙、アルミガラスクロス巻 ○ クイックチューブ、テープ巻 () ○ 給水管 ○ 壁内立上部分のみ) ○ グラスウール24K、金網押え (○ 給水管 ○ 排水管) ○ 建設省仕様 ● メーカー仕様 ● 特記なき事項は「建設大臣官庁官庁営繕部監修、機械設備工事共通仕様書」による。 ● 設計図書に明記なき場合又は、疑いを生じた場合は監督員と協議すること。 ● 本工事に關する法令、条例、規則等は厳守し、諸官庁への申請等は請負者において迅速に行い、これに要する費用は全て負担する。 ● 本設計図に明記がなくても、外観、構造及び技術上、当然必要と認められる工事は請負金額の範囲内に於いて監督員の指示に従い施工のこと。 ● 屋外支持金物類は全てSUS304製とする。 ● 耐火区画貫通部分の給水管80A以上は、VLPとし、排水VP管は、石棉2層管とする。冷媒管は、SGP鞘管80A(貫通部分1m以上) ○	
● 衛 生 器 具 設 備	大 便 器 フラッシュバルブ 水 栓	● 和風大便器下面でコンクリートに接する部分はアスファルト塗布(3mm以上)とする。 ○ 汚物缶(大) ○ 和風大便器及びグリッパストラップが防火区間を貫通する場合は耐火カバー取付とする。 ○ 高圧 () 階のみ) ● ロータンク方式 ● バキュームブレーカー付 ○ 節水コマ使用のもの(建設省仕様通りの使用区分による。)	
● 給 水 設 備	方 式 管 屋 内 給 水 屋 外 給 水 井 類 管 負 担 金 他	○ 上水 ○ 井水 ○ 水道直結式 ○ 屋上タンク式 ○ 既設管より分岐 ○ 塩ビライニング鋼管(○SGP-VA ○SGP-VB) ○ PS立管 ○ コンクリート内、土中(SGP-VD) ○ ビニル管(JISK6742) ● H1VP(JWWAK118) ○ ビニル管(JISK6742) ○ 塩ビ外ライニング鋼管(SGP-VD) ○ 鋼鉄管 ○ 黒ポリエチレン管(JISK6742) ● H1VP(JWWAK118) ○ 50A以上の管はゴム輪型H1VP(JWWAK129) 異形管はメカニカル形面エポキシ樹脂粉体塗装ストップリング付とする。 ○ JIS5kgf/cm ² ○ JIS10kgf/cm ² () ○ コア付バルブ ○ ライニングバルブ ○ 塩ビバルブ ○ CVはJIS10kgf/cm ² (全揚程が30mを超えるポンプに付けるCVは衝撃吸収式とする。) ● 給水管の最小管径は20mmとする。 ○ 100A以下のライニング鋼管の継手は管端防食継手とする。 ○ 不要 ○ 要 () ○ 屋内引込給水管にはフレキ継手を使用とする。(○ゴム製 ○ SUS製マス内取付)	
● 排 水 設 備	方 式 樹 式 所 汚 水 管 屋 内 汚 水 管 屋 内 雑 排 水 管 通 気 管 屋 外 汚 水 管 屋 外 雑 排 水 管 保 護 砂 管 底 部 の 切 込 砂 利 他	○ 下水道放流 ○ 排水路放流 ○ 合併浄化槽後排水路放流 ○ 自然排水 (○ 雨水 ○ 雑排水 ○ 汚水) ○ ポンプ排水 (○ 雨水 ○ 雑排水 ○ 汚水) ○ 会所 (○ 設計図 ○ ビニル管 ○ 建設省の標準図 (二形) ○ 既製コンクリート製) ● ビニル管(JISK6741厚肉) ○ 鉛管(HASS203) ○ 塩ビライニング鋼管(DVLP) ○ 鋼鉄管 ○ 耐火石棉2層管(○ 全部 ○ 50φ以上 ○ 75φ以上) ● ビニル管(JISK6741厚肉) ○ 鉛管(HASS203) ○ 塩ビライニング鋼管(DVLP) ○ 鋼管(JISG3452白) ○ 耐火石棉2層管(○ 全部 ○ 50φ以上 ○ 75φ以上) ● ビニル管(JISK6741厚肉) ○ 鋼管(JISG3452白) ○ 鋼管(JISG3452白) ○ 耐火石棉2層管(○ 全部 ○ 50φ以上 ○ 75φ以上) ○ ビニル管(JISK6741、100φ以下は厚肉、125φ以上は薄肉) ○ 遠心力鉄筋コンクリート管(JISA5303、1種B形) 全部は地中、1Fピット内は除く ○ ビニル管(JISK6741、100φ以下は厚肉、125φ以上は薄肉) ○ 遠心力鉄筋コンクリート管(JISA5303、1種B形) ○ PS内立管(○ DVLP ○ 耐火石棉2層管) 横引接続管(1m)以上 ○ 不要 (180°台、ビニル管部分) (但し建物から樹までの間を除く) ○ 不要 ○ 要 (砂利地兼台、ヒューム管部分) ○ 雨水立管の下部受部は差し込み継手を使用する。(○ 調合ペイント塗り) ○ ピット内保温 (○ 不要 ○ 必要) ○ 露出管調合ペイント塗り (○ 屋外露出 ○ 屋内露出) ○	
● 消 火 設 備	種 別 消 火 栓 類 消 火 ポンプ 屋 内 消 火 管 屋 外 消 火 管 井 類	○ 屋内消火栓 (○ 1号、○ 2号、) ○ 屋外消火栓 ○ スプリンクラー ○ 消火器(ABC10型) ○ BOX付(○ SUS ○ スチール) 是 ○ 受け皿 是 ○ 屋内消火栓箱 (○ 泉の標準図 ○ 建設省標準図 ○ その他) ○ 屋外消火栓箱は建設省標準図 ○ その他 ○ ユニット型 (○ 建設省仕様 ○ メーカー仕様消防適合品 ○) ● 既設管より分岐 ● 鋼管(JISG3452白) ○ 鋼管(JISG3452白) (専用継手使用) ○ H1VP(JWWAK118) ● 外面ポリエチレン又は塩ビ被覆鋼管(JISG3452白) (専用継手使用) ○ H1VP(JWWAK118) ○ JIS10kgf/cm ²	
○ 給 湯 設 備	方 式 原 料 者 類 熱 取 扱 者 類 管 類 井 類	○ 重力循環式 ○ 強制循環式 ○ 単管 ○ 複管 ○ 鋼製ボイラ ○ 鋼製鉄ボイラ(水頭圧 m) ○ 電気温水器 ○ ガス給湯機 ○ 石油給湯機 ○ 灯油 ○ A重油 ○ 液化石油ガス ○ 都市ガス ○ 電気 ○ 資格不要 ○ 資格必要 ○ ステンレス鋼管(JISG3448) ○ 鋼管(JIS3300) (○ L管 ○ M管) ○ 被覆鋼管(○ L管 ○ M管) ○ 耐熱ライニング鋼管(WSP043) コンクリート内、土中(WHTLP) ○ JIS5kgf/cm ² ○ JIS10kgf/cm ² ○ 断熱被覆フレキ接続	
● ガ ス 設 備	種 別 ボ ン ベ 庫 屋 内 ガ ス 管 屋 外 土 中 ガ ス 管 コンクリート内ガス管 ピット内ガス管 埋 設 深 さ (管) 湯 沸 器 所 の 他	○ 都市ガス ● 液化石油ガス (○ 集合装置泉の標準図 ○ その他) ● 既設管より分岐 ○ 別途工事 ○ 本工事 ● 鋼管(JISG3452白) ○ 外面ポリエチレン又は塩ビ被覆鋼管(JISG3452白) (専用継手使用) ○ 外面ポリエチレン又は塩ビ被覆鋼管(JISG3452白) (専用継手使用) ○ ○ 外面ポリエチレン又は塩ビ被覆鋼管(JISG3452白) (専用継手使用) ○ ○ 外面ポリエチレン又は塩ビ被覆鋼管(JISG3452白) (専用継手使用) ○ ○ 一般敷地300mm以上、車道通路750mm以上、公道は、1,200mm以上。 ○ 一般敷地300mm以上、車道通路750mm以上、公道は、1,200mm以上。 ○ 一般敷地300mm以上、車道通路750mm以上、公道は、1,200mm以上。 ○ 湯沸器には換気ファン連動装置を設ける。 ○ 給水管には、甲型止水栓、ガス管には、可とう管コック及び金属フレキ又は耐圧ホースを設ける。 ● ゴムホース接続なきコックはゴムキャップを付ける。 ● ガスコックは過流出防止付 ○ ガス漏れ警報装置と遮断弁連動とする。 ○ 四国ガス責任施工とする。 ● 供給業者リースとする。(○ ガスメーター ● ガスモレ警報機 ○ 集合切替装置他)	
○ 厨 房 設 備	流 し、台、棚類 排 水 金 具	○ オールステンレス ○ SUS304 ○ SUS430 ○ 流し類の排水金具は大型ゴミ受け付でトラップ付のものとする。	
○ 特 殊 配 管 設 備	エ ア ー 配 管 油 配 管 蒸 気 配 管 通 過 配 管	○ 黒鋼管(・JIS3452・3454) 継手(・JISB2302・B2311) ○ 白鋼管(SGP-W) ○ 外面被覆鋼管(専用継手) ○ H1VP(JWWAK118) ○ 黒鋼管(・JIS3452・3454) 継手(・JISB2302・B2311) ○ 白鋼管(SGP) ○ 外面被覆鋼管(専用継手) ○ 黒鋼管(・JIS3452・3454) 継手(・JISB2302・B2311) ○ 耐熱ライニング鋼管 ○ 内外耐熱ライニング鋼管(コンクリート内) ○ 耐熱塩ビ管(HT) ○ 塩ビ管(VP) ○ 塩ビ管(H1VP)	

	夏			冬		
	外 気	期 室 内		外 気	期 室 内	
		吹出温度	室内温度		吹出温度	室内温度
DB ℃						
WB ℃						
PH %						

種別式	○空調 ○冷暖房 ○暖房(○温水 ○蒸気 ○)	○冷房
方取投	○単一ダクト ○ハンドリング ○ファンコイル ○パッケージ ○ルームエアコン	●パッカー・ジマルチ ○ビル用マルチ
冷給水	○資格不要 ○資格必要(○ボイラー ○冷凍機)	
却水	○鋼管(JISG3452) ○耐熱ライニング鋼管(WSP043)	○ステンレス鋼管(JISG3448、SUS304)
排管	○鋼管(JISG3452B) ○塩ビライニング鋼管(JWWAK116)	○ポリエチレン粉体ライニング鋼管(JWWA-K132)(PB) ○ビニル管()
補給管	○鋼管(JISG3452A) ●ビル管(JISK6741) ○ACフレキシブル(セキスイ)	○クイックチューブ、テープ巻 ●グラスウール保温断熱、防水紙、アルミガラスクロス巻 ○指定色塗装
膨空気技	○塩ビライニング鋼管(JWWAK116)	○ポリエチレン粉体ライニング鋼管(JWWA-K132) ○ビニル管()
張管	○鋼管(JISG3452B) ○圧力配管用炭素鋼鋼管(JISG3452黒管)	○ステンレス鋼管(JISG3448、SUS304)
蒸気	○鋼管(JISG3452B)	
露出油	○鋼管(JISG3452黒)	
理込油	○鋼管(JISG3452黒)	
弁類	○外面ポリエチレン被覆鋼管(JISG3469黒) ○屋外引込、屋外引き出し管にはSUS製フレキシ継手をマス内にて取付とする。	
	○JIS5kgf/cm ² ○JIS10kgf/cm ² ○CVはJIS10kgf/cm ² (全揚程が30mを超えるポンプに付けるCVは高率吸収式とする)	○コア付バルブ ○ライニングバルブ
	○φ6.5mm以上可鍛鉄製 ○φ50mm以下青銅製	
温度計	○不要 ○要()ヶ所	
圧力計	○不要 ○要()ヶ所	
風量測定口	○不要 ○要()ヶ所	
瞬間流量計	○不要 ○要()ヶ所	
防煙ダンパ	○不要 ○要()ヶ所	
吹出口チャンバ	○自動復帰 ○手動復帰	
消音内貼り	○アネモ形吹出口には、チャンバ(ネット径200φ以下は400 [□] ×250H 200φをこえるものは500 [□] ×300H)を設ける。	
	○内貼りチャンバの寸法表示は、外法寸法とする。	
	○消音材はグラスウール(吹出口チャンバ・吸込口チャンバ・レタンチャンバは25mm厚、サブライチャンバは50mm厚)とし、ガラスクロス押さえとする。	
	○サブライチャンバにはその上に銅きつ甲金網押さえを行う。	
手動空気抜き装置	○不要 ○要()ヶ所	
自動空気抜き装置	○不要 ○要()ヶ所	
油サービスタンク	○液面制御装置1式は本工事とし、制御盤は建設省電気設備工事標準図による。 ○油面計は側圧式とする。	
冷媒管	●空調用ペア鋼管(保温付) ○冷媒用(JISH3300) ○スリムダクト() ●SUSラッキング ○カラー鉄板巻き	
ダクト	○矩形ダクト ○スパイラルダクト ○フレキシブルダクト ○フレキシブルダクト保温付	

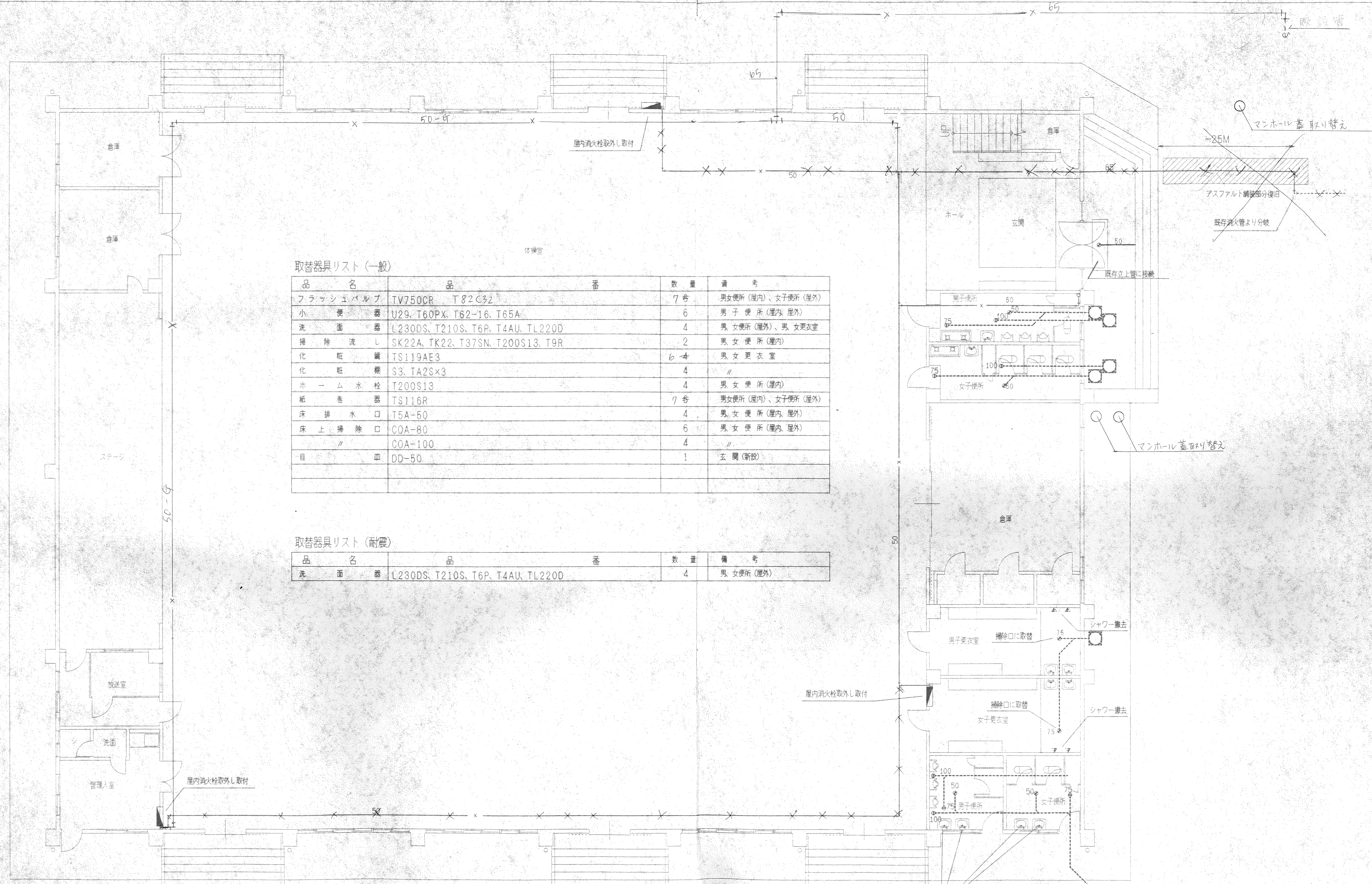
換気設備	方機排	式種管	○第一種 ○第二種 ●第三種
			○シロッコ ○リミットロード ○サイレント ○ライン
			○スパイラルダクト ○ビニル管(JISK6741)() ○耐火石棉二層管
			●壁付換気扇 ●天井換気扇 ○キッチンファン
			○耐火石棉二層二管路管 ●アルミフレキダクト(認定品)

Ⅱ 材料×力一表

材 料	材 料 メ ー カ ー	材 料	材 料 メ ー カ ー
鋼管、塩化ビニル管、同用継手、	ヒューム管、ステンレス管は「JIS」表示工場のうち1社	厨 房 機 器	ホシザキ、日本調理、フジマック、谷口
ステンレス鋼管継手	リケン、日本水管、三菱ホーロー	焼 却 炉	インシナー、大東三造、明星、光電機
銅 管	古河、住友、神戸、三菱	ボ イ ラ	巴、昭和鉄工、前田鉄工、三浦工業、タクマ
同 上 継 手	東洋フィッティング、多久、ニプロ	濾 過 機	ツルカミ、オルガノ
排水用銅鉄管	久保田、栗本、長谷川、伊藤	ルームエアコン・パッケージ	ダイキン、三菱、日立、東芝、松下、三洋、キャリア
衛生器具	TOTO、INAX	冷 温 水 発 生 機	矢崎、三洋、日立
浴槽（ポリリ）	TOTO、INAX	エアハンドリングユニット	新晃、ダイキン、三菱、昭和、松下、日立、木村、キャリア
弁	東洋、北沢、大和、三吉	ファンコイルユニット	三菱、新晃、ダイキン、三洋、昭和、日立、松下、キャリア、東芝、木村
ゴム製フレキ・防振材	トーゼン、東洋ゴム、ブリジストン	コ ン ベ ク タ	新晃、昭和、前田、木村
FRP水槽（「」体形）	清水、日立、三菱	送 風 機	テラルキョクトウ、荏原、松下、日立
〃（パネル形）	清水、日立、三菱	冷 却 塔	ダイキン、シンワ、三菱、東芝、キャリア、三洋
伸縮継手、減圧、温調弁	日本ペロー、フシマン、ベン、本山	吹 出 口 類	新晃、空研
う ザ 巻 ポンプ	川本、テラルキョクトウ、荏原、日立	自 動 制 御 機 器	山武、横河シオンソン
水中モーターポンプ	荏原、日立、テラルキョクトウ、川本、鶴見、	ロ ー ル フィ ル タ ー	日本スピンドル、東洋空気鋼材、日本エアフィルタ
汚水・汚物ポンプ	荏原、日立、テラルキョクトウ、川本、鶴見、新明和	グ リ ス フィ ル タ ー	クラユ、ホーコス
排水金物・書類	長谷川、小島、ダイドレ	換 気 扇	三菱、松下、日立
小型ビニル樹	清水、前澤	全 熱 交 換 機 換 気 扇	三菱、松下、テラルキョクトウ、東芝、ダイキン
消 火 器 具	立売堀、村上、建設工業、横浜、北浦	F R P 膨 張 タ ン ク	奈良工機、日立化成
湯 沸 器	パロマ、松下、ハーマン、TOTO、リンナイ、ノーリツ		
電 気 温 水 器	四国電圧器、コバック、日本電熱、東芝、松下、三菱		
ガ ス コ ッ ク	藤井、ハーマン、光陽、矢崎		
ガス自動切替装置	伊藤、桂、矢崎		
外 焚 釜	高木、ノーリツ、パロマ、リンナイ、TOTO、松下		
バ ラ ン ス 釜	高木、ノーリツ、ガスター、TOTO、リンナイ		
F R P 浄 化 槽	建設告示の構造基準に適合するもの。		

官 公 社 ・ ガ ス 会 社		打	合	せ	事	項	確	認	日
給	水						年	月	日
排	水						年	月	日
洩	防						年	月	日
浄	化 槽						年	月	日
ガ	ス						年	月	日
そ	の 他						年	月	日

備考	平成11年度春野中学校大規模改築事業 及び耐震補強(屋内運動場) 工事設計図	三 建 設 計 有 限 会 社 登録高-6号		図面名称 機械設備仕様書	
		高 知 市 葛 島 2-2-2	TEL 83-1761	図 R	NO. S-1
		一 級 建 築 士 第62562	公 文 淳 視	年 月 日 製 出	製 図



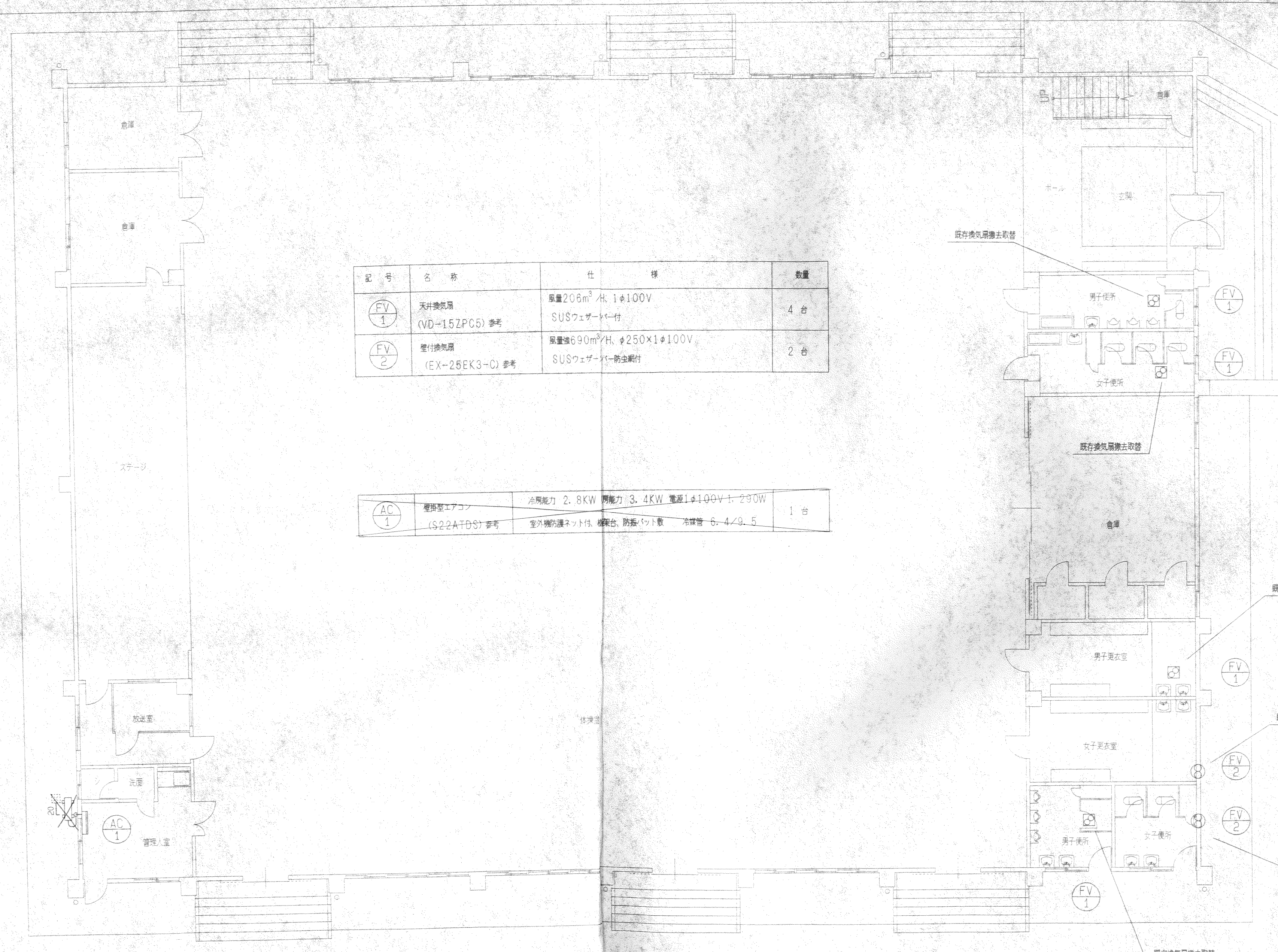
取替器具リスト (一般)

品 名	品 番	数 量	備 考
フラッシュバルブ	TV750CR T82C32	7 台	男女便所 (屋内)、女子便所 (屋外)
小 便 器	U29, T60PX, T62-16, T65A	6	男 子 便 所 (屋内、屋外)
洗 面 器	L230DS, T210S, T6P, T4AU, TL220D	4	男、女便所 (屋外)、男、女更衣室
掃 除 流 し	SK22A, TK22, T37SN, T200S13, T9R	2	男、女 便 所 (屋内)
化 粧 鏡	TS119AE3	6 台	男、女 更 衣 室
化 粧 棚	S3, TA2S×3	4	//
ホ ー ム 水 栓	T200S13	4	男、女 便 所 (屋内)
紙 巻 器	TS116R	7 台	男女便所 (屋内)、女子便所 (屋外)
床 排 水 口	T5A-50	4	男、女 便 所 (屋内、屋外)
床 上 掃 除 口	COA-80	6	男、女 便 所 (屋内、屋外)
//	COA-100	4	//
目 皿	DD-50	1	玄 関 (新設)

取替器具リスト (耐震)

品 名	品 番	数 量	備 考
洗 面 器	L230DS, T210S, T6P, T4AU, TL220D	4	男、女便所 (屋外)

体育館1階平面図 S=1:100



記号	名称	仕様	数量
FV 1	天井換気扇 (VD-15ZPC5) 参考	風量206m ³ /H、1φ100V SUSウェザーペーパー付	4 台
FV 2	壁付換気扇 (EX-25EK3-C) 参考	風量強690m ³ /H、φ250×1φ100V SUSウェザーペーパー防虫網付	2 台

記号	名称	仕様	数量
AC 1	壁掛型エアコン (S22ATDS) 参考	冷房能力 2.8KW 暖房能力 3.4KW 電源1φ100V1.290W 室外機防護ネット付、機架台、防振バット敷 冷媒管 6.4/9.5	1 台

体育室平面図 S=1:100